

令和7年度当初予算（案） （主要施策）

令和7年2月10日
財務部 財政課

県政の重点施策

I

誰も取り残さない安全安心な兵庫

1. 防災・危機管理対策の充実・強化
2. 誰もが安心して暮らせる社会の構築

II

若者が輝く兵庫

1. 「学びやすい兵庫」の実現
2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現
3. 「住みやすい兵庫」の実現
4. 「働きやすい兵庫」の実現

III

活力がわきあがる兵庫

1. 2025大阪・関西万博の開催(R7.4.13)
2. スポーツ・芸術文化の振興
3. 次世代産業の創出
4. 産業競争力の強化
5. 地域活力の創出
6. 持続可能な農林水産業の実現
7. 循環型社会の推進
8. 自然共生社会の推進
9. 官民連携のまちづくり
10. 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

IV

県政運営基盤の構築

1. 県政運営基盤の構築

目次

I

誰も取り残さない安全安心な兵庫

1. 防災・危機管理対策の充実・強化	
◆ ① (新) 創造的復興ウィークの展開	17,669千円 …… 17
◆ ② (新) 低軌道衛星通信(スターリンク)導入事業	2,477千円 …… 18
◆ ③ (新) 災害拠点病院に対する低軌道衛星通信(スターリンク)導入補助	25,027千円 …… 19
◆ ④ (新) 災害用備蓄物資等管理・支援体制充実強化事業	4,663千円 …… 20
◆ ⑤ (新) 被災建築物応急危険度判定制度	2,190千円 …… 21
◆ ⑥ (新) 能登半島地震を踏まえた避難所等生活環境改善事業	120,000千円 …… 22
◆ ⑦ (拡) ひょうご住まいの耐震化促進事業	78,801千円 …… 23
◆ ⑧ (新) 廃棄物処理の地域基盤強化事業	6,300千円 …… 24
◆ ⑨ (新) 復興まちづくり専門家育成事業	4,814千円 …… 25
◆ ⑩ (新) 次期防災情報システム構築事業(フェニックス防災システム更新事業)	371,800千円 …… 26
⑪ (新) 終戦80年戦没者追悼式	11,274千円 …… 27
◆ ⑫ (新) 救急安心センター事業 (#7119)	51,634千円 …… 28
◆ ⑬ (拡) 看護補助者確保対策事業	5,235千円 …… 29
⑭ (新) 公立宍粟総合病院建替整備支援	121,686千円 …… 30
⑮ (新) 地域周産期医療体制づくり検討会	500千円 …… 31

目次

I

誰も取り残さない安全安心な兵庫

⑩ (拡) マルチモビディティ患者対応研修支援事業	1,452千円	32
⑪ (拡) 新興感染症対策総合推進事業（個人防護具の備蓄）	45,080千円	33
◆ ⑫ (新) 兵庫県感染症対策センター設置事業	4,840千円	34
2.誰もが安心して暮らせる社会の構築		
◆ ① (新) 進化する犯罪への対応	10,000千円	35
◆ ② (新) 自動録音装置普及事業(特殊詐欺対策)	33,000千円	36
◆ ③ (新) サイバー犯罪対策用資機材の整備	3,253千円	37
④ (新) 再犯防止・更生支援に向けた出所者等の孤立防止・居場所づくり事業	2,372千円	38
⑤ (新) 外国人犯罪捜査の強化	1,828千円	39
◆ ⑥ (新) SNSによる誹謗中傷等の防止対策強化	10,000千円	40
⑦ (拡) 客引き行為等の防止に関する条例推進事業	52,088千円	41
⑧ ユニバーサルツーリズム推進事業	14,210千円	42
⑨ (拡) 住宅確保要配慮者入居円滑化事業	3,180千円	43
◆ ⑩ 帯状疱疹ワクチン接種助成事業	25,786千円	44
⑪ (新) 24時間対応在宅介護サービス参入促進事業	54,542千円	45

目次

I

誰も取り残さない安全安心な兵庫

⑫	訪問介護の提供体制・確保支援	23,758千円	……	46
⑬	(拡) PFAS実態把握推進事業	12,897千円	……	47
◆	⑭ (拡) ひょうご不登校対策プロジェクト	297,300千円	……	48
◆	⑮ (拡) ひきこもり対策総合支援事業	21,098千円	……	49
◆	⑯ (拡) ケアリーダーへの支援の充実	5,000千円	……	50
	⑰ (拡) ヤングケアラー・若者ケアラー支援事業	17,344千円	……	51
	⑱ (拡) 高次脳機能障害支援体制強化事業	17,908千円	……	52
	⑲ (新) 強度行動障害集中的支援実施体制整備事業	5,218千円	……	53
	⑳ (新) 「親なきあと」を支えるグループホーム支援力強化事業	3,300千円	……	54
	㉑ (拡) 工賃向上事業	1,585千円	……	55
	㉒ (新) 障害者芸術文化支援事業	1,029千円	……	56
	㉓ (新) 県内スポーツ施設のユニバーサル対応研修会の実施	430千円	……	57
	㉔ (新) ひょうご・ユニバーサルデイの開催	561千円	……	58
◆	㉕ 社会基盤の充実・強化（公共事業・国直轄事業）	120,735,000千円	……	59

目次

I
誰も取り残さ
ない安全安心
な兵庫

- ◆ ②⑥ 災害に強い県土づくりの推進（県単独事業）
9,559,000千円 …… 61
- ◆ ②⑦ 安全安心な日常の維持管理の強化
2,000,000千円 …… 63

目次

Ⅱ

若者が輝く
兵庫

1. 「学びやすい兵庫」の実現	
◆ ①	県立大学の授業料等無償化 1,380,629千円 …… 64
◆ ②	県立大学における県外生への支援 42,914千円 …… 65
◆ ③ (拡)	私立高等学校等生徒授業料軽減補助 1,097,455千円 …… 66
◆ ④ (新)	私立高校の魅力向上にかかる検討会 500千円 …… 67
◆ ⑤	奨学金返済支援制度 186,053千円 …… 68
◆ ⑥ (新)	県立高校ふるさと共創プロジェクト 77,000千円 …… 69
⑦	HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト① 12,960千円 …… 70
◆ ⑧	HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト② 51,000千円 …… 71
◆ ⑨ (拡)	HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト③ 41,559千円 …… 72
◆ ⑩ (新)	自然学校応援事業 35,466千円 …… 73
◆ ⑪	ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業 教育投資の強化① 406,000千円 …… 74
◆ ⑫	県立学校施設の環境充実事業 教育投資の強化②ー1 2,154,097千円 …… 75

目次

Ⅱ 若者が輝く 兵庫

- ◆ ⑬ 県立学校施設の環境充実事業 教育投資の強化②ー 2
1,129,000千円 …… 76
- ◆ ⑭ 新たな特別支援学校の整備 教育投資の強化③
6,743,139千円 …… 77

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (拡) 不妊治療先進医療費・通院交通費助成 187,000千円 …… 78
- ◆ ② (拡) ひょうご仕事と生活センター事業 4,711千円 …… 79
- ◆ ③ (拡) 特定妊婦等支援事業 64,300千円 …… 80
- ◆ ④ (新) 産後ケア事業 132,040千円 …… 81
- ◆ ⑤ (新) 学びの場・遊びの場プロジェクト 155,000千円 …… 82
- ◆ ⑥ (新) 保育所等における食の安全・安心推進事業
13,248千円 …… 83
- ◆ ⑦ (新) 高校生保育の仕事やりがい魅力体験事業
4,566千円 …… 84
- ◆ ⑧ (新) 保育所等における要支援児童等対策推進事業
44,528千円 …… 85

3. 「住みやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (拡) 県営住宅における子育て世帯への支援
284,000千円 …… 86
- ◆ ② (拡) 子育て住宅総合支援事業
148,850千円 …… 87

目次

Ⅱ 若者が輝く 兵庫

4. 「働きやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (拡) ひょうご外国人雇用企業認定制度 13,221千円 …… 88
- ◆ ② (拡) 外国人留学生等に対する県内企業魅力発信事業
28,631千円 …… 89
- ◆ ③ (新) 多文化共生社会検討実務者会議 1,000千円 …… 90
- ◆ ④ (新) 県内大学と地元中小企業による小中学生向け授業
3,741千円 …… 91
- ◆ ⑤ 理工系人材獲得促進事業 7,957千円 …… 92
- ◆ ⑥ 高校生の県内就職促進事業 8,543千円 …… 93
- ◆ ⑦ (拡) 大学生等インターンシップ推進事業 39,220千円 …… 94
- ⑧ (拡) シン・建設業魅力アップ事業 3,156千円 …… 95
- ⑨ (新) ドライブレコーダー導入支援事業 3,000千円 …… 96
- ⑩ (拡) 教職員の働き方改革の推進 560,851千円 …… 97
- ◆ ⑪ ひょうごミモザ企業認定の推進 6,999千円 …… 98

目次

Ⅲ

活力がわきあ
がる兵庫

1. 2025大阪・関西万博の開催(R7.4.13)		
◆ ①	ひょうごフィールドパビリオンプロモーション事業	76,361千円 …… 99
◆ ②	ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型 地域プログラム磨き上げ事業	7,894千円 …… 100
◆ ③	関西パビリオン「兵庫県ゾーン」・ひょうご EXPO TERMINAL の展示運営	392,930千円 …… 101
◆ ④ (新)	関西パビリオン「多目的エリア」での催事事業	37,807千円 …… 102
◆ ⑤ (拡)	ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025	50,082千円 …… 103
◆ ⑥	ひょうご楽市楽座の開催	272,579千円 …… 104
◆ ⑦	空飛ぶクルマデモフライトイベント	8,078千円 …… 105
◆ ⑧ (新)	環境創造型農業サミットの開催	5,800千円 …… 106
◆ ⑨	万博施策の一体的プロモーション	61,002千円 …… 107
◆ ⑩	「ひょうごキッズEXPO」事業	47,276千円 …… 108
◆ ⑪	ひょうごの魅力を届ける仕事体験事業	4,148千円 …… 109
◆ ⑫	万博会場への子どもの無料招待	43,539千円 …… 110

目次

Ⅲ

活力がわきあがる兵庫

⑬ (拡) 2025年大阪・関西万博ひょうご推進体制の構築	5,665千円 ……111
⑭ (新) 丹波焼の郷プロモーション事業	4,862千円 ……112
⑮ (新) ひょうご里山・里海国際フォーラムの開催	3,805千円 ……113
⑯ (拡) HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト	7,129千円 ……114
⑰ (新) 古代鏡五国巡回展示事業	1,648千円 ……115
⑱ (新) 県立コウノトリの郷公園「放鳥20周年」「大阪・関西万博」 郷公園魅力創出事業	12,000千円 ……116
2. スポーツ・芸術文化の振興	
◆ ① (新) HYOGOスポーツコミッション（仮称）設立準備	1,500千円 ……117
◆ ② プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト	60,000千円 ……118
◆ ③ (新) 芸術文化センター開館20周年記念公演事業	165,000千円 ……119
◆ ④ ひょうごプレミアム芸術デー	9,591千円 ……120
⑤ (新) 魅力と活力ある県立美術館のあり方検討	1,000千円 ……121
◆ …記者発表資料本体掲載事業	

目次

Ⅲ

活力がわきあ
がる兵庫

3.次世代産業の創出

- ◆ ① (新) スタートアップ創出促進事業 25,352千円 ……122
- ◆ ② (新) ものづくりスタートアップ支援事業 20,319千円 ……123
- ◆ ③ (新) 「ひょうごのスタートアップ」成長支援事業
18,043千円 ……124
- ◆ ④ ひょうごTECHイノベーションプロジェクト
24,000千円 ……125
- ⑤ (新) 商店街空き店舗トライやる(チャレンジショップ応援事業)
10,000千円 ……126

4.産業競争力の強化

- ◆ ① (新) 次世代を見据えた航空機産業振興支援事業
25,292千円 ……127
- ◆ ② (新) ものづくり中小企業におけるDX実践モデル事業
8,612千円 ……128
- ③ 空飛ぶクルマ実装促進事業 75,369千円 ……129
- ④ (新) 大阪・関西万博、神戸空港国際化を契機とした
インバウンド誘客強化事業 11,300千円 ……130
- ◆ ⑤ (拡) NEXTじばさん推進プロジェクト事業
78,022千円 ……131

目次

Ⅲ

活力がわきあがる兵庫

⑥ (拡) じばさん『ひょうご国』世界発信プロジェクト事業	39,000千円	……132
◆ ⑦ (拡) ひょうご産業SDGs推進宣言事業	11,733千円	……133
5.地域活力の創出		
◆ ① (新) 地域創生コラボレーションプロジェクト	18,885千円	……134
◆ ② (新) 第三期地域創生戦略の推進	2,564千円	……135
◆ ③ (新) 地域のネクストリーダー発掘プロジェクト	4,947千円	……136
◆ ④ (新) 持続可能な多自然地域づくりプロジェクト強化事業	8,876千円	……137
◆ ⑤ (新) 明石港東外港地区における暫定の賑わいづくり	56,743千円	……138
◆ ⑥ (新) 尼崎のびのび公園の利活用	80,000千円	……139
⑦ (新) 関西国際空港と神戸空港を活用した地域振興	19,250千円	……140
⑧ 中小企業向け融資制度	503,568,074千円	……141

目次

Ⅲ

活力がわきあ
がる兵庫

6. 持続可能な農林水産業の実現

◆ ① (新) ひょうご農村RMO推進支援事業	28,928千円	……142
◆ ② (新) 地域のアグリサポート推進事業	4,880千円	……143
◆ ③ 有機農業アカデミー(仮称)開設事業	285,000千円	……144
◆ ④ (拡) 有機農産物理解醸成支援事業	2,992千円	……145
◆ ⑤ (拡) 学校給食県産食材供給拡大事業	1,583千円	……146
◆ ⑥ (新) 有機農産物等の出口対策事業	3,000千円	……147
⑦ (新) クロスイノベーション創出支援事業	5,087千円	……148
⑧ (拡) 楽農学校事業	17,748千円	……149
⑨ (新) スマート農業活用イノベーション事業	12,910千円	……150
⑩ (拡) ゲノミック評価を活用した「ひょうごの酪農」 経営安定化推進事業	5,591千円	……151
⑪ (拡) マダコの種苗生産・放流技術開発事業	3,923千円	……152
⑫ (新) 外食産業と連携した産地交流型食材PR事業	2,025千円	……153
⑬ (新) 「HYOGOブランド」食材のグローバル化加速事業	2,118千円	……154

目次

Ⅲ

活力がわきあ
がる兵庫

⑭ (新) ひょうご酒米・日本酒テロワール発信事業	17,235千円 ……155
⑮ (新) 水稻温暖化対応種子産地支援事業	19,500千円 ……156
7.循環型社会の推進	
◆ ① (拡) 水素社会普及促進事業	14,018千円 ……157
◆ ② (拡) 水素ステーション整備費補助事業 燃料電池トラック導入促進補助事業	188,460千円 ……158
◆ ③ (新) ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電 の実証	3,649千円 ……159
◆ ④ 地域脱炭素移行・再エネ推進事業	288,904千円 ……160
◆ ⑤ (新) 「ひょうご版2050年カーボンニュートラルロードマップ」 作成事業	5,000千円 ……161
8.自然共生社会の推進	
◆ ① (拡) ツキノワグマ管理総合対策事業	36,249千円 ……162
◆ ② (新) 都市部における獣害対策の強化	6,669千円 ……163
◆ ③ (拡) ICT技術の普及加速によるスマート獣害対策モデル 育成事業	29,269千円 ……164

目次

Ⅲ

活力がわきあ
がる兵庫

Ⅳ

県政運営基盤
の構築

9.官民連携のまちづくり

- ◆ ① (新) エリアマネジメントによる空き家再生①
9,446千円 ……165
- ◆ ② (新) エリアマネジメントによる空き家再生②
20,000千円 ……166

10.交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

- ◆ ① (拡) 生活交通ネットワーク再編等実証実験 8,000千円 ……167

1. 県政運営基盤の構築

- ◆ ① (拡) 新庁舎整備・本庁舎再編 7,219,000千円 ……168
- ◆ ② (拡) さらに“アグレッシブ”なファンドレイジング
1,382,871千円 ……169

1. 防災・危機管理対策の充実・強化

【新】 ■ 創造的復興ウィークの展開

17,669千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	17,669	0	0

- 阪神・淡路大震災から30年の節目に、ひょうごEXPOウィークの一つとして「災害からの創造的復興」をテーマとした創造的復興ウィークを展開し、当該ウィーク期間中に**創造的復興サミットを開催**

○実施内容

- ・ **開催時期** 創造的復興ウィーク：令和7年9月15日～21日の1週間
サミット開催日：令和7年9月20日

区分	内容
創造的復興サミット	<p>阪神・淡路大震災からの復興の過程で生まれたよりよい社会を作るという創造的復興の理念を、国内外へ発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○被災地の高校生等による活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 国内被災地の防災・復興支援等に取り組む高校生等 ○創造的復興サミット <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 国内被災地の知事・市町村長、トルコやウクライナ等の海外の被災自治体、国、経済団体など
その他イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○ひょうご楽市楽座への出展 ○万博会場コリドー・県民局等でのパネル展示
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○上記イベントで活用する啓発ポスター・動画・パネル等の製作

【新】 ■ 低軌道衛星通信（スターリンク） 導入事業

2,477千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	2,477

- 災害発生時に特に重要な役割を担う災害対策本部及び保健医療福祉調整本部に、**簡易に高速・安定的なインターネット接続が可能な低軌道衛星通信「スターリンク」**（※）をモデル的に導入

※ 低軌道衛星を活用したブロードバンドインターネットであり、通信環境が整備されていない山間部や災害時でも高速・安定的なインターネット接続が可能

○実施内容

項目	内容
配備台数	2台 (県庁、航空搬送拠点臨時医療施設等での活用を想定)
活用場面	① 県庁の通信断絶時、国・市町・災害拠点病院等と被災状況の情報共有や患者受入調整を実施 ② 航空搬送拠点臨時医療施設で患者の搬送調整を実施 ③ 被災市町との通信途絶時に当該市町役場で展開



【新】 ■ 災害拠点病院に対する低軌道衛星通信（スターリンク）導入補助

25,027千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
12,513	0	0	12,514

- 災害発生時に、**保健医療福祉調整本部**（県庁）との間で、被災状況の連絡、患者受入調整、状況報告を行う必要がある**災害拠点病院**（※）における**低軌道衛星通信「スターリンク」の初期導入経費を支援**

※県内や近隣府県での災害発生時に知事の要請により傷病者の受け入れや医療救護班・DMATの派遣を行う病院

○実施内容

項目	内容
補助対象	災害拠点病院（県内20病院）
補助対象経費	初期導入経費
補助率	2/3（負担割合 国：県：病院 = 1:1:1）
補助基準額	1,877千円
予算額	25,027千円（1,877千円×2/3×20病院）

【新】 ■ 災害用備蓄物資等管理・支援体制 充実強化事業

4,663千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,663

- ▶ 能登半島地震において、国からのプッシュ支援に加え、他自治体や企業等からの支援物資搬入により生じた課題を踏まえ、**本県における備蓄物資等の管理・支援体制を見直し**

○実施内容

1. 備蓄物資等の品目・数量見直し、拠点内・拠点間の再配置

専門家への意見聴取の上、品目・数量見直しと拠点内・拠点間を最適化
(配置図作成・拠点内外移転配送)

2. 災害時物資支援運用マニュアル等の見直し

専門家意見や他府県事例を踏まえ、マニュアルの見直しを実施

3. 被災者支援・応援受援体制充実強化

区分	課題	対応（実施内容）
災害対策本部 運営マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部事務局体制（班体制業務）が不明瞭 ペーパーレスの観点からの情報共有のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容、具体的ロジの明確化 業務量を踏まえた班構成の見直し 多様な情報共有手段の整備・検討
災害時受援 マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 具体の受入れ手順や業務内容等が不明瞭 	<ul style="list-style-type: none"> 国や他自治体との調整事項の具体化 具体的ロジの明確化
安否不明者等 公表事務 マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 県・市町・関係機関の役割分担が不明瞭 安否不明者等の情報把握の方法が不明確 	<ul style="list-style-type: none"> 県と市町等の役割分担等の見直し、再設定 実例の掲載
避難所管理 運営指針	<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティなどへの配慮に未対応 国基準に沿ったトイレの数量に未対応 	<p>外部委員会形式で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会環境の変化等の反映 国の改正内容等への対応

【新】 ■被災建築物応急危険度判定制度

2,190千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	2,190

- 能登半島地震における被災建築物応急危険度判定の効率化につながったことから、**被災建築物応急危険度判定支援ツールを導入**

○実施内容

被災建築物応急危険度判定支援ツール用タブレットを導入するとともに、平常時は発災時に備え、判定ツールを用いた判定訓練を市町等と合同実施



タブレットの画面イメージ



判定支援ツールの使用例
(能登半島地震)

【新】 ■ 能登半島地震を踏まえた避難所等生活環境改善事業(R6.2月補正計上予定)

120,000千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
60,000	0	15,400	44,600

- 本県の防災力向上を図るため、避難所の生活環境の改善に資する資機材等を購入し、平時のイベント等での活用を通じ、県民の災害に備える意識を醸成

○購入資機材等

(1)トイレカー

目的：能登半島地震においてトイレ確保が課題になったことを踏まえ、県内における**トイレカー導入を促進するため、県でモデル的に整備**



(参考) 南あわじ市で導入済のトイレカー

(2)避難所の生活環境確保に資する資機材等

目的：R7年度に予定している**備蓄物資等の品目・数量見直し**を踏まえ、必要な資機材を購入・整備

購入資機材（想定）：簡易トイレ、炊き出しセット、循環型シャワーセット 等

○効果

- ①的確かつ迅速な被災地支援
- ②避難所の生活環境の確保
- ③民間事業や関係団体との連携体制の強化

【拡】 ■ひょうご住まいの耐震化促進事業

78,801千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
358	0	0	78,443

- 能登半島地震では死者の約9割が家屋倒壊が原因であり、高齢者などは逃げる間もなく圧死や窒息死していると推定されることを踏まえ、**シェルター工事等比較的低コストで実施できる補助メニューを拡充**

○ 実施内容

以下のとおり補助要件を拡充

	簡易耐震診断(参考)	計画策定	一般耐震改修工事	簡易改修工事	屋根軽量化工事	シェルター工事（一室限定改修）		
申請者	住宅所有者→【拡】住宅所有者※1の2親等以内親族からの申請も可能になるよう要件を緩和							
対象者	全世帯					【拡】高齢者世帯 (65歳以上の単身者又は夫婦世帯)		
事業内容	住宅の構造 評点を診断	改修工事設計・工事費の見積	住宅全体を耐震改修	住宅の屋根のみを取り替える改修工事	住宅内に耐震シェルターを設置	同左		
補助対象(評点要件)	—		評点1.0以上に改修	評点0.7以上に改修	【拡】評点0.7以上相当に改修(1.0→0.7相当へ要件を緩和)	—		
補助率 補助上限	9/10 28千円	2/3 200千円	4/5 1,000千円 (多雪地域: 1,200千円)	4/5 500千円	定額500千円	定額500千円	【拡】 定額750千円 (県全域)	【拡】 定額1,000千円 (耐震化促進地域※2に限る)

※1 高齢者（65歳以上）の場合に限る。

※2 耐震化促進地域：高齢者世帯住宅の耐震化率が低い地域で、東播磨・北播磨・中播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路地域を示す。

【新】 ■ 廃棄物処理の地域基盤強化事業

6,300千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
3,150	0	0	3,150

- 令和6年能登半島地震を踏まえ、災害廃棄物の処理に関して、**民間事業者との連携を含めた処理体制の構築等、災害廃棄物への対応力の強化が必要**であることから、地震発生を想定した**図上演習、災害廃棄物仮置場の設置・運営に係る実地訓練を実施**し、平時から災害廃棄物処理への対応力を強化

○ 訓練内容

・ 座学研修及び図上演習

災害廃棄物処理に係る基礎知識の習得、発災時の課題の抽出・整理

・ 実地訓練

災害廃棄物仮置場の設置・運営

・ 事後評価

結果のとりまとめ・評価、改善策の検討

・ 参加者

県、市町（一部事務組合）及び廃棄物処理事業者



図上演習



実地訓練

【新】 ■ 復興まちづくり専門家育成事業

4,814千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,814

- ▶ 復興まちづくり専門家の高齢化に対応するため、ベテランと若手によるまちづくり専門家を被災地に派遣し、復興支援を通じて、**本県災害時における対応可能な専門家人材を育成**

○実施内容

現地で、被災状況や生活再建状況が異なる住民間の合意形成やまちづくり計画策定を経験することで、若手復興まちづくり専門家の増加につなげる

1. 復興まちづくり専門家育成事業

派遣チーム数：1チーム

派遣人数：6人

派遣回数：12回×3年

派遣先：珠洲市

2. 派遣報告会

派遣チームの活動報告を実施し、県職員や専門家にフィードバック



**【新】 ■次期防災情報システム構築事業
（フェニックス防災システム更新事業） 371,800千円**

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	371,800	0

- 能登半島地震を踏まえた課題等へ対応するため、県と各市町等の防災関係機関を結び、**災害時における迅速な初動対応に活用するフェニックス防災システム**を更新

○更新内容

区分	現行	更新後
基本機能	<ul style="list-style-type: none"> ・体制設置状況 ・事前行動計画管理 ・一括情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制設置状況 ・事前行動計画管理 ・一括情報発信 ・ダッシュボード機能
被害・避難情報管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・被害情報収集、管理 ・避難情報管理 ・避難所管理 ・国報告作成 ・被害予測 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害情報収集、管理 ・道路被害情報収集、管理 ・避難情報管理 ・避難所管理 ・国報告作成
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリ連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリ連携 ・モバイル連携 ・国システム連携

○開発スケジュール



※総事業費444,000千円

【新】 ■ 終戦80年戦没者追悼式

11,274千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	11,274

➤ 終戦80年の節目となる年に**全国戦没学徒追悼式と兵庫県戦没者追悼式を実施**

○全国戦没学徒追悼式

内容：全国の出陣学徒及び動員学徒の慰霊

開催日：令和7年10月21日

場所：若人の広場公園（南あわじ市阿万塩屋町）

参列者数：300名程度

○兵庫県戦没者追悼式

内容：県下の戦争犠牲者の慰霊

開催日：令和7年8月上旬

場所：神戸市内ホテル等

参列者数：300名程度

○前回（R2年度）の様子



全国戦没学徒追悼式



兵庫県戦没者追悼式

【新】 ■ 救急安心センター事業 (#7119)

51,634千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	51,634

- 高齢化の進展等により増加し続ける救急需要等に適切に対応するため**救急安心センター事業 (#7119) の全県展開を実施**

○ 事業概要

- ・ 内 容 救急医療相談（緊急度判定）及び医療機関案内を行う電話相談事業
- ・ 範 囲 県内全市町
- ・ 実施手法 県及び県内市町による協議会から専門業者への委託実施
- ・ 負担割合 県：市町 = 1：1

○ 実施手法

市町振興支援交付金スキームを活用

区分	
目的	急な病気やケガをしたときに、救急車を呼ぶべきか、今すぐ受信すべきか迷った際の電話相談
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車を呼ぶか呼ばないかの相談 ・ 医療機関案内
対象年齢	全年齢層
対応時間	24時間365日対応
実施主体	県と参画市町で設定した協議会
全国の様況	全国36地域で実施



I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【拡】 ■ 看護補助者確保対策事業

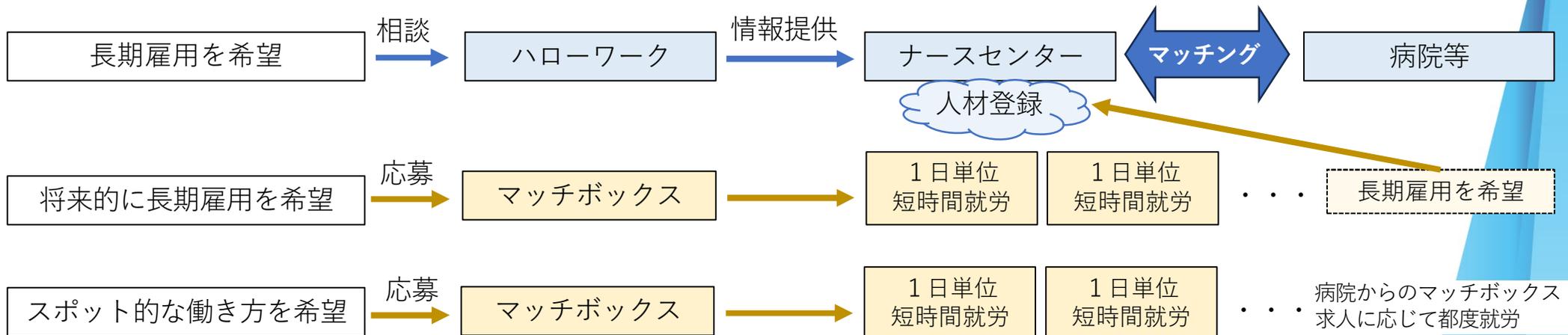
5,235千円
(医療介護推進基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	5,235	0	0

- ハローワークと連携したマッチングの実施により、**長期雇用人材の確保**に取り組むとともに、淡路島マッチボックスを活用し、**多様な雇用形態の人材の掘り起こし**等を目指す

○実施内容

項目	ナースセンター・ハローワーク連携事業	マッチボックス事業
事業内容	ハローワークから求職者情報の提供を受けてナースセンターが病院等とマッチングを実施	ナースセンターの研修を受講した者が淡路島マッチボックスで病院等の求人に応募
働き方	長期雇用	1日単位・短時間の就労 (希望があれば長期雇用のマッチングも実施)
事業効果	長期雇用人材の確保	① 長期雇用につながり得る人材の掘り起こし ② 長期雇用前の就業経験による離職防止 ③ 病院のスポット的な人材不足に対応



【新】 ■ 公立宍粟総合病院建替整備支援

121,686千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
63,278	8,775	0	49,633

- 公立宍粟総合病院の老朽化（昭和60年（築39年））に伴う建替整備（R9年度開院予定）を支援することでへき地医療支援対策等の充実を図る

○補助内容及び金額

補助制度	内容	負担割合	R7補助額	R7～R9 補助総額（予定）
へき地医療拠点病院 施設・機器整備事業	へき地医療拠点病院 として 必要な整備に対し補助 〔整備：295.1千円/㎡〕 〔機器：55,000千円〕	国 1 / 2 県 1 / 2	99,265千円	460,100千円
分娩取扱施設施設・ 機器整備事業	分娩取扱施設 として必要な 整備に対し補助 〔整備：264.4千円/㎡〕 〔機器：17,035千円〕	国 1 / 2 市町 1 / 2 〔国負担分を 県経由で交付〕	13,646千円	51,197千円
病床機能転換推進事業	不足する病床機能への転換 を伴う整備に対し補助 (9,000千円/転換病床数)	国 2 / 3 県 1 / 3 (医療介護推進基金)	8,775千円	63,900千円
合 計			121,686千円	575,197千円
（うち県負担）			52,558千円	251,350千円

担当課：保健医療部医務課医療人材確保班

企画調整班（医療体制担当）

企画調整班

連絡先：078-362-3606（内線2713）

連絡先：078-362-4351（内線3219）

連絡先：078-362-3135（内線2716）

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【新】 ■ 地域周産期医療体制づくり検討会

500千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	500

- R5～6年度実施の産科医療研究会において抽出された課題に対する具体的な対応策を検討するため、検討会を設置し、今後の持続可能な周産期医療体制の確保を目指す

【参考】 兵庫県の現状

- アンケート回答29医療機関（分娩取扱医療機関）において、
産科・産婦人科医師は1.8人/施設、分娩従事者は1.7人/施設不足
- 分娩取扱医療機関（病院、診療所）数は年々減少しており、今後も減少が見込まれる。
H20年分娩取扱医療施設数**116施設**→令和2年分娩取扱医療施設数**82施設**

○実施内容

内容	メンバー、調査内容
検討会の設置	県、県内病院、関係団体、市町等
先行事例調査	地域格差の是正に向け、安心して妊娠・出産できる体制を検討するために、都道府県の先行事例を調査

【拡】 ■ マルチモビディティ患者対応研修 支援事業

1,452千円
(医療介護推進基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	1,452	0	0

- マルチモビディティ患者（※）に対するリハビリ研修への補助事業について、現在の「回復期」患者に加え、「急性期」患者に対するリハビリ専門職養成研修を追加し、患者のQOL向上、再入院リスクの緩和や、在院日数の短縮を図る

※ 1人の患者に2つ以上の慢性疾患が併発している状態

患者全体の29.9%、65歳以上の高齢者患者のうち62.8%が該当

○実施内容

区分	【継】回復期研修	【新】急性期研修
補助対象	兵庫県理学療法士会	
補助対象経費	マルチモビディティ患者に対する座学・実技研修に要する経費	
補助率	1/2	
補助基準額	1,800千円	1,104千円
予算額	900千円 (1,800千円×1/2)	552千円 (1,104千円×1/2)
参加者	回復期リハビリ専門職	高度急性期、急性期病院の急性期リハビリ専門職

【拡】 ■ 新興感染症対策総合推進事業 (個人防護具の備蓄)

45,080千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	45,080

- 新興感染症に備え、国から義務付けられた数量の個人防護具（5品目）を備蓄

○備蓄必要数・考え方

新型コロナ対応時の需給実績から、**初動1か月目に必要となる個人防護具を県で備蓄**
(概ね人口割、ただし協定医療機関備蓄分控除)

品目	本県要備蓄枚数 (※)
サージカルマスク	3,498,756枚
N95マスク	102,320枚
アイソレーションガウン	355,157枚
フェイスシールド	231,202枚
非滅菌手袋	3,193,455枚

※ 国指示：4年後を目途に必要な数の備蓄を完了

○備蓄方法

流通備蓄（卸売業者に委託し、流通在庫の中で常に必要数を確保）

【新】 ■兵庫県感染症対策センター(仮称)設置事業

4,840千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,420	0	0	2,420

- 兵庫県新型コロナウイルス感染症対策検証報告書（R6.2）における指摘、兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画（R7.3改定予定）への対応として、**兵庫県感染症対策センター(仮称)を設置**し、また、感染症専門家を非常勤嘱託員として任用して**常時専門家意見を取り入れる**ことにより、**新興感染症等への対応体制を強化**

○設置場所 県立健康科学研究所

○感染症対策センター(仮称)の機能

時期	項目	現状	センター設置後
平時 (既存感染症対応)	情報発信の充実	・発生件数、年齢層等の事実 ・一般的な予防策	・分析による感染拡大前からの情報発信 ・施設や場面ごとのピンポイントの予防策
	人材の育成	感染症対策の中核病院への研修なし	左記病院の感染制御の指導者に研修
新興感染症への備え	医療機関への情報提供	国から提供される情報を提供	国から提供される情報の緊急性等を評価し、独自の情報ネットワークによる情報を提供
	感染拡大予測モデル構築	明確なエビデンスがない中、国指針を踏まえた休業要請など	感染拡大予測モデルを構築し、モデルに基づく必要最小限の休業要請などが可能となる
有事 (新興感染症発生時)	対策の司令塔	県職員で構成された対策本部会議で方針等を決定	初動から一貫して感染症専門家の知見を取り入れて方針等を決定
	積極的疫学調査	県保健所の保健師等が感染経路等を調査	感染症専門家が保健師等の感染経路等調査を専門的に支援・全県的に分析

2. 誰もが安心して暮らせる社会の構築

【新】 ■ 進化する犯罪への対応

10,000千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

- 固定電話による特殊詐欺対策に加え、**近年被害が増加している携帯電話を通じた詐欺やSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺などの新たな詐欺へ対応**するため、関係機関連携のもと、被害防止に向けた**普及啓発を強化**

○ 実施内容

1. 関係機関と連携した普及啓発

- ・ 特殊詐欺を疑似体験する**体験型講習会の開催**
- ・ 地域住民、防犯グループ、市町等を対象とした**講習会を開催**
- ・ SNSを活用した**詐欺手口に関する啓発広告の発信**
- ・ 各警察署、各種イベント、講習会などで啓発グッズを配布
- ・ 県警が詐欺グループから押収した名簿に記載されている人への**注意喚起のDM**を送付

2. 関係者連絡調整会議の新設

官民連携のもと、新たな詐欺への対策を検討

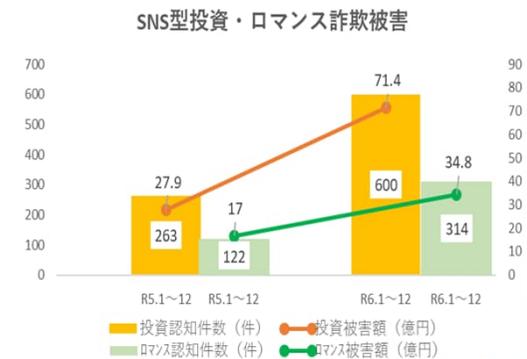
- ・ 参画機関：県、県警、防犯協会、銀行、通信会社、家電量販店等
- ・ 回数：3回

誰も取り残さない安全安心な兵庫

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
5,000	0	0	5,000

035

<参考> 県内詐欺被害額の推移



【新】■ 自動録音装置普及事業(特殊詐欺対策) (R6.2月補正計上予定)

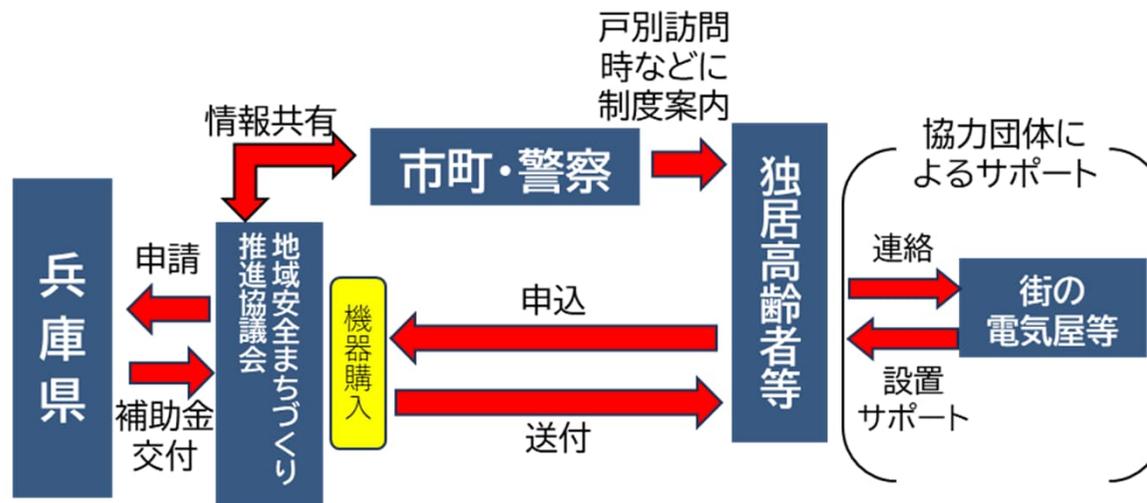
33,000千円
(重点支援交付金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
33,000	0	0	0

- 独居高齢者など特殊詐欺被害リスクの高い世帯に、自動録音装置をより確実に普及させるため、外付け自動録音機を無償で配付

○実施内容

- ・ 警察の戸別訪問や市町等により、対策が必要な高齢者に制度を案内
- ・ **ひょうご地域安全まちづくり推進協議会を通じ高齢者宅へ機器を送付(3,000台)**
- ・ 協力団体を募ってリスト化し、機器設置が困難な高齢者に対して**設置をサポート**



外付け自動録音機(イメージ)

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【新】 ■サイバー犯罪対策用資機材の整備

3,253千円

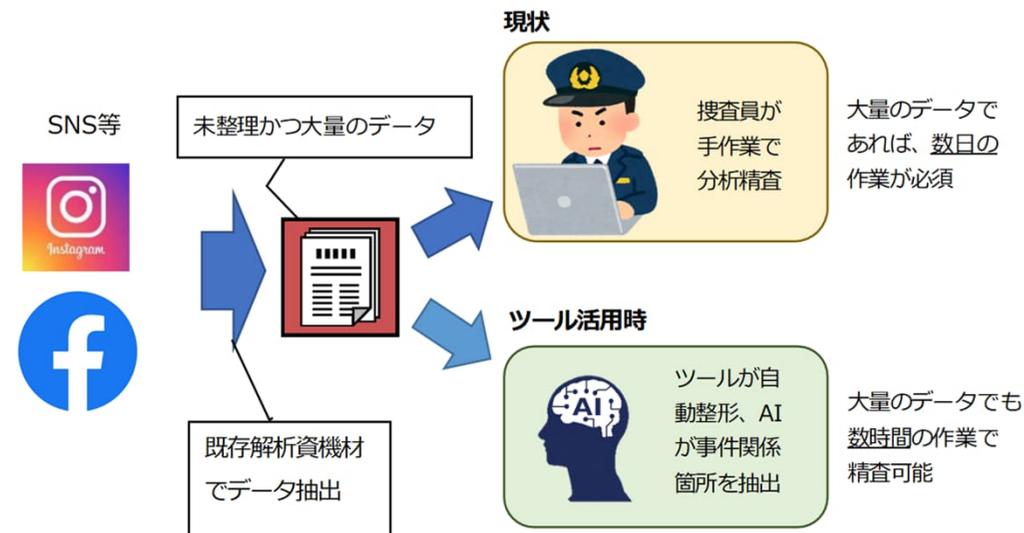
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,253

- 深刻化するサイバー空間の脅威に対して、**犯罪に利用されるアプリケーション等の専門的な分析や、生成AIを活用した捜査支援ツールの開発**を行うことで、サイバー犯罪への対処能力の向上を図る

○実施内容

犯罪で利用されるアプリケーション等の専門的な分析及び捜査支援ツールの新規開発のため、生成AIソフトを搭載した分析・開発専用端末等を整備



(参考) 捜査支援ツール例 (SNS等自動検索ツール)

【新】 ■再犯防止・更生支援に向けた出所者等の孤立防止・居場所づくり事業 2,372千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,186	0	0	1,186

- 本県の再犯者率は全国平均46.9%を上回る49.7%であり、再犯防止対策が必要であることから、**再出発を目指す人の孤立を防ぎ、自立を支援する施策を展開**

○実施内容

1. 再出発を目指す人たちとの交流会

出所者やその家族、支援者が集まる場の提供により、**悩みの共有・意見交換等から孤立防止**につなげ、立ち直りに向けた取組を支援

- ・回数：10回（当事者5回、家族5回）
- ・手法：支援団体へ委託

2. 正しい知識を発信するフォーラム

更生支援についての理解促進を図るフォーラムを開催

- ・回数：5回

内容	講師	参加者
担い手不足が課題となっている保護司の活動内容啓発	現役保護司等	一般県民、担い手候補の行政・県警・教員OB職員等
繰り返し犯罪を犯す人の特性とその対応等	学識者(犯罪心理学)等	一般県民、更生支援に携わる行政職員等

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【新】 ■外国人犯罪捜査の強化 (AI翻訳エンジンの整備)

1,828千円

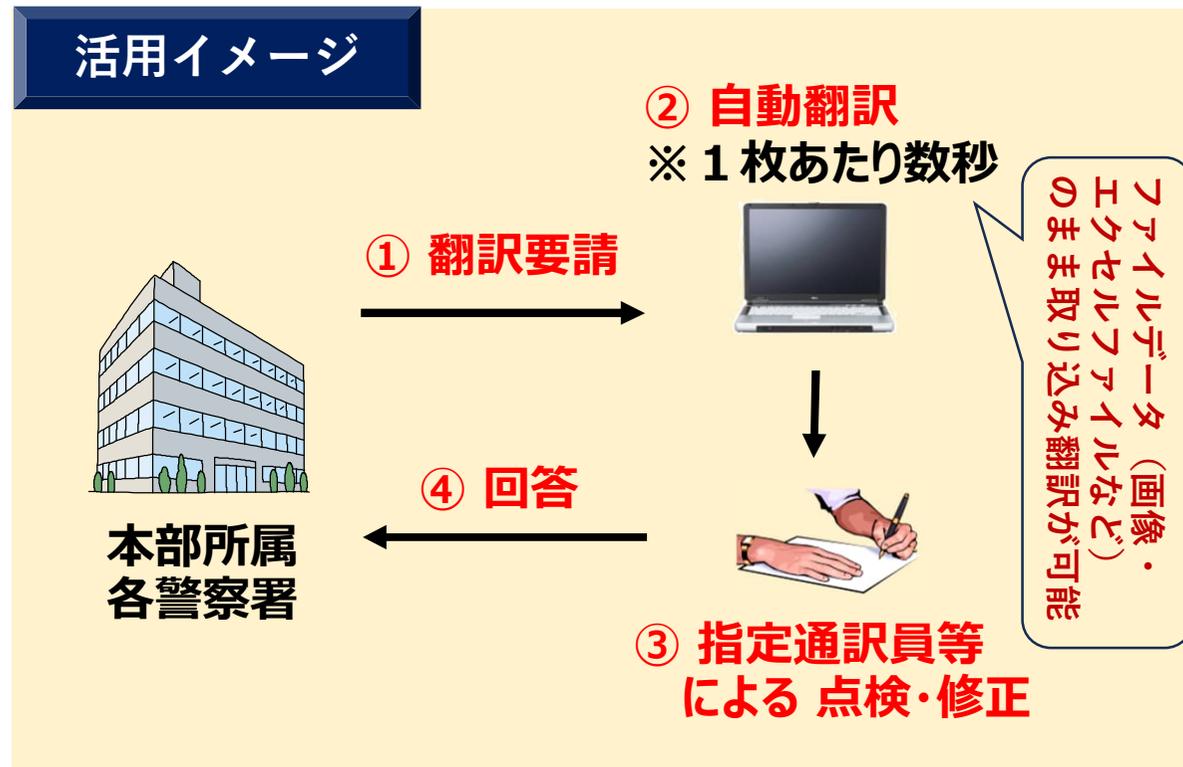
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,828

- 外国人犯罪捜査で指定通訳員等が行っている翻訳業務について、**AI翻訳エンジンを新たに導入**することで言語を自動的に翻訳し、業務の迅速化及び事件の早期解決を図る

○実施内容

近年増加傾向にある外国人犯罪について、業務の迅速化及び事件の早期解決を図るため、犯罪捜査にかかる翻訳業務に用いるAI翻訳エンジンを新たに導入



【拡】 ■ SNSによる誹謗中傷等の防止対策強化（R6.2月補正計上予定）

10,000千円
(重点支援交付金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
10,000	0	0	0

➤ 深刻化する **SNSによる誹謗中傷等の防止を図る** ため、普及啓発と被害者救済支援を強化

1. 普及啓発キャンペーン

SNS利用のリテラシー向上、相談事業等の県事業PRを推進

(1) デジタルサイネージでの啓発

主要駅の **デジタルサイネージ**、**大型ビジョン**等を活用した啓発

(2) SNS等を活用した広告

LINEなどSNS広告やポスター等を活用した幅広い層への啓発

(3) プロスポーツチームとの連携

著名スポーツ選手による啓発メッセージを収録し、デジタルサイネージ、SNS広告等で発信

(4) 啓発キャンペーンの実施

ショッピングモール等で啓発グッズ配布等を行う **キャンペーンを実施**

2. 被害者救済体制の強化

(1) 「ネット上の誹謗中傷等に関する弁護士相談窓口」の開設日拡充

現行の週1回（木曜日）開設から休日の **開設日を拡充**

区分	時間	場所	内容
専門相談員	毎週月曜～金曜 9時から17時	県人権啓発協会内 (のじぎく会館)	人権侵害に係る 相談全般 、 専門相談機関の紹介 等
弁護士 「ネット上の誹謗中傷等に関する弁護士相談窓口」	毎週木曜 15時から17時 休日 ※開設日時調整中		SNS上の誹謗中傷等に係る 情報開示請求方法 や 訴訟に関する助言 等 ※電話又は対面

(2) 関係機関との連携強化

県警、法務局、県弁護士会等関係機関との連携を強化するため、**連絡会議等を実施**

3. 県・県人権啓発協会HPでの広報強化、県公式Xでの発信

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【拡】 ■客引き行為等の防止に関する条例 推進事業

52,088千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	15,174	0	36,914

➤コロナ禍後増加傾向にある繁華街における客引き行為を防止するため、**客引き行為等防止条例に基づき、指導・啓発の体制を強化**

○現 状

禁止地区に指導員を配置し、巡回及び指導違反者への措置を実施

- ・禁止地区：三宮地域（H27.10～）
阪急西宮北口駅北西地域、JR甲子園口駅南側地域（R6.5～）

○課 題

- ・**三宮地区**では地区指定(H27.4)以降客引き数は減少傾向にあったが、**コロナ禍を底に再び増加**
- ・西宮の2地区については、地区指定(R6.5)以降減少傾向にあるものの、**西宮北口北西地域では夏以降増加**に転じている

○実施内容

指導員の配置人員を増員するとともに、**新たにパトロール隊(※)**を配置し、指導体制を強化

※他団体の繁華街で実績を挙げている民間警備会社等を想定

三宮地区：指導員等 7名

西宮地区：指導員等 1名→4名（パトロール隊2名含む）



■ユニバーサルツーリズム推進事業

14,210千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	14,210

- 年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが旅の楽しみを享受できる**ユニバーサルツーリズム(UT)**を一層推進するため、**観光地の受入体制の強化・意識醸成等を実施**

区 分	内 容
全県的な受入体制の強化	
UTコンシェルジュの育成	県内外のUT現場で活躍する人材の指導の下、通常の旅行手配では習得できないノウハウを座学・ワークショップを通じて実践的に習得 ・座学講習：4回 ・ワークショップ：2回
観光地人材のおもてなし力強化	UTの意義を観光産業の経営管理層に伝えるトップセミナーや、従業員のおもてなし力向上研修を実施 ・トップセミナー：1回 ・おもてなし力向上研修：15回
宿泊施設のソフト対策支援	高齢者・障害者が安心して滞在する上で障壁となるハード面以外の課題を解消するための宿泊施設の取組を支援 ・補助対象：宿泊施設（筆談タブレット等の備品購入、資格取得経費） ・補助率：1/2（補助上限300千円）
ひょうごUT推進連絡会の運営	県内市町、観光協会、福祉関係事業者や交通事業者などで構成するひょうごUT推進連絡会を開催
情報発信の充実	UTの推進のため、WEBサイトによる発信やモニターツアーなどを実施 ・モニターツアー：4回

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【拡】 ■住宅確保要配慮者入居円滑化事業

3,180千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,180

- 高齢者など住宅確保要配慮者の入居を拒まないものとして登録された住宅等（セーフティネット住宅）の改修や家賃低廉化、住替えに必要な経費を補助することで、**住宅確保要配慮者の安定居住を促進**

○実施内容

区分	改修費補助	家賃低廉化補助	家賃債務保証料低廉化補助	【新】住替え補助
対象経費	居住するための改修費 (バリアフリー工事等)	家賃低減に要した経費 (管理開始後最大10年)	入居時の家賃債務保証料の低減に要した経費	①土砂災害特別警戒区域からの住替え経費 ②低廉家賃の住宅への住替え経費(現在家賃より低廉となる住替えに限る)
対象住宅	住宅確保要配慮者専用の登録住宅 【拡】居住サポート住宅※		登録住宅 【拡】居住サポート住宅※	
補助上限	1,500千円/戸	40千円/月	60千円/月	100千円/戸
負担割合	国1/3、県1/6、市町1/6、事業者1/3		国1/2、県1/4、市町1/4	
件数	2戸	20戸	2戸	10戸

※居住支援法人等が安否確認・見守りによるサポート等のサービスを提供する住宅

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

■ 带状疱疹ワクチン接種助成事業

25,786千円
(重点支援地方交付金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
25,786	0	0	0

- 治癒後に過酷な神経痛が危惧される**带状疱疹の発症予防を推進**するため、市町の带状疱疹ワクチン接種助成事業に対する支援を延長（令和7年度限り）

○ 助成制度概要

項目	内容									
対象者	接種日現在で満50歳以上、かつ、令和8年3月31日時点で60歳以下の方									
補助単価	<p>(例)接種費用8,000円の場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県</th> <th>市町</th> <th>接種者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000円</td> <td>2,000円</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町が助成する場合に、その1/2を補助 ただし、上限額は2,000円</p>	県	市町	接種者	2,000円	2,000円	4,000円	1	1	2
県	市町	接種者								
2,000円	2,000円	4,000円								
1	1	2								
補助回数	生ワクチン、組換えワクチンどちらか1回限り									

○ 国の方針

- ・ 令和7年4月1日より65歳を対象とした定期接種が開始される予定
- ・ 対象者 : 65歳の方
- ・ 経過措置 : 70歳から5歳刻みで100歳まで、5年間実施
100歳以上については、初年度に限り全員対象

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【新】 24時間対応在宅介護サービス参入促進事業

54,542千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
27,271	0	0	27,271

- ▶ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の参入支援について、**補助基準額・負担割合等を見直す一方、対象事業者等を拡充した新たなスキームにより支援**

○現行の支援スキームからの主な変更点

【新】・看護小規模多機能型居宅介護を対象事業者に追加 [人件費補助、賃借料補助]

【新】・提携事業所業務委託費やサテライトオフィス賃借料を対象経費に追加 [人件費補助、賃借料補助]

・補助基準額の見直し [人件費補助、賃借料補助]

・事業者負担の導入、負担割合の見直し [人件費補助、賃借料補助、単価差補助]

【参入支援促進】

区分	人件費補助	賃借料補助
対象期間	開設後1年間	開設後1年間
対象経費	人件費 及び提携事業所業務委託費 にかかる赤字部分	賃借料 (サテライトオフィス含む)
対象事業者	定巡事業者 及び看多機事業者	定巡事業者 及び看多機事業者
補助基準額	7,350千円	1,500千円
負担割合	県1/4、市町1/4、 事業者1/2	県1/4、市町1/4、 事業者1/2

【単価差支援】

区分	内容	
対象経費	定巡事業所における訪問看護と単独の訪問看護の介護報酬の単価差を補助	
対象事業者	定巡事業者	定巡事業者のうちサ高住・有料併設事業者
負担割合	県1/2、市町1/4、 事業者1/4	県1/4、市町1/8、 事業者5/8

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

■ 訪問介護の提供体制・確保支援

23,758千円
(医療介護推進基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	23,758	0	0

【拡】 1. 訪問介護人材等確保対策事業 (16,800千円)

- 特に人材確保が困難になっている **訪問介護員（ヘルパー）の定着支援のため**、補助メニューをパッケージ化して支援

○ 支援対象経費

- ・ 初任者訪問介護員に対するOJT研修費用
- ・ 初任者研修や介護福祉士資格取得のための実務者研修等に関する受講経費
- ・ 初任者研修・実務者研修を受講する際に必要となる代替職員の確保に要する経費

【新】・ 経営改善の専門家の活用等に要する経費

【新】・ ホームページの改修など介護人材や利用者の確保のための広報に要する経費

【拡】 2. 地方部の研修開講支援事業 (6,958千円)

- **地方部において、ホームヘルパーとして働くために受講が必要な初任者研修**及び介護福祉士の資格取得に必要な実務者研修を開催する際の経費を補助

区分	対象地域
【新】 初任者研修	但馬、丹波、淡路、北播磨、西播磨
実務者研修	但馬、丹波、淡路
	【新】 北播磨、西播磨

○ 補助金額 ※但馬地域の場合

初任者研修：1講座あたり上限348千円

実務者研修：1講座あたり上限420千円

【拡】 ■ PFAS実態把握推進事業

12,897千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	12,897

- 健康への影響が懸念されるPFAS（有機フッ素化合物）について、県内で検出されている現状を踏まえ、引き続き、**公共用水域での常時監視**を行うとともに、低減・削減対策を検討するため、**PFOS・PFOA等の削減指導手法の調査研究**を実施

○公共用水域の常時監視（モニタリングの強化）

- ・ 河川の環境基準点および補完地点等で継続的に調査を実施
- ・ 地下水の環境基準項目を調査している井戸および過去にPFOS・PFOAによる汚染が発見された井戸において継続的に調査を実施

【拡】 ○PFASの実態把握・調査研究

- ・ 一般環境中等におけるPFOS・PFOA以外のPFASの実態調査を実施
- ・ 工場等におけるPFOS・PFOA等の削減指導手法の調査研究を実施

【新】 ○情報発信の強化

- ・ PFASの科学的知見に基づく情報や県内での調査結果について、正確で迅速な情報発信体制を整備

PFAS（ピーファス）
（パーフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物）

- ▶ 炭素とフッ素の結合をもつ有機化合物で、1万種以上存在するとされる
- ▶ PFASの中でも、PFOS・PFOAは幅広い用途で使用

製造や輸入が禁止されたPFAS

PFOS（パーフルオロオクタンスルホン酸）…… 泡消火剤 等

PFOA（パーフルオロオクタン酸）…………… フッ素ポリマー加工助剤 等

誰も取り残さない安全安心な兵庫

【拡】 ■ひょうご不登校対策プロジェクト

297,300千円

国庫	特定	起債	一般
66,100	0	0	231,200

➤ 校内サポートルームにおける不登校児童生徒への学習支援等の、**個に応じた支援**を実施。また、フリースクール等民間施設に通う不登校児童生徒の家庭に対して、民間施設での授業料等を補助する市町（設置者）への補助を実施

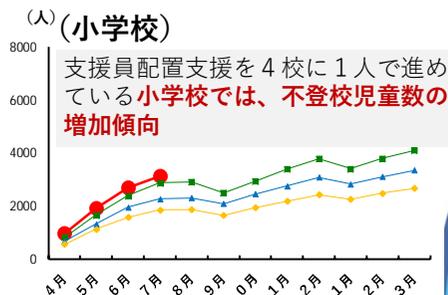
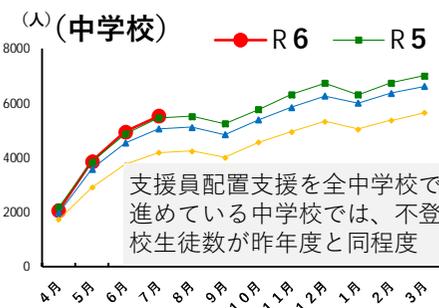
○不登校児童生徒支援員（外部人材）の配置を支援【拡】

依然不登校の増加傾向が続いている小学校について、不登校児童生徒支援員の全校配置に向けて、段階的に、配置支援の拡充を検討

事業のスキーム 県の市町への補助事業

- 配置校** 中学校：全中学校の各校に1人【変更なし】
小学校：市町毎に**2校に1人**【R6...4校に1人】
※市町の判断により配置学校を選択
- 負担割合** 県：市町 = 1 : 1 (1/2補助)【変更なし】
- 報酬単価** 1,500円/時間【変更なし】
- 配置時間** 週20時間[4時間/日 × 5日間] × 35週【変更なし】

不登校児童生徒数の推移 ※R6は速報値



○フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への支援【新】

フリースクール等民間施設に通う不登校児童生徒の家庭に対して、民間施設での授業料等を補助する市町（設置者）を支援

事業のスキーム 県の市町（設置者）への補助事業

- 補助対象** 県作成「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」を踏まえたフリースクール等民間施設に通い、出席扱いと認められた児童生徒
 - 対象経費** 授業料等※
 - 補助金額** 10,000円/月（上限）
 - 負担割合** 県：市町（設置者） = 1 : 1 (1/2補助)
- ※授業料、施設利用料、その他市町（設置者）が認めた経費（ただし、支援対象の児童生徒が在籍する小学校又は中学校において、保護者が負担することとなっている経費（飲食費、課外活動費、交通費等）を除く）

民間団体へ通う児童生徒数の推移



公立学校に通う児童生徒に関すること
私立学校へ通う児童生徒に関すること

担当課：教育委員会義務教育課生徒指導班
担当課：総務部教育課私学教育班

連絡先：078-362-3773（内線5723）
連絡先：078-362-3104（内線2526）

【拡】 ■ ひきこもり対策総合支援事業

21,098千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
11,975	0	0	9,123

- ひきこもり状態にある方の増加に加え、対象者の属性の多様化など支援のあり方が複雑化していることから、**ひきこもり対策を強化**

○実施内容

区 分	内 容
1 市町への支援	
ひきこもり総合支援センターの設置	相談支援員2名(心理士4日/週)、電話相談員1名を配置
【新】 市町ひきこもり後方支援力の強化	ひきこもり総合支援センターやひきこもり相談支援センター・ブランチ等と連携して市町へ広域的・専門的な後方支援を行う保健師等の専門職を県内5圏域[阪神・播磨・但馬・丹波・淡路]に配置
市町ひきこもり支援合同研究会	市町職員を対象とした合同研究会(体制構築の事例発表等)
2 支援団体への支援	
ひきこもり支援団体等運営力向上研修の実施	①支援団体の経営力向上研修 ②ひきこもり支援者スキルアップ研修
ひきこもり支援団体等ネットワークの構築	全県的な支援団体等ネットワークを立ち上げ、情報交換の仕組みを構築
3 広域的な支援	
オンライン居場所の設置	Web会議アプリ(Zoom等)を活用したオンライン居場所を設置 ※設置数:10箇所(うち女性専用2箇所、対面開催にも対応3箇所)
ポータルサイトの運営	ひきこもり状態にある方やその家族に対して、支援情報を発信
ひきこもりを抱える家族交流の場の設置	ひきこもり状態にある方の家族がオンラインや対面で交流できる場の設置 ※設置数:7箇所(うちオンライン5箇所、対面2箇所)

【拡】 ■ ケアラーへの支援の充実

5,000千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	5,000	0	0

- ▶ 社会的養護経験者（ケアラー）の自立生活を支援するため、入所中から将来の選択肢を広げ、学びや好奇心を満たす環境を整えるととともに、大学進学への支援を実施

進路選択の視野を広げる

夢ふれあい交流事業（R5～）	
対象	小5～中1（40人程度）
内容	大学生と自然体験（キャンプ）等を通じた交流

進路選択を考える

夢かたりあい交流事業（R5～）	
対象	中2～高2（県内33か所）
内容	先輩大学生と施設等にて、大学生活等を語り合う

参考：現在の大学等進学率

全国	57.0%
兵庫県	64.1%
児童養護施設退所所(兵庫県)	28.2%

R10目標	55.0%
-------	-------

※全国の大学進学率並を確保

【新】夢かなえる大学進学支援事業

対象	高1～高2（150人程度） ※県内児童養護施設入所または里親の下で暮らしている児童
内容	○大学進学支援セミナーの開催（3回） [セミナー内容] ・予備校講師や大学進学したケアラーより体験発表 ・予備校の進路指導担当者等より 大学受験・進学に向けての心構えを説明 (受験に関する情報提供、志望校の選定方法、具体的な勉強の進め方、準備スケジュール等)

【拡】 ■ ヤングケアラー・若者ケアラー 支援事業

17,344千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
7,428	6,201	0	3,715

- 子ども・子育て支援法等の一部改正（R6.6.12施行）に係る施行通知において、18歳以上のヤングケアラー（若者ケアラー）からの相談対応・ピアサポート支援が県の役割とされたこと等を踏まえ、**引き続き必要な支援体制を構築**

○実施内容

区分	内容
①若者ケアラーの支援	
【拡】若者ケアラー相談窓口	既存の相談窓口に メンタルサポート機能を追加
ピアサポート体制	ピアサポート実施団体への補助、全県オンライン交流会を実施
②その他の相談体制	
市町との調整会議	市町との連携を強化し、把握から支援につなぐ仕組みづくり（年2回）
関係機関職員等への研修	地域ごとに関係機関の職員等に対して、研修を実施
③ふるさと寄附金による支援	
ヤングケアラー世帯配食支援	ヤングケアラー世帯への支援介入のきっかけづくりのために一定期間、世帯全員の弁当を配達

【拡】 ■ 高次脳機能障害支援体制強化事業

17,908千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,954	0	0	8,954

➤ 高次脳機能障害者に対し、それぞれの**生活の段階に応じた支援や受け皿の開拓・連携を推進**

1. 高次脳機能障害支援普及事業：15,665千円

○実施内容

- ・ 相談支援コーディネーターによる専門相談の実施
- ・ 連携支援コーディネーターによる地域連携体制の強化 等

2. 高次脳機能障害支援者養成研修事業：2,243千円 **【新】**

○実施内容

R6報酬改定において当該研修の修了者を配置した事業所に対する報酬加算が新設されたことを受け、**国カリキュラムに基づき、新たに研修を実施**

- ・ **対 象**：障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等において高次脳機能障害者の支援に従事する者
- ・ **研修内容**：基礎研修（障害特性の理解、支援に係る対応方法など）
実践研修（実務演習、個別支援計画の策定など）

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

【新】 ■ 強度行動障害集中的支援実施体制整備事業

5,218千円

財源内訳

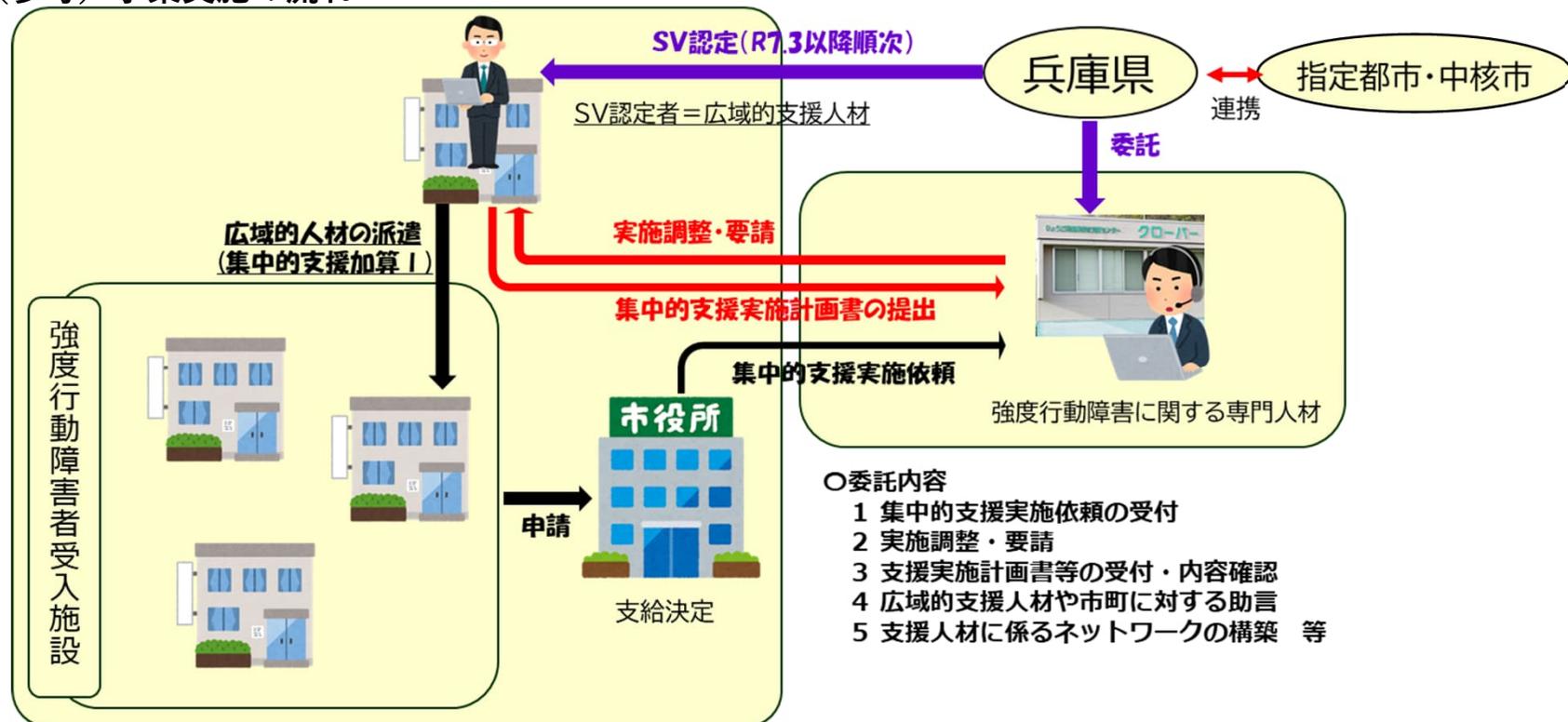
国庫	特定	起債	一般
2,609	1,597	0	1,012

- **強度行動障害SV(スーパーバイザー)等を活用**し、R6報酬改定において新設された報酬加算(広域的支援人材による強度行動障害児者に対する「集中的支援加算I」)を実施するための体制を政令・中核市と連携して整備

○実施内容

- 関係機関と連携を行いながら、広域的支援人材の派遣調整を行う強度行動障害に関する専門人材(1名)の配置

(参考) 事業実施の流れ



【新】 ■ 「親なきあと」を支えるグループホーム支援力強化事業

3,300千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,650	0	0	1,650

- **グループホームの利用ニーズに対応**し、更なる充実した支援を提供するため、**支援力底上げに向けた取組を実施**

○実施内容

民間事業者の新規参入増等により、グループホームの量的充実が進む中、グループホームの直接処遇職員の資質向上を図る必要があることから、当該職員等を対象にした研修を実施

・研修内容

障害特性（身体・知的・精神・発達・高次脳）の理解、モチベーション向上の仕組づくり（キャリアアップ支援）等

・対象者

グループホームの責任者（管理者等）、直接処遇職員（世話人・生活支援員）

【拡】 ■ 工賃向上事業1,585千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
599	387	0	599

- 就労継続支援A型・B型事業所に対して、**専門家派遣や研修会を実施し、経営層等の意識改革を含めた支援を行う**ことにより、県内事業者の工賃向上及び経営改善を図る

1. 工賃向上等経営力強化事業**(1) 就労継続支援A型事業所管理者への経営改善研修：207千円【新】****○研修内容**

経営ノウハウや事業計画、目標設定の見直し（業務効率化、正しい目標設定によるコスト削減、営業力の強化 等）

(2) 就労継続支援B型事業所管理者への意識改革研修：991千円**○研修内容**

主に工賃向上のための事業計画、活動内容の見直し（好事例による意識改革 等）

2. 「ひょうご楽市・楽座」会場での障害福祉事業所によるマルシェ：387千円【新】

万博期間中に設置される「尼崎万博P & R 駐車場」の隣接地で開催される「ひょうご楽市楽座」の会場で、県内障害福祉サービス事業所で作られた商品を幅広くPRし、更なる認知度を向上させるため販売会を実施し、障害者の工賃向上や社会参加へ繋げる。

○期間 9月の土日（計8日間）16:00～21:00

○場所 尼崎フェニックス事業用地（「尼崎万博P & R 駐車場」隣接地）

【新】 ■ 障害者芸術文化支援事業

1,029千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
165	700	0	164

➤ 障害者の芸術作品等の発表機会の確保、鑑賞機会の拡大、活動を支える人材育成の観点から、**芸術文化活動を行う障害者や団体等への多面的な支援**を実施

1. ユニバーサルな映画鑑賞会の開催

○実施内容 日常において映画鑑賞が困難な障害児及びその家族等を対象に、**映画鑑賞会を開催**

○対象者 障害児（精神・知的・発達・身体）とその家族等の関係者

2. ユニバーサルなミュージックフェアの開催

○実施内容 障害者の自己実現や社会参加、表現の場として**ミュージックフェアを開催**

○対象者 県内の音楽活動に取り組む福祉施設に対して出演を公募

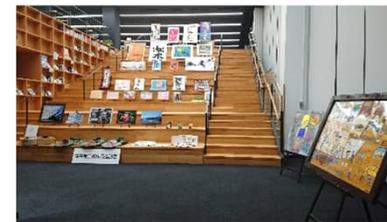
3. 障害者芸術文化活動支援センターのあり方検討委員会の設置

○実施内容 他府県の障害者芸術文化活動支援センターの設置状況及び活動状況を収集し、本県の支援センターのあり方を検討

○障害者芸術の例



（第19回兵庫県障害者芸術・文化祭受賞作品）



（障害者芸術作品巡回展）

【新】 ■ 県内スポーツ施設のユニバーサル 対応研修会の実施

430千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	430

- ▶ 令和6年度に実施したユニバーサルなスポーツ施設検討会（R7も継続）での議論を踏まえ、県内スポーツ施設における職員体制の充実、施設職員が現場で活かせる知識やスキルの獲得を目的に、**施設職員向け障害者対応研修を実施**

○研修内容

（座学）

- ・ 各障害の理解と障害特有の行動特性を踏まえたコミュニケーション方法
- ・ 障害特性を踏まえた施設利用時の安全確保、事故発生時の対応方法

（実技）

- ・ 施設を実際に利用しながら、介助・誘導・安全確保、疑似体験等の実習

○対象者

県内スポーツ施設（県・市町・民間）の運営に携わる職員



座学研修



実技研修：身体障害者の利用時の対応

【新】 ■ひょうご・ユニバーサルデイの開催

561千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	561	0	0

- ▶ 2025大阪・関西万博に向けて取り組んできた「みんなの声かけ運動」や手話講座等、障害者の社会参加支援のより一層の広がりを目指して、**万博のテーマウィークと連動し、ユニバーサル社会づくりの推進に向けたイベントを一体的に実施**する。

○実施内容

- ・ **開催日**：令和7年8月9日
- ・ **場 所**：尼崎市記念公園ベイコム総合体育館 サブアリーナ等
- ・ **内 容**：ユニバーサル社会づくりの推進に向けたイベント（講座・体験会・展示販売等）
- ・ **参加者数**：500名

○イベントイメージ



(展示販売)



(講座・体験会)

■社会基盤の充実・強化 (公共事業・国直轄事業)

120,735,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
57,243,718	6,029,090	56,405,300	1,056,892

○公共事業：110,393,000千円

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
道路・街路	(主)加古川小野線 東播磨道(加古川市～小野市)	舗装、設備等	35,983
	(国)178号 浜坂道路Ⅱ期(新温泉町)	トンネル、橋梁、道路改良等	
	(主)明石神戸宝塚線 甲山大橋(西宮市)	橋梁補修	
	(一)明石高砂線 相生橋西詰交差点(高砂市)	交差点改良	
	(都)尼崎宝塚線 阪急立体工区(尼崎市)	道路改良	
河川	武庫川(尼崎市等)	河道拡幅	11,926
	津門川(西宮市)	地下貯留管整備	
砂防	西蒲田川(姫路市)	砂防堰堤工	8,903
海岸・港湾	姫路港海岸(姫路市)	大江島排水機場更新等	4,345
公園	明石公園(明石市)	公園施設更新	1,405
区画整理	英賀保駅周辺地区(姫路市)	JR立体交差	1,157
農業農村	淡路市入野2期地区(淡路市)	ほ場整備	11,000
造林	波賀町上野(宍粟市)	間伐等	1,765
林道	千ヶ峰・三国岳線(朝来市生野町黒川～多可町加美区奥荒田)	森林基幹道整備	503
治山	小柿(三田市)	治山ダム工	3,930
漁港	沼島漁港(南あわじ市)	港口水門等整備	1,600
漁場整備開発	播磨灘北淡(淡路市)	魚礁設置	940
経営構造改善	大部地区(小野市)	農業用機械等整備	50
林業構造改善	山崎町(宍粟市)	未利用間伐材等活用機材整備	37
小計			83,544
流域下水道事業	兵庫東流域下水污泥広域処理場(尼崎市)	污泥処理施設改築等	26,849



東播磨道(加古川市～小野市)



浜坂道路Ⅱ期(新温泉町)



兵庫東流域下水污泥広域処理場(尼崎市)

<改築後イメージ図>

○国直轄事業：10,342,000千円

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
道路	(国)175号西脇北バイパス、(国)483号豊岡道路(Ⅱ期)	道路改良等	5,813
河川	加古川(加東市)、円山川(豊岡市)	築堤等	2,374
砂防	六甲山系(神戸市)	砂防堰堤工	1,180
海岸・港湾	姫路港広畑地区(姫路市)	岸壁整備等	491
公園	国営明石海峡公園(神戸市、淡路市)	公園施設更新	168
土地改良	東条川二期(加東市・小野市・三木市)	ため池耐震対策	316



姫路港広畑地区(姫路市)

【担当課室一覧(公共事業)】

区分	担当課室	連絡先
道路・街路	土木部道路街路課国道・交通施設班	078-362-3517(内線4378)
	土木部道路街路課県道班	078-362-3516(内線4376)
	土木部道路街路課街路班	078-362-3547(内線4474)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3524(内線4399)
河川	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
	土木部総合治水課施設班	078-362-4028(内線4424)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
海岸・港湾	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3540(内線4452)
公園	まちづくり部公園緑地課整備班	078-362-3550(内線4486)
区画整理	まちづくり部都市計画課区画整理班	078-362-9305(内線4673)
農業農村	農林水産部農地整備課基盤整備班	078-362-3430(内線4041)
造林	農林水産部林務課森林整備計画班	078-362-3461(内線4109)
林道	農林水産部林務課森林整備計画班	078-362-3461(内線4109)
漁港	農林水産部水産漁港課漁港漁場整備班	078-362-3484(内線4177)
漁場整備開発	農林水産部水産漁港課漁港漁場整備班	078-362-9233(内線4174)

【担当課室一覧(公共事業)】

区分	担当課室	連絡先
治山	農林水産部治山課治山班	078-362-3469(内線4132)
経営構造改善	農林水産部農業経営課集落農業活性化班	078-362-3407(内線3940)
林業構造改善	農林水産部林務課木材利用班	078-362-9224(内線4102)
流域下水道事業	土木部下水道課計画指導班	078-362-3554(内線4500)

【担当課室一覧(国直轄事業)】

区分	担当課室	連絡先
道路	土木部道路街路課国道・交通施設班	078-362-3517(内線4378)
河川	土木部河川整備課企画防災班	078-362-3530(内線4417)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
海岸・港湾	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3539(内線4450)
公園	まちづくり部公園緑地課企画管理班	078-362-3549(内線4484)
土地改良	農林水産部農地整備課農村計画班	078-362-3429(内線4012)

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

■ 災害に強い県土づくりの推進 (県単独事業)

9,559,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	60,000	9,499,000	0

1 緊急防災・減災事業：2,500,000千円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」と連携し、地震・津波対策等を実施（事業期間：令和3～7年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
橋梁	(国)250号 相生大橋 (相生市)	橋梁耐震化 等	653
	(主)三木穴栗線 福崎大橋 (福崎町)		
落石防止	(国)250号 (赤穂市)	道路法面の防災対策	805
	(国)429号 (朝来市)		
河川等 地震対策	旧左門殿川 (尼崎市)	護岸等の強化	1,042
	東播磨港 (高砂市)	物揚場整備	



国道250号 汐見橋
落橋防止装置・橋脚補強 (姫路市)

2 緊急自然災害防止対策事業：4,959,000千円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」と連携し、高潮対策や河川対策、土砂災害対策等の防災・減災対策を県単独で実施（事業期間：令和3～7年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
高潮対策	洲本海岸 (洲本市)	護岸整備	600
河川対策	八木川 (養父市)	河川中上流部治水対策	1,600
	竹安川 (丹波市)		
土砂災害対策	仙願寺川 (丹波篠山市)	土砂災害対策	1,200
	中里(3)地区 (神戸市)		
道路防災対策	(国)482号 (豊岡市)	雪害対策	800
	(主)福良江井岩屋線 (淡路市)	道路情報板LED化	
山地防災	井土 (新温泉町)	治山ダム工	759
	奥海 (佐用町)		



古瀬畑川 砂防堰堤 (姫路市)

3 緊急浚渫推進事業：2,100,000千円

大規模な浸水被害等が相次ぐ中、事前防災を図るため、計画的に堆積土砂等を撤去し、事前防災対策を推進（事業期間：令和7～11年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
河川	明石川（神戸市）	堆積土砂撤去	2,000
	市川（姫路市）		
砂防	深谷川（朝来市）	堆積土砂撤去	100



岩野辺川 堆積土砂撤去（宍粟市）

【担当課室一覧】

緊急防災・減災事業

区分	担当課室	連絡先
橋梁	土木部道路企画課事業推進班	078-362-9256(内線4367)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3524(内線4399)
落石防止	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
河川等 地震対策	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3539(内線4450)

緊急自然災害防止対策事業

区分	担当課室	連絡先
高潮対策	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3540(内線4452)
河川対策	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
土砂災害対策	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
道路防災対策	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3524(内線4399)
山地防災	農林水産部治山課治山班	078-362-3469 (内線4132)

緊急浚渫推進事業

区分	担当課室	連絡先
河川	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

■安全安心な日常の維持管理の強化

2,000,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	1,500,000	500,000

- 県民の安全安心に直結する日常の維持管理の強化として、「**道路区画線の引き直し**」、「**通学路等の年2回の除草**」、「**河川堤防の点検前除草**」を実施

○実施内容

区分	実施内容
道路区画線の引き直し	夜間や雨天時の走行の安全性確保に向け、正面衝突など重大な事故につながる箇所等の区画線の引き直しを実施
通学路等の年2回の除草	通学生が雑草を避けて車道にはみ出し、危険な状態となっている通学路などで除草を年2回実施
河川堤防の点検前除草	決壊すれば甚大な被害につながる盛土構造の堤防区間において、堤防の管理水準を向上させるため、法定の堤防点検前に草刈りを実施

道路区画線の引き直し



通学路等の年2回の除草



河川堤防の点検前除草



担当課：土木部道路保全課保全班
土木部河川整備課企画防災班

連絡先：078-362-3523（内線4397）
連絡先：078-362-3531（内線4419）

1. 「学びやすい兵庫」の実現

■ 県立大学の授業料等無償化

1,380,629千円
(県立大学授業料等無償化基金)

II 若者が輝く兵庫

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,380,629	0	0

➤ 兵庫の若者が、学費負担への不安なく安心して希望する教育を受けることができる仕組みづくりのため、県が設置している県立大学（兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学）について、**県内在住者の入学金及び授業料を学部、大学院ともに所得にかかわらず無償化**

○ 入学金及び授業料の無償化

県内在住者に対する入学金（282,000円）および授業料（535,800円/年）を免除

※在學生と新入生との支援格差を考慮し高学年より段階的に実施

(R7：授業料（学部2年～4年、大学院全学年）、入学金（大学院）)

○ 県立大学授業料等無償化基金(仮称)の創設

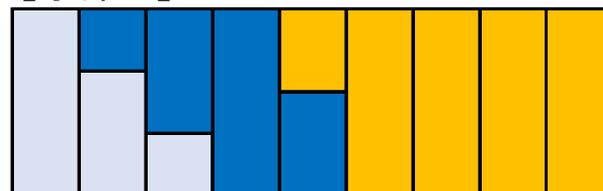
各年度事業費を安定的に確保するため、決算剰余金等を活用して基金を造成

(R6年度2月補正計上予定)

イメージ図 R8完成

授業料 535,800円
入学金 282,000円

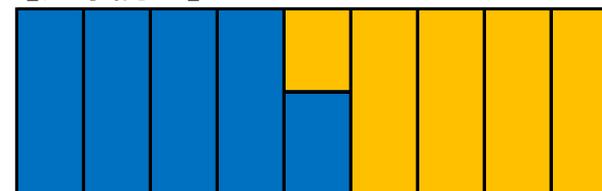
【学部生】



【年収目安】

270万円 300万円 380万円 400万円 500万円 590万円 800万円 910万円

【大学院生】



270万円 300万円 380万円 400万円 500万円 590万円 800万円 910万円

国制度分

3/3	2/3	1/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

県独自支援分

0/3	1/3	2/3	3/3	1/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

追加分(県内生)

0/3	0/3	0/3	0/3	1/2	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3/3	3/3	3/3	3/3	1/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

0/3	0/3	0/3	0/3	1/2	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 県立大学における県外生への支援

42,914千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	42,914

- 県が設置している県立大学（兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学）について、**県外在住者の入学金及び授業料を支援**

【新】○ 県外生の入学金の引き下げ（R7大学院）：9,870千円

県外生の入学金について、国立大学並みに引き下げ（423,000円⇒282,000円）

○ 県による独自支援の継続：33,044千円

県外生等に対する授業料の支援を引き続き実施

- ・ 支援内容 年収400万円未満：授業料の全額を免除
年収500万円未満：授業料の半額を免除

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 私立高等学校等生徒授業料軽減補助

1,097,455千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,097,455

➤ 就学機会を確保するため、国の就学支援金に**県単独加算を拡充し、経済的負担軽減を実施**

○ 実施内容

年収590万円未満世帯に対して、本県の平均授業料（46万円）まで支援を拡充し、実質無償化

〈拡充内容〉

- ・ 年収590万円未満世帯の補助単価を **2万円** 引き上げ（4.4万円 → **6.4万円**）

【現行制度】 ※子ども3人以上の多子世帯は1万円加算

年収目安	国就学支援金	県授業料軽減	計
590万円未満	396,000円	44,000円	440,000円
590～730万円未満	118,800円	120,000円	238,800円
730～910万円未満	118,800円	60,000円	178,800円



【拡充後制度】

国就学支援金	県授業料軽減	計
396,000円	64,000円	460,000円
118,800円	120,000円	238,800円
118,800円	60,000円	178,800円

支援拡充

○ 補助対象者

- ・ 私立高等学校（全日制）県内校通学者
- ・ 私立高等学校近隣府県 県外校通学者※1
- ・ 私立専修学校及び各種学校（高等課程に類する課程）県内校通学者※2

[補助額]

- ※1 京都府：県内私立高校の1/2
その他近隣府県：県内私立高校の1/4（大阪府、岡山県、鳥取県、滋賀県、奈良県、和歌山県及び徳島県）
- ※2 県内私立高校の1/2

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 私立高校の魅力向上にかかる検討会

500千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	500

- 15歳人口の減少などの社会情勢変化を踏まえ、私立高校を取り巻く現状の分析や課題を共有し、**県下の私立高校が選ばれる学校となるための魅力向上策を検討**

○ 検討会の概要

- ・ **構成員** : 有識者、私学関係者、県
- ・ **テーマ** : 魅力向上に寄与する取組み
(高大連携、グローバル人材育成、特色あるカリキュラム等)
- ・ **実施回数** : 3回程度

スケジュール (予定)

R7 2～3月
第1回検討会

R7 5～9月
検討会 適宜開催

R7 10月
検討会

人口動態や生徒数の推移、大阪府と兵庫県の子徒流動状況等について意見交換を実施

検討会の内容を
集約しとりまとめ

■奨学金返済支援制度

186,053千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	186,053	0	0

- 若者の県内就職・定着を促進するため、**従業員の奨学金返済負担軽減を行う企業等に対して、費用の一部を支援**

○補助対象

対象企業

本社が県内にある中小企業・社会福祉法人等

対象従業員

対象企業に勤務し、次の要件をすべて満たす方

- ①日本学生支援機構の奨学金を受給し返済義務がある
- ②正社員で40歳未満
- ③県内事業所に勤務

- 補助期間 対象者1人あたり最大17年間

補助期間	対象企業
5年	県内に本社がある中小企業、社会福祉法人等
10年	①SDGs宣言企業、②フレッシュミモザ企業、③ワーク・ライフ・バランス宣言企業 ①～③のいずれか2つ以上を取得した企業
17年	①SDGs認証企業、②ミモザ企業、③ワーク・ライフ・バランス認定企業またはワーク・ライフ・バランス表彰企業 ①～③のいずれか2つ以上を取得した企業

○補助額

年間返済額の2/3 (上限12万円)

県 2/3

企業 1/3

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 県立高校ふるさと共創プロジェクト 77,000千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
38,500	0	0	38,500

- 高校生が地域資源を知り、見直しや活用について学びを深め、「まちづくり」や「ビジネス」の提案、学びの成果をアウトプットする機会、地域とのつながりを創出し、地方創生に貢献する人材育成を図るとともに、生徒自身が考え発信することでふるさとへの愛着とプライドを醸成

○実施内容

区分	実施内容
①地域行事等への参画	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事にボランティアとして参加 地域資源や地域行事の歴史について学習
②地域を支える人や企業の調査・分析	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の生産や保全、地域行事の運営に携わる企業等を調査 地域を支える人や企業から話を聞き、地域社会の構造を分析
③就業体験・事業提案、社会実装	<ul style="list-style-type: none"> 調査・分析を経て興味関心を持った企業で就業体験を実施 上記①②の体験から起業アイデアを練って事業計画を作成 地域活性化事業や商品を考え、企業とともに社会実装に取り組む
④校内取組成果の発表	<ul style="list-style-type: none"> 校内発表会や地域行事でこれまでの取組を発表 将来のふるさとについて提言・提案 校内優秀発表を決定し、県下の成果発表者を選出
⑤全県成果発表会及び外部委員審査・表彰・好事例の横展開	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価により取組を評価 他校の好事例を次年度以降の活動に活かす

○対象校 全県立高校153校

○補助金額 50万円/学校

II 若者が輝く兵庫

■HYOGOグローバルリーダー育成 プロジェクト①

英語力向上のための研究と実践

12,960千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	12,960

- 県内高校生の英語の4技能（Speaking、Listening、Writing、Reading）の向上とCEFR※A2の目標達成を目指すため、**英語教育重点指定校を設定し、BYOD端末を活用して、英語学習アプリとALTによる指導を効果的に融合させる授業実践及び英語学習指導**を実施

- 実施校 20校
- 指定期間 3年間（R6～R8）
- 対象学年 令和7年4月時点の高校1年次

※CEFR：Common European Framework of Reference for Languages（セフアール）

外国語によるコミュニケーション能力の評価等に用いられる国際基準の指標。

例) A2 = 英検準2級～2級 = TOEFL iBT ～41点

文科省は『第4期教育振興基本計画』（R5～R9年度）において、「CEFR A2相当以上を達成した生徒の割合をR9までに60%以上」を目標としている

（参考）導入する英語アプリについて

- 概要：英語4技能の能力向上に役立ち、かつ目標（英語力・志望校等）設定・管理機能を有するもの
- 活用例：小テスト等の正答率分析、発音練習、授業での学力レベルの把握 等

II 若者が輝く兵庫

■HYOGOグローバルリーダー育成 プロジェクト② 高等学校探究活動の充実

51,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	51,000

- 大学等との連携を進め、課題発見力を高めて新たな学びに踏み出すなど、**探究活動の充実に図り、自身の学びを深めるため、SSH並の県指定研究事業を推進**

○ひょうごリーダーハイスクールによる実践研究：50,000千円

社会の課題発見・解決に取り組み、最先端の学びにより、グローバルに活躍できる人材育成を目指す学校を「ひょうごリーダーハイスクール」として指定

- ・ **内 容** 文理融合型や国際系等の探究の研究、県立大学等と連携した研究、留学生等ネイティブスピーカーとの文化交流、地域課題発掘・解決方策の提案等
- ・ **対象校** 10校
- ・ **期 間** 1年間（最長5年）

○研究成果の普及：1,000千円

SSH等の国指定事業及びひょうごリーダーハイスクール指定校による全県的な発表会を実施し、研究成果を全県へ普及

- ・ **内 容** 研究発表会、指定校以外も参加できる普及イベント等の開催

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト③ 海外留学のサポート

41,559千円
〔ふるさとひょうご〕
寄附金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
18,840	5,000	0	17,719

- 異文化に触れ、興味・関心、意欲を高め、自身の学びの深化につながるための生徒の留学を後押しするため、**留学支援金を給付**（補助金額、補助人数について一部拡充）

コース		日数	補助金額 (上限)	対象人数	その他
短期	I 短期留学	10日～ 1ヶ月	6万円	314名	国費事業に採択されたプログラムを対象
	【拡】 II チャレンジ 留学 (海外武者修行)	約1ヶ月	50万円	10名 →20名	留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を対象 留学先で兵庫県の魅力を発信する活動を必ず行う
	III はじめて 留学	7日～ 1ヶ月	20万円	40名	以前に留学経験が無い生徒が対象 奨学資金貸与基準以下の世帯を対象
長期	IV 長期留学	1年	40万円	16名	個人で民間団体等が主催するプログラムに参加する生徒が対象

私立学校に関すること
チャレンジ留学に関すること
その他に関すること

担当課：総務部教育課私学教育班
担当課：産業労働部国際局国際課交流企画班
担当課：教育委員会高校教育課教育指導班

連絡先：078-362-3104（内線2526）
連絡先：078-362-3026（内線2095）
連絡先：078-362-9447（内線79062）

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 自然学校応援事業

35,466千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	35,466

- 持続可能な自然学校の充実に向け、**自然学校の魅力や意義を発信**するとともに、**教員の業務負担軽減に向けた取組**を実施

1. 魅力発信事業：1,059千円

持続可能な自然学校の充実に向け、自然学校の魅力の発信

○実施内容

- ・ 魅力発信シンポジウムの開催
- ・ 魅力発信地区別研修会の開催
- ・ 啓発資料の作成

2. 自然学校充実のための配置支援：34,407千円

多様化する児童への対応や、教員の業務負担軽減のため、市町の外部人材配置の費用を補助

○実施内容

・ 指導補助員リーダーの配置支援

自然学校期間中、プログラムの充実と教員の児童への個別対応時間を確保

・ 子どもサポーターの配置支援

自然学校期間中、多様化した児童の個別課題を支援

・ 自然学校推進員の配置支援

自然学校に関する事務処理や外部との調整を行い、教員の負担軽減を図る

○負担割合 県1/2、市町1/2

II 若者が輝く兵庫

■ひょうごの未来を担う高校生等の 部活動等応援事業 教育投資の強化①

406,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	160,800	245,200

➤ 部活動など学校生活を応援することで学校への愛着を形成し、**シビックプライドを醸成**

○備品等整備：245,000千円

生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備として、**授業や部活動で使用する用具・備品、各校の状況・特色に応じた整備を集中的に実施**

※生徒の意見を踏まえた整備計画（R5）に基づき、順次整備

①全校で統一的な整備を実施(一律、学級・児童生徒数配分)

- ・授業・部活動で多く使用する球技用器具・ボール等

②各校判断で整備(部活数、学級・児童生徒数配分)

- ・授業・部活用備品(電子ピアノ、3Dプリンタ、ドローン、被服用ミシン等)
- ・学習環境の充実(生徒用机・椅子等)
- ・図書の実(図書・新聞購入、本棚等)
- ・生活環境の向上(下駄箱の更新・中庭ベンチ等)

○グラウンドの芝生化のモデル整備：161,000千円

部活動を行う生徒からの要望のある**学校グラウンドの芝生化のモデル整備を実施**

- ・R7実施校 伊丹北高校

II 若者が輝く兵庫

■ 県立学校施設の環境充実事業

教育投資の強化②-1

2,154,097千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	2,086,500	67,597

➤ 学校施設の環境改善として、選択教室や体育館の空調整備、発展的統合に伴う整備など、**施設**の環境改善を集中的に実施

○ 選択教室への空調整備：382,500千円

- ・ 対 象 県立学校を選択教室96室
※特別教室5教室に加え、少人数教育等で利用が増えている選択教室

○ 体育館(避難所)の空調整備：990,000千円

- ・ 内 容 避難所運営における被災者の熱中症対策等、体育館への空調整備を早期に実施
- ・ 対 象 避難所指定を受けている高等学校のうち18校

○ 発展的統合に伴う講義棟等の整備：275,179千円

- ・ 対 象 発展的統合を行う高等学校
- ・ 内 容 発展的統合に伴い、生徒の声や学校の特色を踏まえ、講義棟建築など新しい学習環境を整備

○ 県立学校の緊急修繕・環境改善対策：506,418千円

- ・ 内 容 緊急修繕・環境改善（消防設備の漏水、教室棟の床の破損等）

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 県立学校施設の環境充実事業
 教育投資の強化②-2 (R6.2月補正計上予定)

1,129,000千円
 (重点支援交付金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
947,500	0	181,500	0

- 学校施設の環境改善として、各校の状況に応じ、生徒個人用ロッカーや教室等で使用する教育用具・備品の整備を集中実施、また、体育館・講堂等の無線LAN環境整備を実施

【新】○生徒個人用ロッカー等教育用備品の整備：768,000千円

- ・内 容
- ①生徒個人用ロッカー整備（優先整備）
デジタル機器や副教材を保管できる生徒個人用ロッカーを整備
 - ②教室等機能向上整備（生徒机の天板拡張用具、グループ学習用机等）
各校の状況に応じ、教室等の機能向上や教育活動の充実に資する用具、備品を整備
- ・対 象 全県立学校



【拡】○体育館・講堂等の無線LAN環境整備：361,000千円

- ・内 容 県立学校内のどの場所からでもBYOD端末の活用ができるよう、現在未整備となっている体育館や講堂、職業学校実習室無線ネットワーク環境の整備を拡充

II 若者が輝く兵庫

■ 新たな特別支援学校の整備

教育投資の強化③

6,743,139千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,920,166	0	4,746,300	76,673

- **県立特別支援学校における教育環境整備方針**に基づき、豊岡聴覚特別支援学校と、出石特別支援学校を発展的に統合するとともに、東播磨地域における3校一体整備による狭隘化対策を実施

- **豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合**
 ・ **但馬地域新設特別支援学校（仮称）の整備：1,315,290千円**
 所在地：豊岡市九日市上町
 開校時期：令和9年4月（予定）

【完成イメージ図】



但馬地域新設特別支援学校（仮称）

- **東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策**
 ・ **いなみ野特別支援学校の改築：2,763,721千円**
 所在地：加古郡稲美町国安
 供用開始：令和9年4月（予定）
 ・ **東播磨地域新設特別支援学校（仮称）の整備：2,243,515千円**
 所在地：加古川市平荘町山角（加古川市立平荘小学校跡地）
 開校時期：令和8年4月（予定）
 ※R8.4～一部開校、R9.4～全面共用開始
 ・ **東はりま特別支援学校の校舎増築：420,613千円**
 所在地：加古郡播磨町北古田
 供用開始：令和8年4月（予定）



いなみ野特別支援学校

東播磨地域新設特別支援学校（仮称）
連絡先：078-362-9372（内線76556）

II 若者が輝く兵庫

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

【拡】 ■ 不妊治療先進医療費・通院交通費助成 187,000千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	187,000	0	0

- 助成対象を拡大し、**隣接府県の医療機関を受診した場合も対象とする**
(従来は原則として県内医療機関を受診した場合を対象)

○実施内容

【対象医療機関の拡充】

居住地	現行
神戸	なし
阪神	なし
東・中・北播磨	なし
丹波	なし
但馬	鳥取県東部※
西播磨	岡山県南東部※
淡路	徳島県東部※



R7拡充

隣接府県の医療機関すべて

〔 大阪府、京都府、鳥取県
岡山県、徳島県 〕

※一部地域のみ隣接府県の隣接医療圏域に限り対象

【助成内容】

項目	内容
助成対象	県内医療機関で先進医療を受けた者 (43歳未満)
助成額	先進医療費：胚移植1回当たり3万円 通院交通費：胚移植1回当たりの通院交通費合計から5,000円を控除した額の1/2以内 (1往復当たり19,000円を上限)

【参考】以下の事業は継続実施

○不妊治療の普及啓発 (8,000千円)

SNSやチラシ、ポスターによる情報発信

○プレコンセプションケアの推進 (2,000千円)

高校生等を対象に妊娠・出産の希望を含む健康についての出前講座などを実施

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ひょうご仕事と生活センター事業
（不妊治療と仕事の両立支援の推進）

4,711千円
（超過課税）

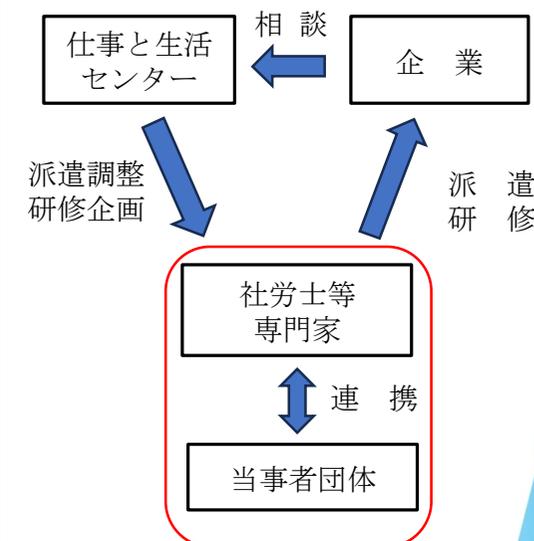
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,355	2,356	0	0

- ひょうご仕事と生活センターにおいて、**不妊治療と仕事の両立支援の取組を全県的に推進**
（不妊治療支援検討会の提言を受け、企業向けの取組を強化）

事業名	内容
普及啓発・情報発信事業	
新 不妊治療の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊治療と仕事の両立推進フォーラム 経営者・管理職を対象に、講演、パネルディスカッション等を実施し不妊治療支援の意識啓発
相談・研修・実践支援	
拡 不妊治療の専門家派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業相談体制の構築 企業、専門家、当事者団体をつなぐ相談体制を構築。当事者による適切な助言など、伴走型支援を実施
拡 不妊治療の研修の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーダーメイド研修の実施 企業の状況に応じて、従業員向けオーダーメイド研修を実施

＜企業支援のイメージ＞



○委託先 （公財）兵庫県勤労福祉協会

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 特定妊婦等支援事業

64,300千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	43,550	0	20,750

- ▶ 予期せぬ妊娠をはじめとする、**妊娠期から出産後の養育に支援が必要な妊婦**や、**妊婦健診を受けずに出産に至った妊産婦（特定妊婦等）**に対して、**自立に向けた一貫的な支援**を実施

1. 居場所確保・自立支援事業

住む場所がない妊産婦が安心して過ごせる受入場所を確保し、**産前産後の心理的ケアや保健指導、生活相談、就労支援**を行うとともに、自立に向け、**県営住宅・民間住宅をステップハウスとして見守り支援**を実施



ステップハウス(県営住宅)

【拡】2. 産前産後母子支援事業

産前産後の心理的ケアや保健指導、生活相談、養育支援を実施

○ 拡充内容

乳児院等の専門的知見を活かし、事業実施の地域偏在を解消するため、実施施設数を拡充(1施設→2施設)

【拡】3. 課題を抱える妊産婦支援プロジェクト

特定妊婦等を出産から自立まで支援するとともに、実家のように頼れる居場所に出会えるきっかけをつくるなど、自立や夢の実現を応援

○ 拡充内容

産後の母子の自立に向けた収入基盤の確保・就労ニーズに広く対応するため、新生児必需品の購入費や就職支度資金への補助を拡充

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■産後ケア事業

132,040千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	132,040

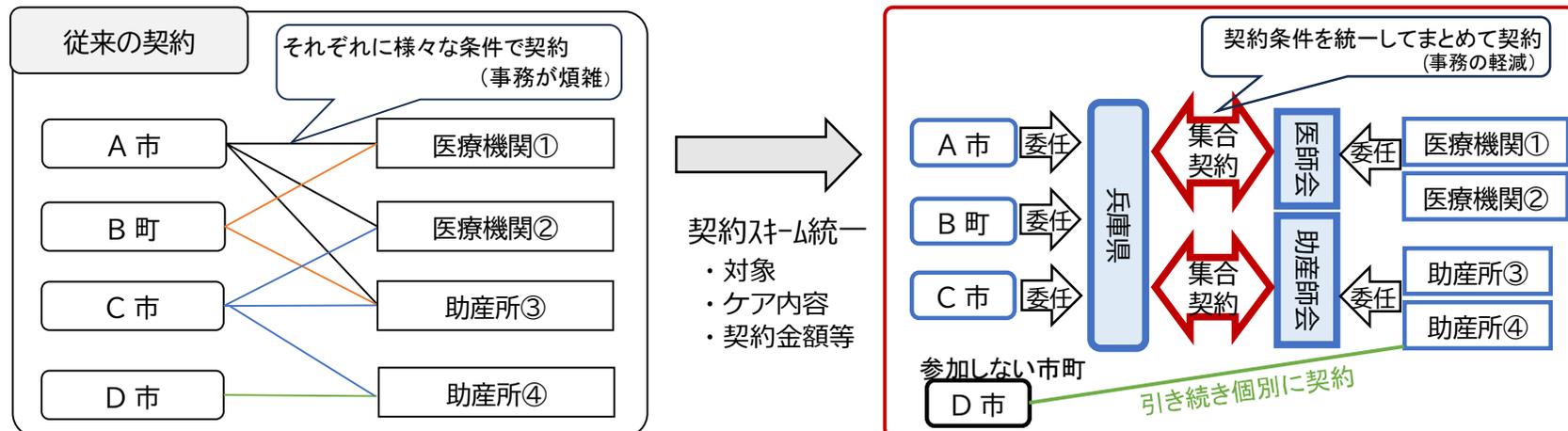
- 産後の母子に対して専門職による心身のケアや育児の指導及び相談等を行う**産後ケア事業（市町が実施）**について R7から新たに**1/4を県が負担**
- **集合契約を開始**し、市町サービスの充実に向けて検討

○産後ケア事業の内容

区分	内容
対象者	産後1年以内の母子で産後ケアを必要とする者
実施主体	市町
負担割合	国1/2、 県1/4 、市町1/4 ※R6以前は、国1/2、市町1/2

○集合契約の概要

- ・ **市町から委任を受けた県と、各実施機関から委任を受けた県医師会及び県助産師会が、集合契約**を締結（令和7年4月1日）
- ・ 参画市町に居住する利用者は、**市町域を跨いでいずれの参画実施機関でも利用可能**



II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 学びの場・遊びの場プロジェクト

155,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
72,500	0	82,500	0

➤ 若者・Z世代応援パッケージの「学びやすい兵庫」「子どもを産み育てやすい兵庫」実現に向けた取組を推進

		高校生・受験生自習室プロジェクト 予算：-	子どもの遊び場充実プロジェクト	
			県立都市公園等における遊具の充実 予算：155,000千円	スポーツ環境の充実 予算：-
これまでの取組	実証の実施	県内3か所で モデル自習室 を開設 【結果】 ・モデル自習室利用者の96.9%が「満足」 ・自宅外で勉強する高校生は多い ・施設全体の利用マナーが向上	子ども連れの親を対象に2公園で アンケート調査 を実施 【結果】 ・複合遊具やふわふわドームのニーズが高い ・日よけの設置やベンチのニーズも高い	県スポーツ体験イベント等に併せて アンケート調査 を実施 【結果】 ・イベント参加者の97.0%が満足 ・スポーツ教室や学校開放等のニーズが高い
		今後の取組 事業推進方針 公民連携等の枠組みを活用し自習室の設置を呼びかけ県内1,000席の設置を目指す。 ■庁舎活用型 県庁舎活用、市町へ協力を呼びかけ ■大学連携型 「大学コンソーシアムひょうご神戸」等を通じ大学へ協力を呼びかけ ■企業連携型 「ひょうご公民連携プラットフォーム」等と連携し企業へ協力を呼びかけ	アンケート調査の結果、 管理運営協議会での合意形成を踏まえ 、以下の整備を検討・実施する。 ■遊び場 子どもから人気のあった遊具（複合遊具やふわふわドーム等）を、更新が必要とされている公園に整備 ■日よけの設置・ベンチ 子どもを見守る親からのニーズがあった日よけの設置やベンチを遊具周りに設置	引き続きイベント等を開催し、スポーツ環境の充実を図るとともに、 市町等と連携し活動の横展開を図る。 ■スポーツイベントの実施 プロ選手等の指導者派遣やスポーツイベントを引き続き実施 ■指定管理施設との連携 連携イベントの実施や、気軽にスポーツできる付帯機能の設置を検討 ■市町との連携 既存施設を活用した事業展開を検討

自習室プロジェクトに関すること
 都市公園における遊具の充実に関すること
 スポーツイベントに関すること

担当課：企画部地域振興課多自然地域づくり班
 担当課：まちづくり部公園緑地課整備班
 担当課：県民生活部スポーツ振興課スポーツ環境班

連絡先：078-362-4031（内線3062）
 連絡先：078-362-3550（内線4486）
 連絡先：078-362-9439（内線5773）

【新】 ■ 保育所等における食の安全・安心 推進事業

13,248千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	13,248

- 増加する食物アレルギー児へ対応するため、**調理員等を加配する民間保育所・こども園に
対して支援を実施**

○対象施設

以下のいずれかに該当する児童を受け入れる
民間保育所・認定こども園

- ・食物アレルギーのためアナフィラシー補助治療剤（エピペン）を携行する児童
- ・食物アレルギーを3品目以上持つ児童

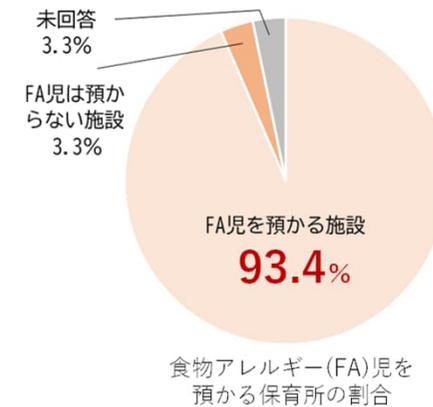
○対象経費

個別食の調理・配膳業務に従事するために加配した
職員の給与

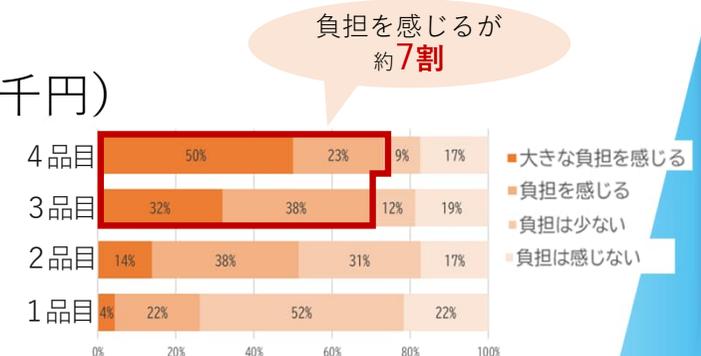
○補助金額 対象児童1人あたり288千円/年（上限2,304千円）

○実施主体 市町（政令市・中核市除く）

○負担割合 県1/4、市町1/4（義務随伴）、事業者1/2



【出典：H27保育所入所児童のアレルギー疾患調査】
（厚生労働省）



食物アレルギー品目数と個別食提供時の負担感の状況

[R6兵庫県調べ n=138]

【新】 ■ 高校生保育の仕事やりがい魅力体験事業

4,566千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,283	0	0	2,283

- ▶ 保育士の人材確保を促進するため、進路を決める重要な時期である**高校生を対象に、夏休みを活用して保育所等での仕事体験を実施**

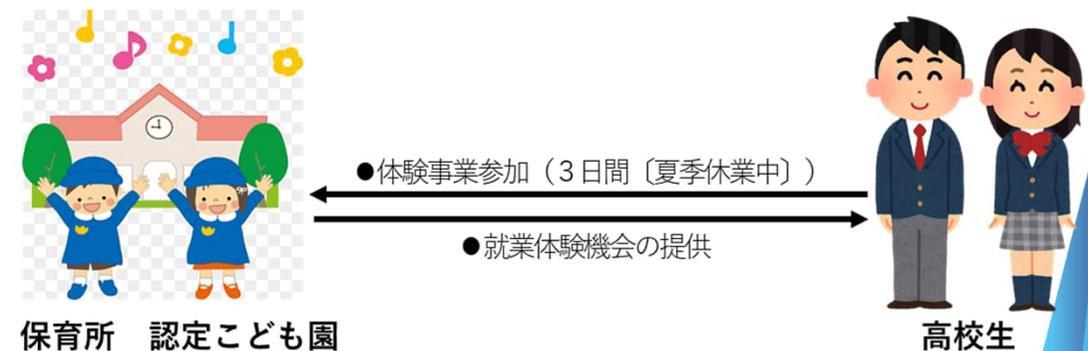
○ 実施内容

保育所での仕事体験（室内あそび、給食の配膳等）を通じて、保育士の仕事の魅力ややりがいを体感してもらうことにより、将来的な保育人材を確保

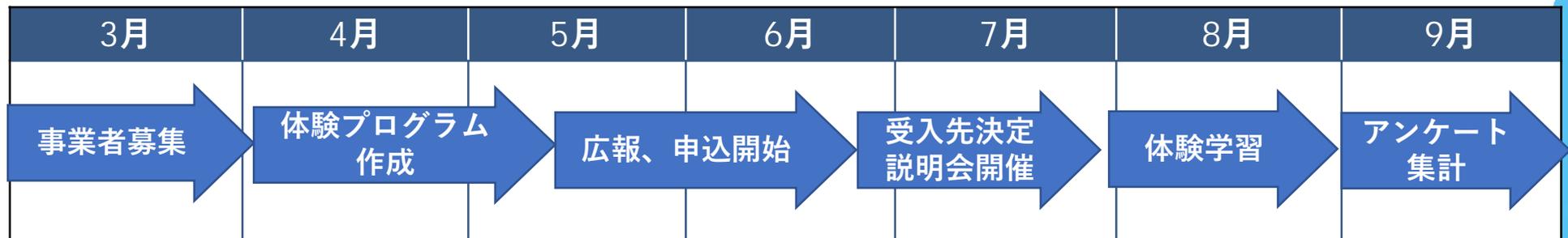
- ・ 体験期間：1人あたり3日間
- ・ 対象人数：400人

○ 実施手法

委託（公募プロポーザルで事業者選定）



○ 実施スケジュール



II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 保育所等における要支援児童等対策推進事業

44,528千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
29,686	0	0	14,842

- **要支援児童等とその保護者への対応や関係機関との連携強化**を図るため、基幹となる保育所等に保育士、社会福祉士等、専門性を有する「**地域連携推進員**」を配置し、関係機関と連携しながら他の保育所等への巡回支援や相談支援等を実施

○ 地域連携推進員の業務

- ・ 要支援児童等やその予備群に当たる児童を対象に、保護者への相談支援や保育所職員への助言
- ・ 要保護児童対策地域協議会での情報提供及び共有や、市町や児童相談所への定期報告
- ・ 他の保育所等への巡回支援などの実施 等

○ 地域連携推進員の要件

保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、看護師 等

○ 補助金額 1か所あたり上限4,567千円/年

○ 負担割合 国1/2、県1/4、市町1/4

(参考) 事業イメージ



3. 「住みやすい兵庫」の実現

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 県営住宅における子育て世帯への支援（県住特会）

284,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
127,000	30,000	127,000	0

➤ 子育てしやすい県営住宅を供給し、高齢化が進む県営住宅における**多様な世代構成によるコミュニティを活性化するため、ニーズの高い阪神間を中心に**、駅や学校等に近接した住宅において、**子育て世帯向けリノベーション等を実施**

1. 子育て世帯向けリノベーションの実施

結婚・子育てをする若者・Z世代の住宅確保を支援するため、県営住宅の改修を実施

① 県営住宅子育て支援グレードアップ改修事業

○実施内容 LDK拡張、和室の洋室化、ユニットバス化 等

② 県営住宅子育て世帯向けサブリース事業

○実施内容 空き住戸を民間事業者が改修・低廉に提供

2. 県営住宅子育て世帯交流創出事業

集会所等の共用部において交流を生み出すキッズスペース等を整備する費用を支援

○対象経費 床・壁マット、書棚、屋内遊具、トイレ洋式化 等

3. わんぱく広場の設置【新】

県営住宅の敷地を活用し、子育て住宅促進区域を設置している尼崎市において、地域に開かれた未就学児向けの「わんぱく広場」を建て替えと一体でモデル的に整備

○整備団地：尼崎西昆陽住宅

○整備内容：パーゴラ、ベンチ、ゴムチップ舗装、木柵 等



整備イメージ

子育て世帯向けリノベーション、交流創出事業に関すること
わんぱく広場に関すること

担当課：まちづくり部公営住宅管理課管理班
担当課：まちづくり部公営住宅整備課計画班

連絡先：078-362-8461（内線4874）
連絡先：078-230-8453（内線4752）

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 子育て住宅総合支援事業

148,850千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
66,982	0	0	81,868

- **阪神間において子育て住宅促進区域を指定**し、区域内に県・市町が施策を集中実施すること等により民間事業者等の投資意欲を刺激し、**子育て世帯の転入・定住を促進**

○ 実施内容

市町が子育て住宅促進区域で実施する施策の検討や効果検証を新たに支援

区分	新築・中古住宅取得補助	戸建住宅賃貸化改修補助	子育て支援施設開設補助	民間賃貸住宅住替補助	【拡】市町施策検討・検証補助
実施内容	住宅取得に要する費用 を支援	戸建住宅を賃貸化する場合に必要な 改修費等 を支援	商業施設等の空き区画に 子育て支援施設を開設する際に要する経費 (内装工事費、賃借料等)を支援	新婚・子育て世帯の 県外からの転入に要する経費 を支援	検討会開催経費、アンケート実施等に要する経費 を支援
対象地域	子育て住宅促進区域内			阪神間地域	—
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯(18歳未満の子どもがいる世帯) 新婚世帯(合計年齢が80歳以下の夫婦) 	<ul style="list-style-type: none"> 戸建住宅所有者 戸建住宅を借り上げ、子育て世帯等に転貸しようとする者 	子育て支援施設開業希望者	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯(18歳未満の子どもがいる世帯) 新婚世帯(合計年齢が80歳以下の夫婦) 	市町
補助内容	[補助上限額] 新築：2,000千円 中古：600千円 [補助率]定額 [負担割合]県1/2、市町1/2	[補助上限額]600千円 [補助率]1/2 [負担割合]県1/4、市町1/4、所有者等1/2	[補助上限額] 1年目:3,000千円 2年目以降:1,000千円 [補助率]2/3 [負担割合]県1/3、市町1/3、事業者1/3	[補助上限額]250千円 [補助率]定額 [負担割合]県1/2、市町(県住宅供給公社)1/2	[補助上限額]250千円 [補助率]1/2 [負担割合]県1/2、市町1/2
予算額	84,000千円	3,600千円	11,000千円	50,000千円	250千円

4. 「働きやすい兵庫」の実現

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ひょうご外国人雇用企業認定制度

13,221千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
6,610	6,611	0	0

- ▶ 外国人の受け入れが進む中、多文化共生を推進する先進県として、**外国人が安心して就職・定着**できるよう、外国人を雇用する**県内企業の取り組みをチェックリスト方式で見える化する外国人雇用に関する企業認定制度を創設**（R7年度より本格運用を開始）

○外国人雇用企業認定制度

対象企業：県内に本社のある中小企業

有効期間：3年間

認定数：100社を想定（R7年度）

チェックリスト項目：法令遵守、募集・採用、労働環境、生活環境、キャリア支援・福利厚生、エンゲージメントの向上（18項目中15項目以上達成で認定）

認定メリット：県HP掲載、ロゴマーク使用、県信用保証協会保証率割引、合同企業説明会への優先出展

○広報セミナーの開催

外国人材の雇用や定着に取り組む企業に認定取得を促すセミナーを実施

【拡】 ■外国人留学生等に対する県内企業 魅力発信事業

28,631千円

（新しい地方経済・
生活環境創生交付金）

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
14,315	14,316	0	0

- **県内外の外国人留学生等と県内企業とのマッチング機会を創出し**、外国人留学生等の県内就職に向けた支援を展開

【新】○外国人採用ジョブフェアの開催

- ・ **対象者** ベトナムの理工系学生等
- ・ **開催場所** ベトナム国内
- ・ **参加企業** ジョブフェア・プレイベント参加企業等県内企業15社程度

【新】○首都圏開催合同企業説明会における「ひょうごストリート」の設置

- ・ **対象者** 主に首都圏大学在籍の外国人留学生等
- ・ **開催場所** 東京都内
- ・ **参加企業** ひょうご応援企業等を中心とした県内企業10社

○合同企業説明会の開催

- ・ **対象者** 外国人留学生等
- ・ **開催場所** 神戸市内
- ・ **参加企業** ひょうご応援企業等を中心とした県内企業80社程度

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 多文化共生社会検討実務者会議

1,000千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,000	0	0

- 県、市町、有識者等で構成する**外国人施策に関する実務者会議を設置**し、福祉・住宅・教育・人権など多岐にわたる外国人住民の生活面での課題について検討

○実施内容

1. 実務者会議の設置

構 成 員：県、市町（分野：福祉、住宅、教育、人権等）
10市町程度、有識者等7名程度
実施回数：3回程度

2. ヒアリング調査

対 象：外国人雇用企業や自治会、住宅供給企業、外国人支援団体等10カ所程度
調査内容：外国人住民の生活面での課題や現状

II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ 県内大学と地元中小企業による小中学生向け授業

3,741千円
 新しい地方経済・
 生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,870	1,871	0	0

- 早期アプローチとして、高校進学・文理選択の前に、理系に興味を持つきっかけを作るとともに、地元企業を身近に感じてもらえるよう、**小中学生向けに県内大学と中小企業が共同で出前授業（科学塾）を実施**

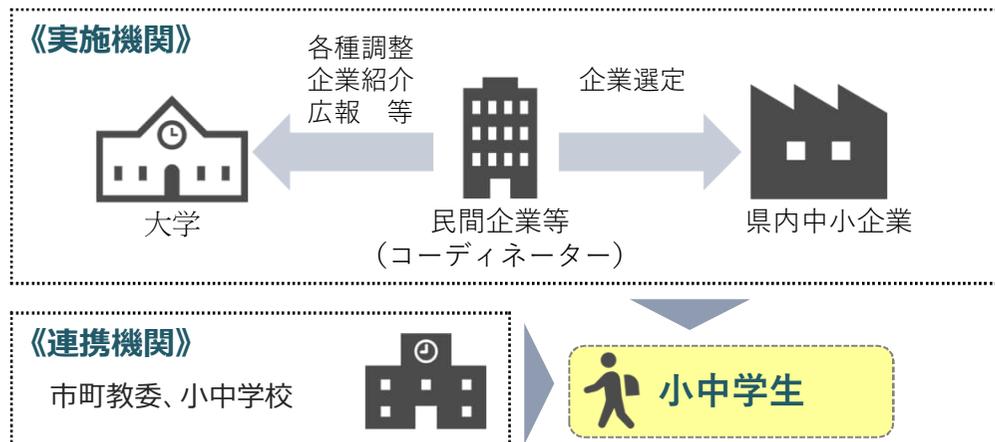
○実施内容

県立大学と地元中小企業による小中学校等での授業・イベント等の実施

○開催回数

10回程度

○事業実施イメージ



実施例：県内企業による空中ディスプレイ体験授業

II 若者が輝く兵庫

■ 理工系人材獲得促進事業

7,957千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	7,957	0	0

▶ 県内外の理工系大学及び学生と県内中小製造業とのマッチング機会を創出し、理工系人材の獲得に向けた支援を展開

○ 大学との就職情報交換会

- ・ 実施内容 オンラインで大学と企業を繋ぎ、互いが求める情報を交換
- ・ 対象 就職支援協定締結大学をはじめとした理工系学部を有する大学

○ 理工系学生との合同交流会

- ・ 実施内容 理工系学生が企業を知り、先輩社員等と交流する場を提供
- ・ 対象 大学等の理工系学生（主に大学1、2年生など就職活動前の学生）

○ 製造・研究現場見学会

- ・ 実施内容 地域を代表する企業の製造・研究・開発現場や産業見本市等を視察
- ・ 対象 大学等の理工系学生（主に大学1、2年生など就職活動前の学生）

II 若者が輝く兵庫

■ 高校生の県内就職促進事業

8,543千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	8,543	0	0

- 就職を希望する高校生に加え、**教員向けの取組を実施**することで、地元企業と学校が連携した**高校生のキャリア形成支援と若手人材の確保・定着を推進**

○ 実施内容

1. 高校進路指導担当教員向けキャリアセミナー

- ・地域の主要な企業や地場産業の紹介
- ・法令や高校生の就活事情の説明
- ・奨学金返済支援制度や大学の就活事情の説明 等

2. 高校生向けキャリア支援セミナー

- ・ビジネスマナー、社会常識等の説明
- ・地元企業紹介や先輩社員との意見交換会
- ・就活ルール、就職後のリスクヘッジ 等

○ 事業主体 (一財) 兵庫県雇用開発協会

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ 大学生等インターンシップ推進事業 39,220千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,901	30,319	0	0

- 県内中小企業・地場産業での各種インターンシップ事業の実施により、**大学生等の県内就職・定着とキャリア形成を支援**（中小企業のインターンシップ参加者減少への対応として、参加者の状況に応じた取組等を新たに実施）

区分	主な対象	内容	所要額
○ 中小企業インターンシップの推進			37,017
学生と企業のマッチング促進	大学生等（※）	県内中小企業において体験実習を行うインターンシップやマッチング会を実施	19,159
【新】 テーマ型インターンシップ	〃	テーマごとに分けた企業複数社を2～5日程度で巡るテーマ型インターンシップを実施（(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸へ委託）	4,583
【新】 探求型プレインターンシップ	大学低学年	企業や業界に対する理解の向上や自身のキャリアを見直す力等を身につける探究型プレインターンシップを実施(民間事業者へ委託)	11,773
低学年向け企業見学会	〃	現場・製品の見学や社員との意見交換を行い、当該企業で働くイメージを醸成する企業見学会を実施	1,502
○ 中小企業の効果的な人材確保方策の検討			2,203
セミナー・情報交換会等の実施	関係機関	関係機関で連絡協議会を構成し人材確保の方策を検討するとともに、インターンシップ受入企業向けのセミナー・ガイダンスや情報交換会を実施	757
【新】 インターンシッププログラム作成支援	企業	学生のニーズが分からないなど課題を抱える企業に対し、個別相談等を実施し、学生に響くインターンシップの内容を企業とともに作成(兵庫県経営者協会へ委託)	1,446
合計			39,220

※大学生等：大学、大学院、短大、専門学校、高等専門学校の学生

担当課：産業労働部労政福祉課雇用就労班 連絡先：078-362-3357（内線3717）

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■ シン・建設業魅力アップ事業

3,156千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,156

- **建設業への入職者を増加**させ、建設業の持続的な発展につなげるため、**建設業で活躍する若年者・女性の様子を配信**

○実施内容

建設業で活躍する若手・女性の動画をTVerで広告配信を実施

○動画の内容

兵庫県建設業協会制作動画を活用し、県で配信用に編集

- ・ 建設業で働く姿(現場監督、施工管理、デスクワーク等の様子)
- ・ 建設業の働きやすさ (ICTの活用、休暇の過ごし方 等)
- ・ 建設業でしか得られないやりがい
(自分が作ったものが後世に残る魅力 等)

○その他取組

動画だけではなく、建設業体験展示や、インフラツアー等既存の取組についても継続的に実施

(参考) 動画イメージ



II 若者が輝く兵庫

【新】 ■ ドライブレコーダー導入支援事業

3,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,000

- 運転士不足によるタクシーの輸送力低下が顕著となる中、**女性や若年層など多様な担い手を確保**するため、**運行管理の高度化により、運転士の安全な労務環境を整備**する

○実施内容

補助対象事業者

県内に営業所を有するタクシー事業者

補助対象経費

ドライブレコーダー導入経費

補助上限

車載器：40千円/1機器、事務所用機器：65千円/1機器 ※600千円/1事業所

負担割合

国1/3、県1/6、事業者1/2

補助件数 5件

II 若者が輝く兵庫

【拡】 ■教職員の働き方改革の推進

560,851千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
147,555	166,286	0	247,010

➤ 公立学校の教員の業務負担軽減を図ることを目的に、各種事業を実施

1. スクール・サポート・スタッフ配置事業：165,060千円

市町立小中学校教員の業務負担軽減を図ることを目的に、市町立小中学校に配置するスクール・サポート・スタッフの経費を支援

- 配置校 希望する小中学校全校
- 業務内容 授業準備、外部対応、会議準備 等
- 負担割合 県2/9 国1/9 市町2/3

2. 県立学校業務支援員配置事業：144,769千円

授業準備等を担う、県立学校業務支援員を配置し、教員等の超勤縮減を実施

- 配置人数 154名（県大附属、定時制・通信制高校、分校・分教室を除く県立学校に各1名配置）

3. 中学校部活動改革推進プロジェクト【拡】：266,786千円

休日の部活動の地域移行に向けた環境の整備を推進するため、県における体制強化と市町における体制支援を実施

- 県の取組：部活動地域移行推進委員会等の開催、県立中等教育学校における実証事業の実施、コーディネーターの配置、部活動地域移行シンポジウムの開催 等
- 市町の取組：実証事業の展開（体制整備、関係団体・分野との連携強化等を実証）

担当課：1, 2に関すること
3のうち文化部に関すること
3のうち運動部に関すること

教育委員会教職員企画課業務改善班
教育委員会義務教育課初等・中学校教育班
教育委員会体育保健課学校体育班

連絡先：078-362-3752（内線79033）
連絡先：078-362-3771（内線79052）
連絡先：078-362-3787（内線79071）

II 若者が輝く兵庫

■ひょうごミモザ企業認定の推進

6,999千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	6,999

- ▶ 県内企業のさらなる女性活躍推進に向け、ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度を普及促進。ミモザ企業の価値向上と女子学生の県内就職・定着を図るため、**ミモザ企業と女子学生の交流機会を創出**

○実施内容

1. ミモザ・フレッシュミモザ企業の認定

女性のキャリア形成や定着などに積極的に取り組む企業を認定

R6年度申請企業：155社

- ・ミモザ企業：69社
- ・フレッシュミモザ企業：86社

※ R5年度までの認定企業：139社

2. 女子学生とミモザ企業の交流機会の創出

認定区分	認定基準
 ひょうご・こうべ 女性活躍推進認定 プラチナミモザ企業	【プラチナミモザ企業】 全20項目/全20項目 + 先導的な取組を実施
 ひょうご・こうべ 女性活躍推進認定 ミモザ企業	【ミモザ企業】 14項目(7割)以上/全20項目
 ひょうご・こうべ 女性活躍推進認定 フレッシュミモザ企業	【フレッシュミモザ企業】 8項目(4割)以上/全20項目

大学出前講座	ミモザ企業見学・交流会	ミモザセッション
女性先輩社員が働き方等を講演	学生がミモザ企業を訪問、交流会を実施	就職を見据える大学生とミモザ企業が交流
		

1. 2025大阪・関西万博の開催(R7.4.13)

■ひょうごフィールドパビリオンプロモーション事業

76,361千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	76,361	0	0

- ひょうごフィールドパビリオンを国内外に積極的にPRし、認知度の向上と万博を契機とした誘客を促進

○実施内容

区分	内容	R7予算額
海外向け プロモーション	旅博等への出展	4,552千円
国内向け プロモーション	航空機就航先PR、機内誌等掲載、関西の空港内展示、WEBリスティング広告、国内旅行博出展	42,717千円
WEBサイト・広報素材 等による情報発信	SNS等プロモーション、プロモーション動画作成、案内冊子作成、販促グッズ作成 等	29,092千円

■ひょうごフィールドパビリオンSDGs 体験型地域プログラム磨き上げ事業

7,894千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	7,894	0	0

- これまでのフィールドパビリオン磨き上げの取組検証やフィールドパビリオンプレイヤー同士のネットワーク強化、完成されたプログラムの商品化等、**万博終了後の展開へつながる取組を実施**

○実施内容

1. 各種研修：3,290千円

区分	ワークショップ (2,900千円)	サポート人材育成等研修 (390千円)
対象者	プログラム提供者	地域おこし協力隊員、観光関係者、通訳等
回数等(想定)	3会場・各3回	6回
テーマ等	これまでのフィールドパビリオンでの取組検証、プレイヤー同士のネットワーク強化等	連携調整、ガイド・通訳等、プログラムをサポートするための手法を習得

2. 商品化支援：4,604千円

フィールドパビリオンプログラム商品化に向け、旅行会社とのマッチングのための商談会を実施

区分	商談会及びエクスカージョン
内容	プログラム提供者と旅行会社をマッチングする商談会及びエクスカージョンを実施し、磨き上げを経て完成したプログラムの 商品化支援を強化
対象者	プログラム提供者等
回数等	2回 (R6：1回)

■ 関西パビリオン「兵庫県ゾーン」・ひょうご EXPO TERMINALの展示運営 392,930千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	392,930	0	0

- **ひょうごの多彩な魅力を発信する** 関西パビリオン「兵庫県ゾーン」やひょうご EXPO TERMINAL（兵庫県立美術館ギャラリー）を運営

○展示概要

区分	展示概要
関西パビリオン 「兵庫県ゾーン」	シアター形式の映像展示で、ひょうごフィールドパビリオン等の多彩な魅力を発信 
ひょうご EXPO TERMINAL	子ども達が主体となって共創・発信するデジタルアート展示等の来場者参加型展示 

【新】 ■ 関西パビリオン「多目的エリア」での催事事業

37,807千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	37,807	0	0

➤ 関西パビリオンに隣接する「多目的エリア」で、5月と9月にそれぞれ1週間の催事を実施

○実施内容

1. ひょうごフィールドパビリオンウィーク：18,760千円

次週に控える「フィールドパビリオンフェス」に向けた前夜祭的なイベントとして、**兵庫の魅力を国内外へ発信するブースを出展**（実施期間：5/20（火）～25（日））

区分	5/20、21	5/22～24	5/25
		交通関連の展示	兵庫の酒フェス
内容	ひょうごEXPO week期間中のテーマ「未来のコミュニティとモビリティ」に沿って、交通事業者によるトークセッション、パネル展示	<ul style="list-style-type: none"> 県酒造組合連合会による日本酒の試飲、販売イベント 酒にまつわる今と昔の違いを表現したステージイベント 	<ul style="list-style-type: none"> FPプレイヤーによる魅力発信ワークショップ お仕事体験発表会 キッズEXPOスピーチ等

2. ひょうごフレンドシップウィーク：19,047千円

鳥取・京都との山陰海岸ジオパーク連携、岡山・徳島・香川との瀬戸内連携など、**他府県と連携し、地域の魅力を国内外へ発信**（実施期間：9/24（水）～29（月））

区分	9/24～26	9/27～29
		山陰海岸ジオパーク連携、新潟・兵庫連携
内容	<ul style="list-style-type: none"> <ジオパーク連携> 鳥取砂丘、玄武洞ブース <新潟・兵庫連携> コウノトリ、トキ関連ブース等 	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光ブース、芸術文化ブース、サイクルツーリズムブース、渦潮ブース等

【拡】 ■ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025 50,082千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	50,082	0	0

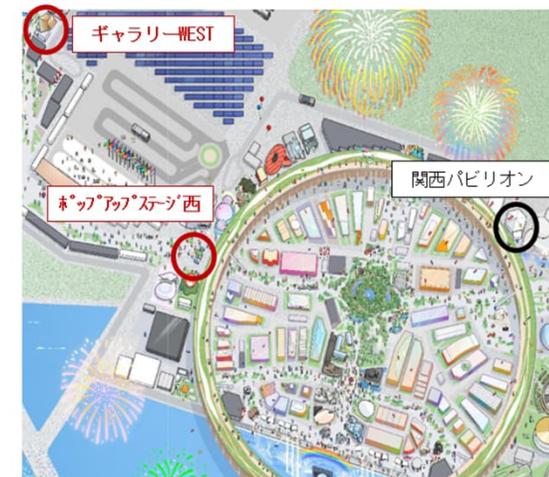
- 万博会場を舞台に、フィールドパビリオンプレイヤーが一堂に会し、**自らの地域の魅力やSDGsの取組を発信する展示やワークショップ、ステージイベント等を実施**

○実施内容

区分	内容
時期	R7年5月26日(月)～30日(金)
場所	万博会場「ギャラリーWEST」、「ポップアップステージ西」
出展者	フィールドパビリオンプレイヤー 約200団体 ※R7.1時点：260団体認定
展示内容	フィールドパビリオンプレイヤーによるブース出展、ステージイベント、食や酒の振る舞い等

○展示内容

区分	内容(今後調整)
屋内 (約180団体)	実際に取組を体験できるワークショップ、展示・販売等
屋外 (約20団体)	試飲試食のほか、デカンショ踊り、陶芸体験や播州織ファッションショー等のステージイベント



■ひょうご楽市楽座の開催

272,579千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	272,579	0	0

- 万博期間中に設置される「**尼崎万博P & R駐車場**」利用者(最大約1万人/日)を主なターゲットに、ナイトマーケットをイメージした「**ひょうご楽市楽座**」を開催し、**地域の魅力発信を通じて県内各地への訪問を促し、交流人口を拡大**

○実施内容

区分	内容
期 間	R7.4.13(日)～10.12(日)の土日(計53日)
時 間	午後4時～午後9時
場 所	尼崎フェニックス事業用地 (尼崎万博P & R 駐車場隣接地)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のグルメや県産品マルシェ ・地域のプレイヤーによるステージイベント(音楽、踊り等) ・フィールドパビリオンのPR等

<位置図>



<会場イメージ>



■空飛ぶクルマデモフライトイベント 8,078千円 (地域創生基金)

- ▶ 空飛ぶクルマが尼崎フェニックス事業用地と万博会場の2地点間飛行を実施する機会をとらえ、**空飛ぶクルマデモフライトイベントを開催**

○実施内容

土日：デモフライトに合わせて賑わいイベントを実施

区分	内容
期 間	万博期間中1か月うち土日8日間（実施時期調整中）
場 所	ひょうご楽市楽座会場（尼崎万博P&R駐車場隣接地）
パートナー	丸紅株式会社 ※機体：VerticalAerospace(VX4)
コンテンツ	①座談会、②フライト見学、③記念撮影 ④紙飛行機工作・フライト体験、⑤VR体験

平日：フライト見学スペースや往来用自家用車の駐車スペースを開放

<実施内容（イメージ）>

②フライト見学



④紙飛行機工作



<機体：VX4>



出典：VerticalAerospace社 Press Release 8th January 2025

<尼崎フェニックスパーティポート>



【新】 ■環境創造型農業サミットの開催

5,800千円
〔地域創生基金〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	5,800	0	0

- 2025年大阪・関西万博のひょうごEXPO week期間中にシンクロイベントとして、但馬地域で**環境創造型農業サミットを開催**

○実施内容

目的：平成4年から提唱・推進する**環境創造型農業を広く発信**するとともに、「**コウノトリ育む農法**」を取り上げ、県内外で環境に配慮した農業に先進的に取り組む自治体・団体等と連携し、**生物多様性等の環境に配慮した農業の拡大**を図る

日時：令和7年6月7日(土)

場所：豊岡市

内容：豊岡市・佐渡市の小学生による環境学習発表、国内有識者の講演、コウノトリ育む農法取組水田の視察、動画活用による取組発信 等

参加者：500人程度(国内外からの万博来訪者、SDGsや農業・農村に関心のある消費者等)



現地視察イメージ

■万博施策の一体的プロモーション

61,002千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	61,002	0	0

- ▶ 万博開催期間中、様々な媒体を活用し、関西パビリオン「兵庫県ゾーン」やひょうご EXPO TERMINAL等、**各種万博関連事業にかかる認知度向上・誘客促進のための広報・プロモーションを展開**

○実施内容

区分	内容	R7予算
①関西パビリオン「兵庫県ゾーン」及びEXPO TERMINAL等や各種事業のプロモーション	・新聞紙面広告、交通広告、販促グッズ制作等を実施	51,600千円
②ひょうごEXPO week	・10のテーマを設定し、趣旨に沿った県内各地のイベント(県、市町、大学、民間団体等)を県が認定し、幅広くPR ・ラジオ番組内での発信、ノベルティグッズ制作 等	4,602千円
③ひょうごEXPO41 フォーティワン	・ 市町の日を設定 し、当該市町で万博関連イベントを実施 ・ひょうごEXPO41全体のプロモーションとして、インフルエンサーを活用した広報展開(インフルエンサーが 県内10か所 の取材・動画作成・発信)	4,800千円

III 活力がわきあがる兵庫

■ 「ひょうごキッズEXPO」事業 (ひょうご EXPO DREAM BUILDERS) 47,276千円 (ふるさとひょうご寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	47,276	0	0

- 子どもたちの**主体性を引き出し、夢を実現するイベント**（ひょうごこども万博）を県内各地（五国）で実施

※R6～7年度の2カ年事業で実施、公民連携事業として民間事業者のノウハウ・資金活用のうえ実施

○実施内容

区分	内容
内容	子どもたちの夢の実現、夢を見つけるきっかけづくりをテーマに県内5拠点（神戸、姫路、但馬、丹波、淡路）でイベントを実施
コンテンツ	夢のスピーチコンテスト、職業体験、起業家体験、子ども縁日等
対象者	県内の小学生
(参考) R6の取組	リアル授業（計5回） オンライン授業（R7.1月以降、毎週実施） 【テーマ】夢のを見つけ方、コミュニケーションなど



■ ひょうごの魅力を届ける仕事体験事業
(ひょうご EXPO DREAM BUILDERS) 4,148千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	4,148	0	0

- **子どもたちがフィールドパビリオンの現場で仕事体験を実施**し、その成果を万博会場で発表

※R6～7年度の2カ年事業で実施

○実施内容

区分	内容
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ R6に子どもたちが兵庫ならではの仕事を体験し、学びや気づきをまとめたパネル等を制作 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><仕事体験メニュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 但馬牛に携わる仕事（新温泉町・但馬牧場公園） ・ 醸造家の仕事（たつの市・発酵LabCoo） ・ 能楽師の仕事（姫路市・江崎福王会）等 計6箇所 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ R7は、R6作成のパネル等を用いて、万博会場で発表会を実施
参加者	小中学生24名（R6に選定）
成果発表	5月：ひょうごフィールドパビリオンウィーク 8月：公民連携～こども未来フェス（仮称）～ （受託者が万博会場で実施する催事）

■万博会場への子どもの無料招待

43,539千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	43,539	0	0

- 県内企業と協働し、特別な学びの場となる**大阪・関西万博に県内の子どもたちを無料招待**するため、学校行事として、万博会場への訪問を希望する県内の学校へチケットを配布

※チケット配布の費用、予備チケット代を予算計上

○実施内容

区分	内容
対象者	県内小中高のうち訪問を希望する学校・児童生徒 約280校・約7万人 (第1次調査での訪問希望)
実施方法	学校が実施する校外学習等を対象に無料招待を実施
企業寄附	希望人数をカバーできる枚数相当を受領済

【拡】 ■ 2025年大阪・関西万博ひょうご 推進体制の構築

5,665千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	5,665	0	0

- 推進協議会、企画委員会を開催するほか、**万博による経済波及効果を分析**し、各事業に係る投資に対する費用対効果を検証

○実施内容

区分 (回数は想定)	内容
企画委員会 (6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドパビリオンの万博後のあり方検討 ・万博に向けて設定した成果指標 (KPI) の分析・検証 (*) * 万博関連の需要額から生じる「経済波及効果」の分析等を実施
推進協議会 (1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫の万博に関する取組の効果検証結果を公表 ・関係者への共有を通じ、万博後の取組につなげる

【新】 ■丹波焼の郷プロモーション事業

4,862千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
2,431	2,431	0	0

- 万博を契機とした国内外から本県への来訪者増にあわせ、「丹波焼の郷」（陶芸美術館、陶の郷（すえのさと）など）が**地域一体となってPRを実施**することにより誘客を促進

○実施内容

1. 情報発信の強化

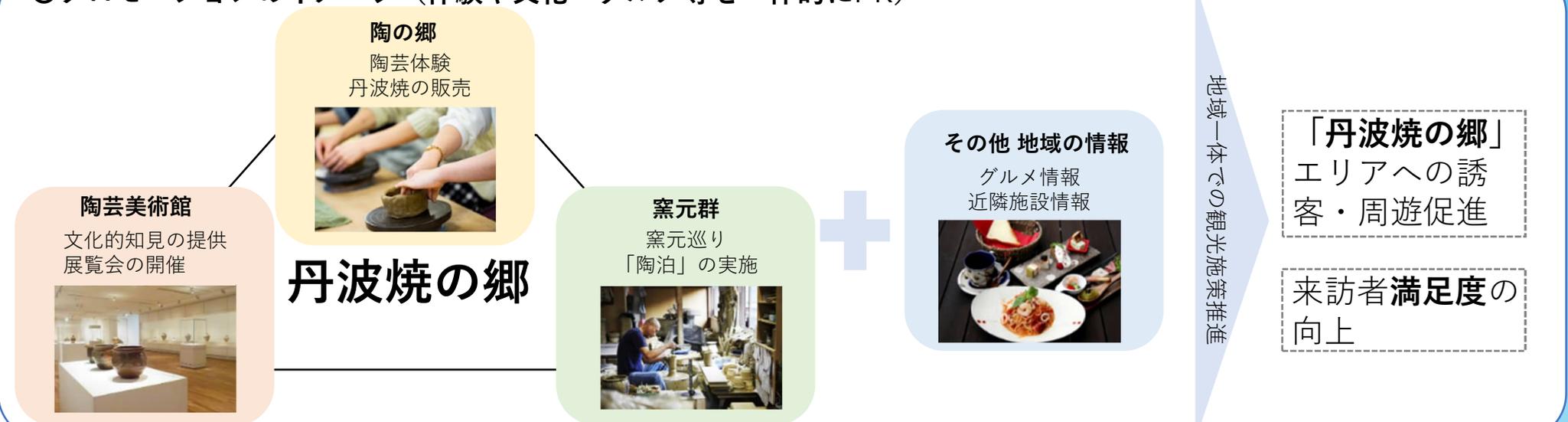
施設ごとに発信している情報をまとめた「**丹波焼の郷ホームページ**」を**新設**し、地域全体の魅力的な情報を一体的に発信

2. 丹波焼の郷オーディオガイドの制作

陶芸美術館、陶の郷、周辺の窯元の歴史・取組の背景が伝わるコンテンツを作成

○負担割合 県：丹波篠山市 = 1 : 1

○プロモーションのイメージ（体験や文化・グルメ等を一体的にPR）



III 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ひょうご里山・里海国際フォーラム
の開催3,805千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	3,805	0	0

- 2025年大阪・関西万博期間中の「ひょうごE X P Oウィーク」シンクロイベントとして、**里山・里海の重要性や保全と再生に向けた取組を国内外に発信**し、持続可能な地域を目指す



○実施内容

日 時：令和7年9月27日(土)～28日(日)

場 所：兵庫津ミュージアム「ひょうごはじまり館」

定 員：200人程度

内 容：・基調講演
 ・里山・里海国際フォーラム
 講演、パネルディスカッション（国内外の取組発信）
 ・Z世代による提言
 ワークショップ等を開催し、フォーラムでZ世代から提言
 ・高校生によるポスターセッション 等



Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

【拡】 ■HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト

7,129千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	7,129	0	0

- 大阪・関西万博を契機として、**県立社会教育施設等の活性化及び魅力を発信**するため、大学生等を活用したプロジェクトを実施

○事業推進会議

万博開催に向けた機運醸成や誘客施策について、魅力発信・集客力向上につながる取組を検討・実施

○デジタルスタンプラリーの実施

万博会場と県立社会教育施設を巡りながら、スタンプを集めていく周遊プロジェクトを実施

【拡】○大学生等によるミュージアムサポートプロジェクト

選定されたHMサポーターズが中心となり、若者の斬新な目線で施設の情報発信や活性化を図る取組を企画・提案

【新】万博及びイベント出展PR

魅力発信のためのPR動画を作成し、万博会場で放映
来場者に対するPRグッズの配布

【新】県立美術館におけるイベントPR

万博推進課が県立美術館ギャラリー棟において実施する「ひょうごEXPO TERMINAL」に合わせて、**県立美術館において各施設がブースを出展し、魅力発信イベントを実施**

III 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ 古代鏡五国巡回展示事業

1,648千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,648	0	0

- 大阪・関西万博のフィールドパビリオン体験プログラムに認定されている県立考古博物館の古代体験を充実するため、加西分館（古代鏡展示館）の**古代中国鏡を活用した展示や出張講座等を県内5箇所で巡回して開催**し、所蔵品の魅力を効果的に周知

○ 実施内容

県民の古代中国鏡への興味・関心を高め、考古博物館と古代鏡展示館の来館者増を図る

区分	実施内容
巡回展示	県内5箇所を会場に、優品約10点を展示する巡回展示を開催
学芸員による巡回講座	学芸員が巡回展示会場で古代鏡に関する講座、展示解説を開催
ワークショップ	古代中国鏡に関連するワークショップ「金属で鏡をつくろう」を開催
PRポスター・チラシ作成	PRポスター・チラシを作成し、巡回展示開催地域の施設に配布

施設名	所在地	R7年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
南あわじ市玉青館	南あわじ市	■											
県立考古博物館	播磨町					■							
兵庫陶芸美術館	丹波篠山市		■										
古代あさご館	朝来市				■								
県立兵庫津ミュージアム	神戸市						■						

Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

**【新】 ■ 県立コウノトリの郷公園「放鳥20周年」
「大阪・関西万博」郷公園魅力創出事業**

12,000千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	12,000	0	0

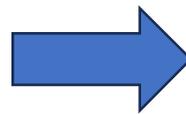
- ひょうごフィールドパビリオン体験プログラムに認定されているコウノトリの郷公園の普及啓発事業「環境学習」について、来園意欲を醸成するような体験型展示ができるよう環境整備を行うことで、インバウンドを含めた新たな来園者獲得を図る

○実施内容

コウノトリを近くから観察でき、給餌体験やコウノトリを育む自然環境を身近に体験できるように、**観察広場内に給餌用ケージや遊歩道を整備**



現状写真



完成後のイメージ

2. スポーツ・芸術文化の振興

【新】 ■HYOGOスポーツコミッション (仮称) 設立準備

1,500千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,500

- 官民連携のもとスポーツを通じた地域活性化を促進する「**スポーツコミッション**」の設立を目指し、**あり方検討**を進める

○実施内容

- ・ **関係団体や有識者、先進自治体などからヒアリング**を行うとともに、**設立準備会議を開催し**、組織体制や活動方針を検討
- ・ **R8年度のスポーツコミッション設立**を目指す

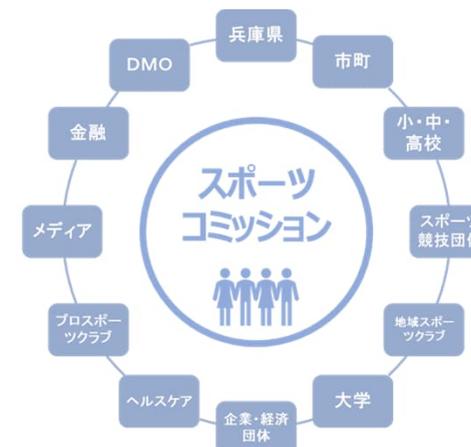


<スポーツを通じた地域活性化を促進>

<参考> スポーツコミッションの定義

組織要件	一体組織要件	<u>地方公共団体、スポーツ団体、民間企業などが一体として活動を行っていること</u>
	常設組織要件	常設の組織であり、時限の組織でないこと
活動要件	対域外活動要件	スポーツツーリズムの推進やスポーツ合宿・キャンプの誘致など域外交流人口の拡大に向けた <u>スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり・地域活性化のための活動を主要な活動の一つとしていること</u> (アウター施策の実施が必須)
	広範通年活動要件	単発の特定の大会・イベントの開催及びその付帯事業に特化せず、スポーツによる地域活性化に向けた幅広い活動を年間を通じておこなっていること

<参考> スポーツコミッションの構成イメージ



Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

■ プロスポーツクラブ等と連携した 地域活性化プロジェクト

60,000千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	60,000	0	0

- 県内プロスポーツクラブ等との連携強化施策として、ふるさとひょうご寄附金によるスポーツイベントなどを実施

○実施内容(例)

・子どものプロスポーツ試合観戦招待

プロスポーツクラブが開催するホームゲームに子どもを無料で招待

・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催

プロスポーツクラブの選手やスタッフを学校や地域に派遣し、子ども向け教室等を実施

・スポーツ関連イベントの開催

プロスポーツクラブが開催するホームゲームで、ジュニアチーム等の前座試合の開催等



バスケットボール教室（神戸ストークス）



高校生無料招待プロジェクト（ヴィッセル神戸）

Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ 芸術文化センター開館20周年記念 公演事業

165,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	165,000	0	0

- 阪神・淡路大震災からの心の復興・文化の復興のシンボルとして2005年に開館した県立芸術文化センターにおいて、開館以来大きな人気を集めている佐渡裕芸術監督プロデュースオペラなど、**開館20周年を彩る特別な記念公演を実施**（R6.12.29～R7.12.31）

○ 主な公演内容

1. 佐渡裕芸術監督とPACが贈るオペラ & オーケストラ

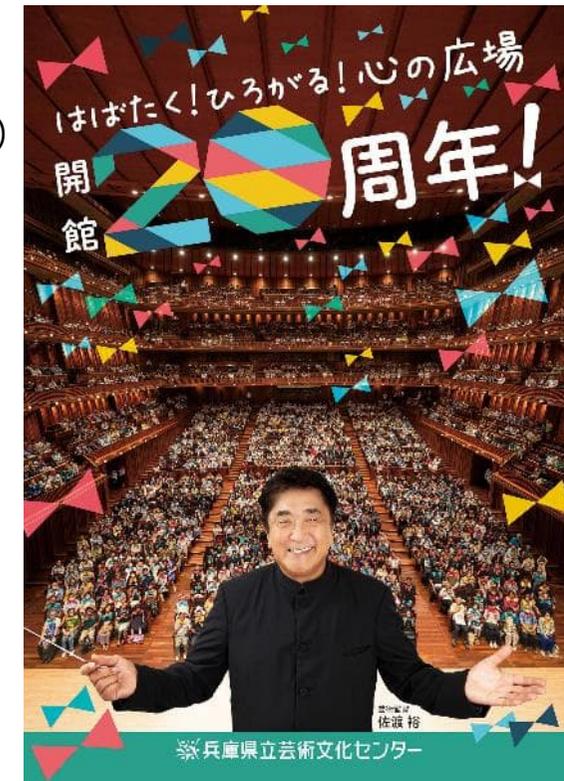
- 阪神・淡路大震災30年によせ祈りを込めた「千人の交響曲」(1/17~19)
 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「さまよえるオランダ人」(7/19~27)
 第二次世界大戦から80年に平和を願う「戦争レクイエム」(8/8~10)

2. 世界のオーケストラ、古楽、ジャズなどの公演

- ウィーンの名門 トーンキュンストラー管弦楽団コンサート(5/10)
 20周年の締めくくり ジルヴェスター・ガラ・コンサート(12/31)

3. 伝統芸能から最先端の演劇作品の公演

- 演劇「ベイジルタウンの女神」(5/22~25)
 桂文珍兵庫大独演会(11/8~9)



など 計24事業

開館20周年パンフレット

■ひょうごプレミアム芸術デー

9,591千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	9,591	0	0

➤ 県民が芸術文化に親しむ機会を提供するため、市町・民間事業者等とも連携し、**無料開放や特別イベント、子育て世帯に配慮した取組等を実施**

○実施内容

- ・実施期間（予定） **令和7年7月9日（水）～15日（火）**
 ※7月12日（兵庫県発足の日）を中心とした一週間
- ・県立施設等において"誰もが芸術文化に親しむ"ための取組を実施



オープニングイベント



ナイトミュージアム(人と自然の博物館)



一時保育(陶芸美術館)

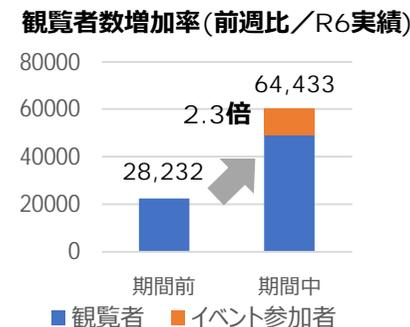
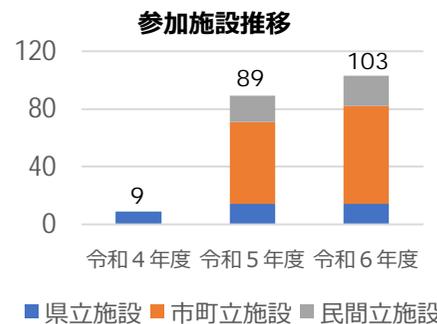


プレミアム芸術デーポスター(令和6年度)

【参考】令和6年度実績

参加施設 **103施設**
 観覧者数 **64,433人**

アンケート結果より
 初めて来館する方が多く、芸術に親しむ機会を提供出来ている



これまでの来館回数



Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ 魅力と活力ある県立美術館のあり方
検討

1,000千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,000

- 県の地域振興や観光振興の部門と連携しながら美術館の新たな展開を図り、一層の効率的な運営を目指すため、**今後の県立美術館のあり方について検討**

○ 実施内容

・ 検討委員会の設置

観光や地域振興との一体的な芸術文化活動を展開するため、美術館のあり方を検討するとともに、効率的な施設運営を検討するため、専門部会を設置

・ 先進事例の視察

集客性や観光振興など、先行事例となる他府県の美術館の視察を実施

3.次世代産業の創出

III 活力がわきあがる兵庫

122

【新】 ■スタートアップ創出促進事業

25,352千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
12,676	0	0	12,676

- 起業意欲がある若者に対し、**試行的な起業によるビジネスプランのブラッシュアップ機会を提供**するとともに、**スタートアップ起業時の資金補助制度**により、スタートアップが生まれ、成長しやすい環境を整備

○実施内容

1. トライアル起業チャレンジプログラム 14,002千円

項目	内容
講習会	<ul style="list-style-type: none"> プラン試験実施に必要な内容の講習会等を実施 対象者 スタートアップ起業を目指す若者を中心とした個人・グループ 実施回数 4回
プラン実証・メンタリング	<ul style="list-style-type: none"> 1者ごとにメンターが対応し、各段階でフォロー 参加者は補助を活用し、実証に必要なツールを整備 補助上限 200千円（アプリ・システム開発等）、補助率 1/2 ビジネスプランの作りこみ、実際の市場での実証、効果検証を実施
最終報告会	<ul style="list-style-type: none"> 成果共有 支援機関との交流

2. スタートアップチャレンジ支援補助金 11,350千円

項目	内容
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> 社会課題の解決を目指し革新的なビジネス手法で経済成長を牽引する起業家
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> 起業・研究開発費 上限 2,000千円 補助率 1/2 ※空き家活用上乗せ補助 上限 1,000千円

【新】 ■ものづくりスタートアップ支援事業

20,319千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
10,159	0	0	10,160

- 既存のものづくり事業者と連携し、持続的な発展に向けた相乗効果が期待できる**ものづくり分野でのスタートアップ等の創出を支援**

○実施内容

区分	内容
機運醸成セミナー	ものづくり分野の起業、新規事業開拓に関心のあるスタートアップ等を対象にセミナーを開催 ・開催時期 6月 ・参加者数 50人程度
アクセラレーションプログラム	基礎知識習得に向けた講座等のプログラムを実施 ・参加者数 5者程度 ・実施回数 8回
メンター個別支援	プログラム受講者に対して専門家等の助言・相談などの個別支援を実施 ・助言者 企業経営者、専門家、VC等
プロトタイプ開発、実証等への補助	プロトタイプ開発への補助を実施 ・補助上限 2,000千円（補助率1/2） ・補助件数 5件
その他	成果発表会

【新】 ■ 「ひょうごのスタートアップ」 成長支援事業

18,043千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
9,021	0	0	9,022

- スタートアップの自立的成長を促すため、**県が認定することによりスタートアップに信用力を付与し、集中的な支援を実施**するとともに、商工会議所等と連携し、スタートアップと既存産業との相乗効果により県の経済成長を加速化

○実施内容

1. スタートアップの認定 270千円

区分	内容
選定数	・ 5社程度
対象	・ 兵庫県内に本社を有する社会課題解決型スタートアップ(創業後アーリーステージまで)
選定方法	・ 自薦、他薦によりスタートアップを募集 ・ 地域のエコシステム関係機関やスタートアップ支援機関が審査
審査基準	・ 独創性/優位性、市場性/成長性、地域経済への波及効果、ピッチイベント出場等のスタートアップ活動実績等

2. 成長支援プログラムの提供（1年間集中支援） 17,773千円

区分	内容
伴走支援・成長プラン作成	・ 定期的なヒアリング、課題抽出等の伴走支援を実施 ・ 各企業の成長段階、強み等を分析し、成長・販路拡大プランの作成を支援 ・ 必要に応じてメンターによる個別相談を実施（8回程度）
展示会出展等支援	・ 県内外企業との協業や資金調達等の機会創出のため、首都圏の展示会出展やピッチイベント登壇の機会を提供
その他	・ 成長産業育成のための研究開発支援事業等の補助金制度における審査時の加点等、産業労働部施策での支援

■ひょうごTECHイノベーションプロジェクト

24,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	24,000

- ▶ 県内の自治体が抱える社会課題について、**県内外の起業家や事業者が有する技術等を活用し、その解決を図るひょうごTECHイノベーションプロジェクトを推進**

○**事業内容** 市町の課題に対し、自社の技術で課題解決に取り組む事業者を支援

区分	通常枠	複合枠
企業数	1 課題に対し 1 事業者	1 課題に対し複数事業者
実施方法	運営委託及び事業者への実証補助	運営委託及び事業者への実証補助
支援額	2,000千円/課題	3,000千円/課題（連携事業者が3社の場合）
運営委託	1,500千円/課題	1,500千円/課題
実証支援	500千円× 1 事業者	500千円× 事業者数
件数	9件	2件
予算額	18,000千円	6,000千円

【新】 ■ 商店街空き店舗トライやる （チャレンジショップ応援事業）

10,000千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
5,000	0	0	5,000

- 近年顕在化する**空き店舗問題への対策**として、若手経営者による新規出店等の挑戦を後押しするため、**商店街等の実施するチャレンジショップ※運営等を支援**

※チャレンジショップ：将来的な新規開業を見据え、一定期間、試験的な開業を行うことのできる施設

○実施主体

商店街・小売市場、商工会・商工会議所、まちづくり会社

○対象経費

- ・ **チャレンジショップ等の整備・運営に要する経費【新】**
- ・ コミュニティ施設の整備・運営に要する経費

[対象経費の例]

施設整備費（内装工事費等）、店舗賃借料、活動費（広告宣伝費等）

○補助率 1/2

○補助上限 2,500千円

○補助件数 4件

○商店街内のチャレンジショップの例



電博堂：姫路御幸通商店街（姫路市）

4. 産業競争力の強化

【新】 ■ 次世代を見据えた航空機産業振興支援事業

25,292千円
 新しい地方経済・
 生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
12,646	0	0	12,646

- 次世代航空機時代の市場変化に対応し、ものづくり産業の中心を担ってきた**県内航空・宇宙産業が持続的に発展していくため、技術指導や販路拡大を支援**

区分	内 容
情報提供	<p>サプライヤーが新たに求められるニーズに特化したセミナーを実施：1,202千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催頻度 5回程度 ・想定テーマ 水素航空機・電動航空機など次世代航空機軽量化に資する新素材の開発 航空・宇宙部品製造現場でのカーボンニュートラルの取組み 等 
技術指導	<p>航空・宇宙関連企業の新たな環境変化に対応できるための技術・品質管理指導を実施：15,285千円</p> <p>【基礎編】対象 県内航空・宇宙企業 支援数 25社/年程度 内 容 現場診断+現場改善3回</p> <p>【発展編】対象 県内航空・宇宙企業 支援数 10社/年程度 内 容 大企業OB等によるOJT 等</p> 
販路拡大	<p>航空機メーカーの動向把握や県内企業の製品の販路拡大のため、B to Bに特化した展示会出展を支援：8,189千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展先 AIRTEC 2025 (独) 等 ・時 期 令和7年10月頃 ・支援数 8社程度 

○実施主体 (公財) 新産業創造研究機構

【新】 ■ものづくり中小企業におけるDX実践モデル事業 8,612千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
4,306	0	0	4,306

➤ 県内中小企業がDXアドバイザーの指導・サポートのもと実践するDXの取組手法を、**モデル事例として広く普及**することで、中小企業のDXを促進

○実施内容

- ①モデル企業創出（アドバイザーによるゼミ実施・全6回程度）
- ②手法の横展開（オブザーバー企業のゼミ参加、活動冊子作製・配布）

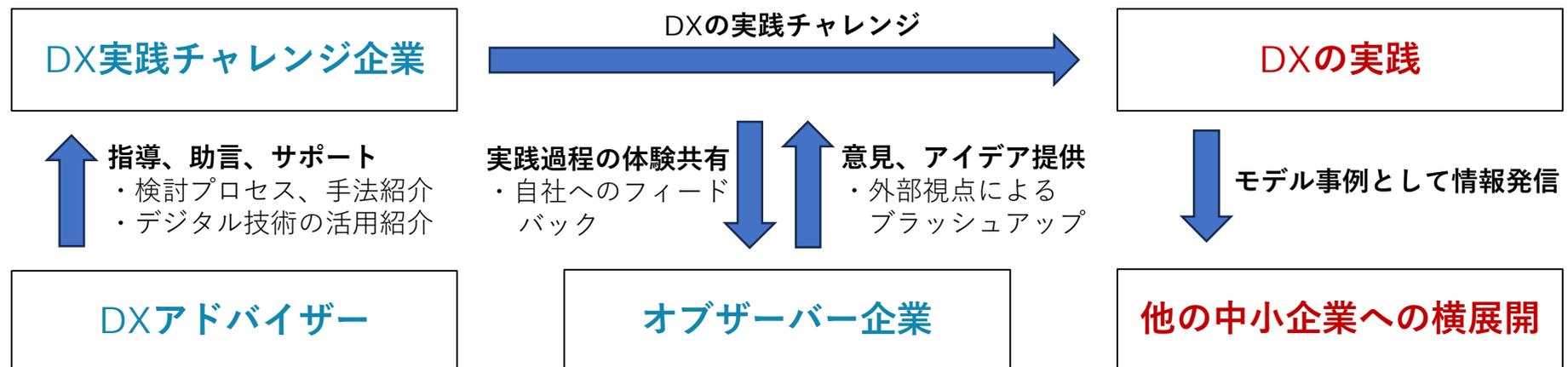
○参加企業

DX実践チャレンジ企業 2社、オブザーバー企業 20社程度

○事業主体

兵庫工業会

<事業スキーム>



■ 空飛ぶクルマ実装促進事業

75,369千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	75,369	0	0

➤ 大阪・関西万博後の社会実装を目指す **事業者の実証実験等を支援**

○ 実施内容

区分	内容
補助上限	①実機実証・ビジネス化準備 上限 30,000千円 ②ビジネスモデルの検証 上限 5,000千円 ③離着陸場整備準備 上限 10,000千円
補助対象者	空飛ぶクルマの社会実装に取り組む事業者
補助対象事業	・ 県域のみの事業 ・ 県域+府域の事業
補助率	対象経費の1/2以内(府との連携の場合は1/4)



【新】 ■ 大阪・関西万博、神戸空港国際化を契機としたインバウンド誘客強化事業 11,300千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	11,300	0	0

- 大阪・関西万博の開催や神戸空港の国際チャーター便就航を契機に**インバウンド客の増加が見込まれる**ことから、兵庫の魅力ある「温泉」「グルメ」「文化体験」等を掛け合わせた**ツアーの造成やプロモーションを強化**し、県内での周遊観光を促進

区分	実施内容
県内周遊ツアーの造成・ファムトリップ	県内周遊ツアーを造成し、旅行業者を招聘したファムトリップを実施
インフルエンサーを活用したSNSプロモーション	旅行系インフルエンサーによるモデルコースの情報発信等や韓国人ゴルファーによる県内ゴルフ場の魅力発信等
現地プロモーションの実施	韓国・台湾等ターゲット国での現地セミナーの開催や旅行会社向け現地セールスを実施

【拡】 ■NEXTじばさん推進プロジェクト 事業

78,022千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
39,011	0	0	39,011

▶ 地域の経済・雇用の中核を担ってきた地場産業の持続的な発展を図るため、産地のブランド力向上の取組に加え、**産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開**を支援

○産地のブランド力向上の取組 37,000千円

- ・事業内容 産地組合等の新商品開発、国内外販路開拓、人材育成などの取組に対して支援
- ・補助上限 4,000千円
- ・補助率 定額（1/2相当）

○戦略的な中期ビジョンの策定 41,022千円

①動機付けセミナー開催

- ・事業内容 産地共通の中期ビジョン策定の必要性や、産地の抱える課題や改善例等について情報提供する「動機付けセミナー」を開催
- ・開催場所 神戸等

②中期ビジョン策定と重点取組の決定

- ・事業内容 経営戦略策定の専門家等の総合コーディネートによる産地の現状分析・中期ビジョンの策定・重点取組の決定
- ・実施産地 6産地程度

③中期ビジョンに基づく支援（中期ビジョン策定インセンティブ）

- ・事業内容 産地が策定した中期ビジョンに基づき実施する重点取組を支援
- ・補助上限 4,000千円
- ・補助率 定額（1/2相当）
- ・補助件数 4産地程度

【拡】 ■ じばさん『ひょうご国』世界発信 プロジェクト事業

39,000千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	39,000	0	0

- ▶ 万博会場での地場産業ブース出展とひょうごEXPOweek「ひょうごの成長産業と地場産業」期間中の**県内商業施設等での展示販売会等のイベント開催**を通じて、**県内地場産地の取組を支援**

○実施内容

1. 万博会場における地場産業ブース出展：34,600千円

世界各国からの来訪者が見込まれる万博会場において、県内地場産業をPRする地場産業ブース出展により、各産地の特色のある製品の展示、ワークショップ等による伝統技術の披露により、兵庫県が世界に誇る地場産業と製品の魅力を世界へ発信

- ・開催場所 万博会場ギャラリーWEST
- ・開催期間 令和7年4月26日(土)～4月30日(水)

2. ひょうごEXPOweek「ひょうごの成長産業と地場産業」集客イベント開催：4,400千円

県内の大型商業施設等にて、地場製品の魅力PRを目的とした集客イベントを開催

- ・開催場所 県内商業施設等
- ・開催期間 令和7年8月30日(土)～9月8日(月)

【拡】 ■ひょうご産業SDGs推進宣言事業 11,733千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
5,866	0	0	5,867

- 企業経営にSDGsを導入し、企業価値や競争力の向上を図るため、**SDGs推進宣言事業、SDGs認証事業を一体的に推進**し、企業のステップアップを支援

○実施内容

【拡】1. 宣言企業向けインセンティブの拡充：2,182千円

G X（グリーントランスフォーメーション）の分野で、宣言企業の次の一步を後押しするため、**工場等における省エネ最適化診断等に要する経費を支援**

【SDGs宣言企業インセンティブ】

- ①登録証の交付、活性化センターHPで紹介
- ②専用ロゴマークの使用
- ③専門家派遣(1/2企業負担)
- ④信用保証協会の保証料率20%軽減
- ⑤奨学金支援制度の補助期間拡充
- ⑥ **【新】GX診断補助金**

【GX診断補助金】

区分	省エネ最適化診断		省エネお助け隊	
概要	建物全体のエネルギーのムダを確認		省エネ診断に加え、設備投資など一貫支援	
診断費用	300KL未満	9,700円	50KL以下	6,640円
	300～1,500KL	15,400円	50～300KL	13,280円
			300～1,500KL	18,260円
補助率	1/2		1/2	
件数	160件		160件	

2. 県内中小企業に対するSDGsの普及啓発：1,241千円

普及セミナー等によりSDGsの内容や先進事例を情報発信し、県内中小企業のSDGsの認知度を向上

3. ひょうご産業SDGs推進宣言事業の運用：8,310千円

県内中小企業がSDGsに取り組むことを宣言し、ひょうご産業SDGs推進宣言企業として登録、公表

5.地域活力の創出

【新】 ■地域創生コラボレーションプロジェクト

18,885千円
 新しい地方経済・
 生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
9,442	0	0	9,443

- 県内で芽生えた地域創生に資する取組を五国に拡げるため、各主体が地域を超えて**交流するプラットフォームを構築**するとともに**先導的・先駆的取組を公民連携で推進**

○実施内容

(1)地域創生フェスの開催：12,695千円

地域創生に関わるプレイヤー間の交流・マッチングの機会の創出や先導的事例等の共有を促進

区分	内容
開催時期	8月
参加者	県民、事業者、大学、団体、市町等
内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域創生にかかる先行事例発表 テーマ別ブースにおける意見交換、取組内容発表 取組アイデアや、民間事業者等支援パートナーとのマッチング 等



地域創生フェスのイメージ（発表と意見交換）

(2)地域創生にかかる取組アイデアの実現に向けた支援：6,190千円

公民連携による事業展開や新たな取組アイデアの掘り起こしにより地域創生の取組を促進

区分	内容
公民連携補助事業	<p>補助対象：審査を経て採択されたアイデアで支援パートナーとのマッチングが成立した者（10者）</p> <p>対象経費：事業の立ち上げに要する経費</p> <p>補助上限、補助率：500千円（1/2補助）</p> <p>※1年限り</p>
地域創生アイデアソン	<p>地域創生に資する新たなアイデア創出のための交流の場として「アイデアソン※」を開催</p> <p>※アイデア×マラソンの造語、グループごとにアイデアを出し合いブラッシュアップを重ねる</p>

【新】 ■ 第三期地域創生戦略の推進

2,564千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,282	0	0	1,282

- 新たに策定する第三期地域創生戦略(R7～R11)の効果的な推進を図るため、地域で活動する実務者等による**地域創生アクション委員会**を設置

区分	内容
①委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 戦略を実効的に推進する「戦略推進プロジェクト」に委員も参画し、担当者や関係者との意見交換や現場視察を通じて戦略のブラッシュアップを図る 会議開催：3回程度 現場視察：6回程度
②県民参加型イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> 自分が暮らす地域での課題や対策について「自分事」として考える県民参加型イベントを実施 委員や地域活動団体、地域おこし協力隊等によるトークディスカッションなど 実施回数：3回
③戦略の広報 ・PR	<ul style="list-style-type: none"> 視察時やイベント開催時の様子や委員へのインタビュー記事等をポータルサイトやSNS等で発信

【新】 ■地域のネクストリーダー 発掘プロジェクト

4,947千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
2,430	0	0	2,517

- ▶ 地域づくりのトップランナーである「すごいすと」の協力のもと、**新たな地域人材の発掘・育成を図る**とともに、**体験内容を発信**することで広く若者の地域活動への関心を高める

○実施内容

若者が「すごいすと」のもとで**地域活動を体験するインターンシップを実施**

区分	内容
対象者	地域活動への興味を持つ大学生等の若者
募集人数	20名
活動期間	3カ月間
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「すごいすと」が所属するNPO・団体に、ボランティアではなく組織の一員として活動に参加し、一からプロジェクトの企画・運営に携わることで、地域課題解決に取り組む現場を体感 ・WEBサイトやSNS等を活用し、活動の様子を発信 ・活動終了後、総括フォーラムにて成果発表

○"すごいすと"とは

- ・独自の取組で地域を元気にして
いるすごい人や団体を「すごい
すと」としてWEBサイトで発信
- ・H25創設以降、現在までに
166人、32団体を紹介



Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■持続可能な多自然地域づくりプロジェクト強化事業

8,876千円
 新しい地方経済・
 生活環境創生交付金

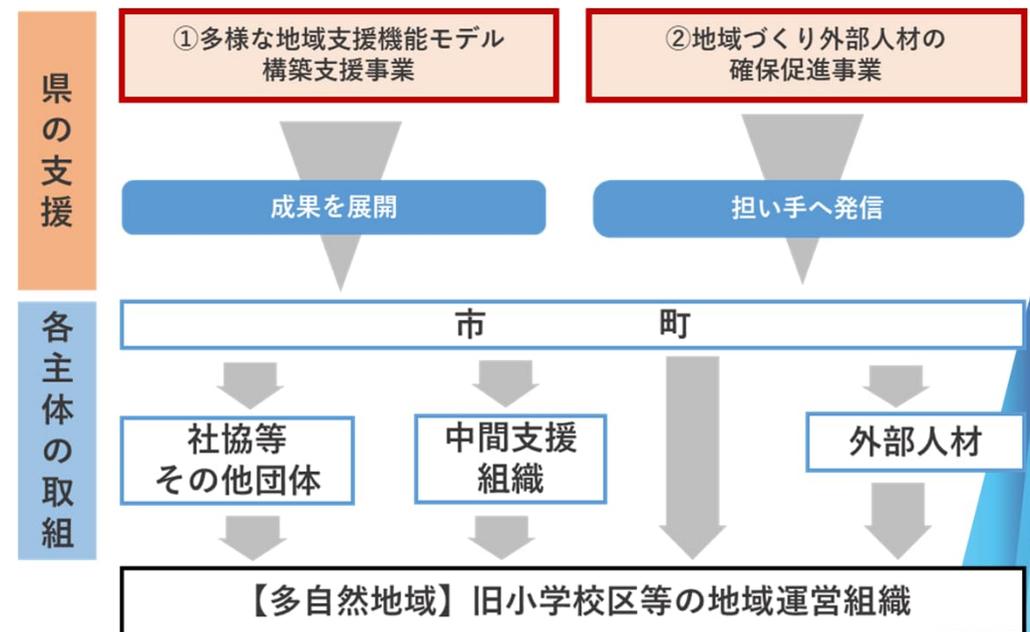
財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
4,438	0	0	4,438

- ▶ 市町の地域づくり施策を広域的・専門的に側面支援する「持続可能な多自然地域づくりプロジェクト」をさらに推進するため、「**地域支援検討会(仮称)**」を設置し**地域支援の人材不足対策等を実施**

○実施内容

区分	①多様な地域支援機能モデル構築支援事業	②地域づくり外部人材の確保促進事業
事業内容	地域の実情や特性に即した多様な 地域支援手法について検討・実証し、その成果を市町へ展開	地域づくり外部人材を確保するための PRコンテンツの作成、SNS等を活用した広報を実施
予算額	3,958千円	4,918千円

<事業体系イメージ>



【新】 ■ 明石港東外港地区における暫定の賑わいづくり

56,743千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	15,887	0	40,856

- 明石市役所建替え後の本格的な再開発着手までの期間、**明石港東外港地区において再開発に向けた機運を醸成するため、明石市と連携して賑わいを創出**

○ 実施内容

1. 基盤整備

- ・ 広場などのハード整備を実施
 - ①芝生化
 - ②トイレ等の整備

2. イベントの開催等による賑わいの創出（社会実験）

- ・ 定期的に様々なイベント等を開催
- ・ 人流や動態の調査・分析を実施
 - ①事業期間：令和7年～令和10年
 - ②事業手法：公募により事業者を選定
（※明石市が予算の半額を負担）

< 想定される成果 >

- ・ 再開発に向けた機運の醸成
- ・ 当該地の魅力が認識され、認知度が向上
- ・ 再開発に期待する県民ニーズの確認



明石港東外港 位置図



賑わい創出イメージ

III 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ 尼崎のびのび公園の利活用

80,000千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	15,000	48,700	16,300

- ▶ 大阪・関西万博後のフェニックス事業用地の賑わいを創出するため、「**尼崎のびのび公園**」の**リニューアル**を実施

○ 実施内容

公園のリニューアル

- ・ 民間事業者による賑わい創出に必要な施設整備等を実施

① トイレの設置

② 施設の整備等（園路舗装、ベンチ、遊具等）

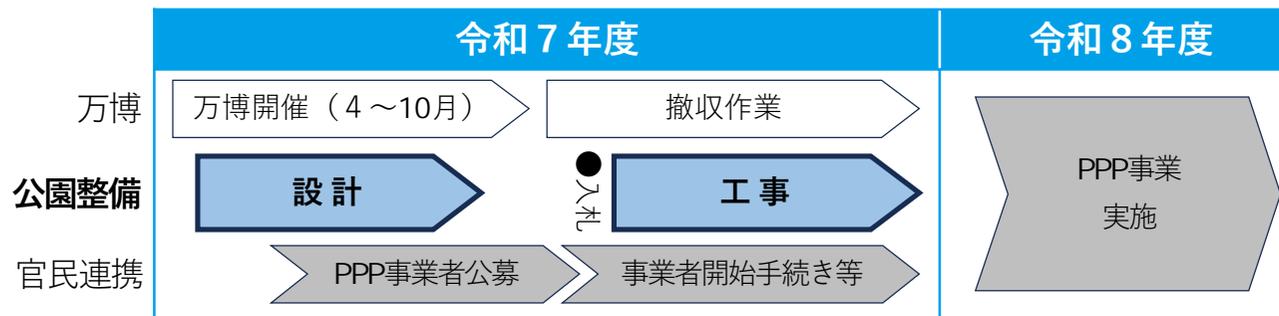


尼崎のびのび公園 位置図

(参考) 民間活力を活用した賑わい創出事業の実施

- ・ 官民連携により尼崎市の臨海部において賑わい空間を創出

収益の一部を還元して民間事業者が維持管理等を行い、維持管理水準を向上



賑わい創出イメージ

◆ 現状

- ・ 維持管理水準が低く、適切な維持管理が必要
- ・ 公園が十分活用されていない

みなと緑地PPP（港湾法に基づく制度 R4年度から）

港湾緑地等において、民間事業者が設置する収益施設から得られる収益を用いて、緑地のサービスレベルの向上を図る制度

【新】 ■ 関西国際空港と神戸空港を活用した地域振興

19,250千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	19,250

- 関西国際空港及び神戸空港の飛行経路見直しによる**発着容量拡張を淡路地域の地域活性化につなげる**ため、淡路島3市と協調して地域振興事業を実施

○実施内容

関空及び神戸空港の容量拡張から増加が見込まれる観光客を淡路島に誘客する具体的な施策について協議推進する**地域振興協議会を設置**し、事業検討、進捗管理を実施
(R6年度は準備会で検討)

構成メンバー：兵庫県、神戸市、淡路島3市、淡路島観光協会、淡路市長会、関西エアポート、ひょうご観光本部

○R7年度実施事業

1. 淡路島におけるMaaSの推進

- ・ デジタルマップを活用し、運行状況を提供
- ・ 島内高速バス等の路線情報及び運行情報を標準的なバス情報フォーマット形式で公表し、経路検索サービス掲載を促進

負担割合 県1/2、関係市1/2

2. 関空・神戸空港における淡路島プロモーション

- ・ 関西国際空港・神戸空港で空港利用者に対し淡路島の魅力を伝えるプロモーション実施等

負担割合 県1/3、事業者1/3、関係市1/3

Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

■ 中小企業向け融資制度

503,568,074千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	503,568,074	0	0

- 県内中小企業の経営の安定と発展を図るため、金融機関及び兵庫県信用保証協会と連携し、**県内の中小企業者が必要とする資金を低利で供給**

○ 令和7年度の主な内容

- 融資枠：3,600億円**（令和6年度：4,000億円→令和7年度：3,600億円（△400億円））
 長引く物価高騰・人手不足・人件費高騰や、倒産件数の高止まりなど不透明な要素があることから、中小企業の資金需要に柔軟に対応するため、令和元年度（コロナ禍前）並の融資枠を確保
 ※令和6年度当初で伴走型経営支援特別貸付の需要増を踏まえ+400億円積み増していた融資枠を元に戻し、全体としてコロナ禍前と同額の3,600億円とする
- 金利の改定**
 市場金利の上昇を踏まえ、貸出金利を0.25%※引き上げ
 ※災害対応貸付等一部資金を除く
- プロパー融資に関する国の新たな保証制度への対応**
 金融機関による積極的な事業者支援を促すため、国が総合経済対策において発表した「民間金融機関のプロパー融資※を引き出す新たな保証制度」に対応する融資メニューを創設
 ※信用保証協会による保証がなく、民間金融機関が実施する融資

6. 持続可能な農林水産業の実現

【新】 ■ ひょうご農村RMO推進支援事業

28,928千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
26,724	0	0	2,204

- 高齢化・人口減少の進展により、**農村地域の農業生産活動及び集落維持機能が低下**していることから、これらを下支えする組織である「**農村RMO(※)**」の創出及び活動を支援

※農村RMO...農地保全など、農村地域づくりの取組を持続的に実践する地域住民主体の組織

※R7年度より中山間地域以外を対象とした県単独事業の支援を追加

区分	地域づくり人材の育成		スモールスタート促進支援		農村RMO形成推進支援			農村RMO取組紹介・広報活動
	国事業	県単事業	国事業	県単事業	地域づくり伴走支援		モデル形成支援	
					国事業	県単事業		
概要	将来ビジョンの策定・実現を伴走支援する人材の育成講座を開催	将来ビジョンの策定・実現を牽引する地域リーダーの育成講座を開催	農村RMO形成への契機となる取組(地域資源の掘り起こし・試行的取組)を支援		農村RMO設立を見据え、地域の将来ビジョン策定や課題解決方法への助言等を実施		ビジョン策定及びビジョンに基づく農村RMOの取組経費を補助	シンポジウム等による横展開・掘り起こし
対象者、対象地域	市町・JA等職員	県内の農村地域在住者	中山間地域	中山間地域以外	中山間地域	中山間地域以外	中山間地域	—
回数、件数等	10回	5回×2カ所	5地区	3地区	—	—	2地区(継続:1地区、新規1地区)	—
補助経費(支援内容)	—	—	専門家謝金、遊休農地活用経費等		専門家・技術者派遣、電話相談対応等		実態調査、試験栽培経費等	—
補助率	—	—	定額(上限500千円)		—	—	定額(継続10百万円、新規5百万円)	—
実施主体	(公社)ひょうご農林機構(委託)	(公社)ひょうご農林機構(一部委託)	地域協議会等(補助)		(公社)ひょうご農林機構(委託)		地域協議会等(補助)	県

【新】 ■地域のアグリサポート推進事業

4,880千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
2,440	0	0	2,440

▶ 多くの地域で担い手が不足していることから、**各地域の農業人材確保に向けた取組等を支援**

○実施内容

1 アグリサポートプラン作成支援 2,700千円

地域への**就農希望者が必要とする情報**（地域内農業の概要、生活環境、受入体制など）をまとめた**アグリサポートプランの作成を支援**

補助対象 アグリサポートチーム(集落営農法人・組織、農会・自治会等で構成)

対象経費 プラン作成に要する経費(ファシリテーター謝金、会場費、動画作成費等)

補助率 定額(上限270千円)

2 アグリサポートプラン情報発信 990千円

SNSを活用し、若者や移住希望者などターゲットを絞った効果的なPRを実施

3 アグリコーチ育成塾の開設 660千円

地域に就農した者をサポートする**親方農家を育成**するため、ひょうご農業MBA塾修了者等を対象に育成講座を開設

4 就農相談・マッチング体制の強化 530千円

地域での**就農相談等の対応体制を強化**するため、市町職員やJA職員等を対象に**スキルアップ研修**を開催

○実施主体：（公社）ひょうご農林機構（補助）

■有機農業アカデミー(仮称)開設事業 (R6.2月補正計上予定)

285,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
97,000	0	188,000	0

- 有機農業を志向する就農希望者が、有機農業に必要な知識・技術を実践的なカリキュラムに沿って体系的に習得できる教育機関がないことから、県立農業大学校に、「**経営として成り立つ有機農業**」を体系的に学ぶコースを新設し、人材育成を強化

○整備概要

設置場所 県立農林水産技術総合センター（加西市）内

定員 10名（教育期間1年）

整備項目 実習用ほ場整備、ビニールハウス、教育棟等の施設整備、機械器具等整備 等

○スケジュール（令和8年4月開講予定）

項目	R6	R7	R8
整備工事		ほ場造成、土づくり 施設整備 ビニールハウス整備	
開講準備	カリキュラム 検討・講師選定	募集	開講 授業(第1期)

【拡】 ■ 有機農産物理解醸成支援事業

2,992千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	2,992

- 安定的需要が見込まれる**学校給食において、県産有機農産物の活用を促す**ため、**環境負荷の少ない農業の価値啓発**を通じ、県産有機農産物導入の機運醸成に向けた取組を支援

○実施内容

- ①栄養教諭、児童・生徒等を対象とした脱炭素や生物多様性などの理解醸成に向けた学習機会の提供
- ②学校給食への県産有機農産物の提供

○実施主体

有機農業者で組織する団体等（委託）

○委託単価

550千円

○件数

5市町（R6は3市町）



有機農業の出前講座（伊丹市）

【拡】 ■ 学校給食県産食材供給拡大事業

1,583千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,583

- 県産県消の意識を醸成し、本県農業の振興につなげるため、一般流通経路で安定供給困難な **県産食材の学校給食への供給拡大を支援**

1 学校給食アドバイザー派遣：483千円

県産食材活用に対する理解醸成及び、仕入方法や献立提案等のノウハウをアドバイス

○派遣市町：10団体

○派遣回数：3回/団体(①課題整理、②目標設定、③献立提案等)

2 学校給食ファーム育成：600千円

学校給食で使用頻度が高い野菜(じゃがいも等)の生産体制構築のため、試験栽培実証ほ設置等を補助

○実施主体：生産者、JA等(補助)

○対象経費：試験費用、栽培実証ほ設置費 等

○補助率：定額(上限100千円)

○補助件数：6箇所(新規：3地区、拡大：3地区)

3 コーディネート事業者支援【新】：500千円

安定的なロット確保及び栄養教諭の業務負担軽減のため、コーディネート体制を構築

○実施主体：JA、生産者グループ等(補助)

○対象経費：運搬費用、生産者向け周知費用、集荷用資材費 等

○補助率：1/2以内(上限500千円)

○補助件数：1件(モデル形成)

【新】 ■ 有機農産物等の出口対策事業

3,000千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,500	0	0	1,500

- ▶ 有機農産物等の出口戦略として、出荷コスト削減や販路拡大を推進するため、大消費地の量販店等に向けた**効率的な出荷・流通モデルの構築を支援**

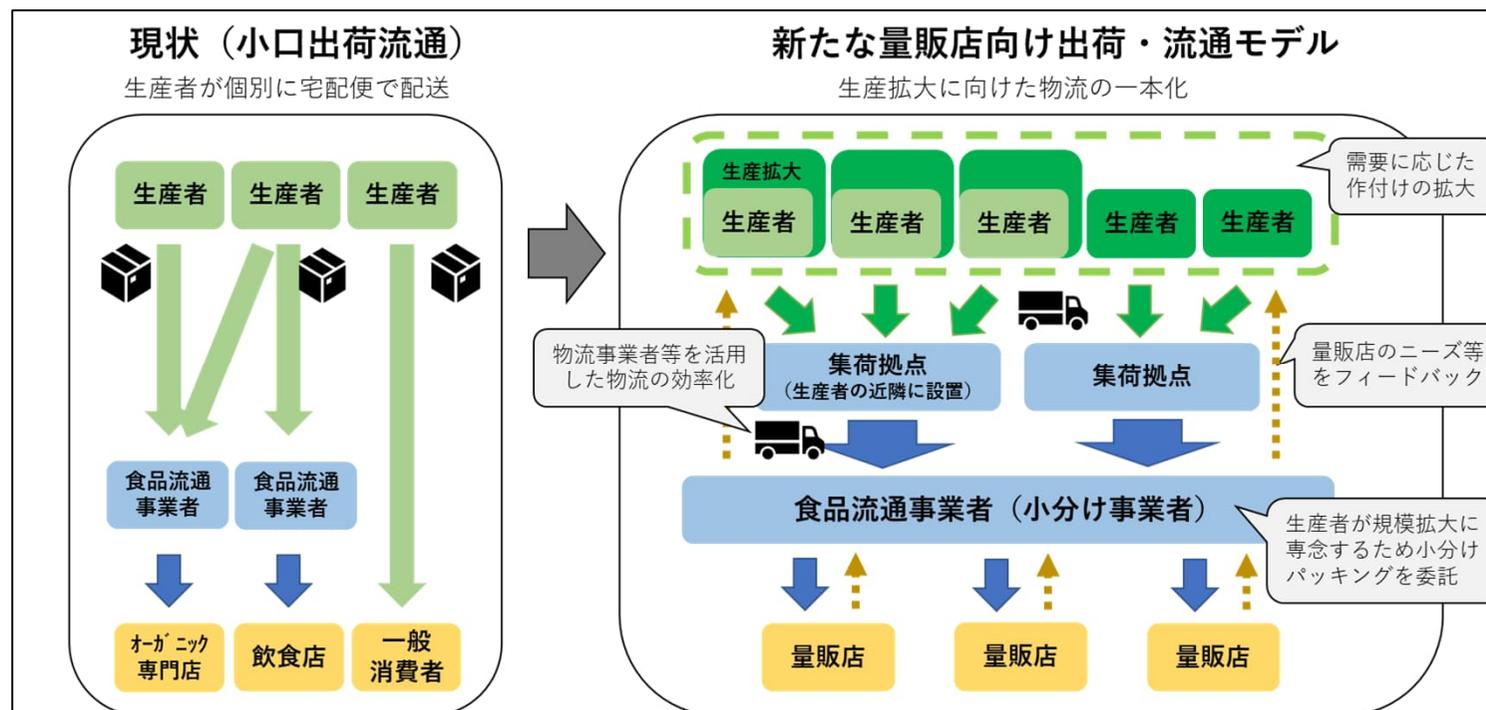
○ 実施内容

実施主体：食品流通事業者等（補助）

補助経費：物流経費、情報共有システム使用料、理解醸成(店頭PR)費用等

補助単価：1,500千円

補助件数：2モデル/年



【新】 ■ クロスイノベーション創出支援事業

5,087千円

（新しい地方経済・
生活環境創生交付金）

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,543	0	0	2,544

- 県産農林水産物のさらなる活用と農林漁業者の所得向上を推進するため、**アドバイザー派遣等を通じて**、農林漁業者と食関連事業者等の連携による**新商品・新サービス開発等を支援**

○実施内容

・派遣検討会の開催

多角的な視点で支援を検討するため、農林漁業者と食関連事業者等をマッチングするファシリテーターと商品企画やマーケティング等のアドバイザーで支援内容を検討

・アドバイザー派遣

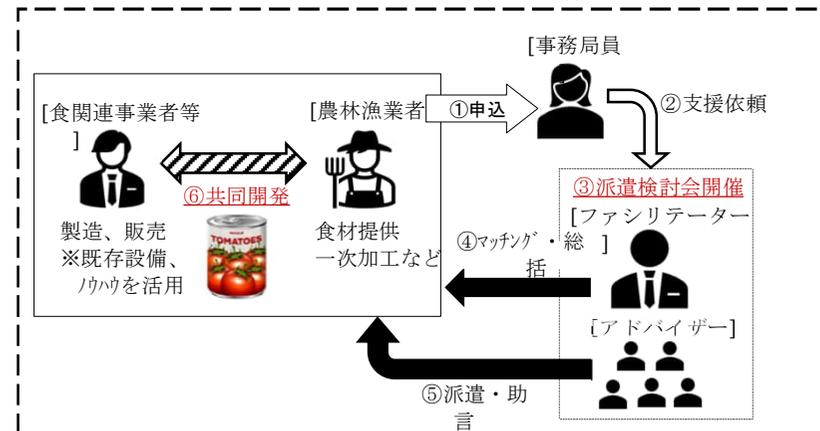
派遣検討会を踏まえたアドバイザー派遣を通じて商品開発等を支援

対象者：農林漁業者、食関連事業者等

支援件数：10件

○実施主体 「農」イノベーションひょうご推進協議会（委託）

（参考）マッチングイメージ



【拡】 ■ 楽農学校事業

17,748千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,018	0	0	16,730

- 田園回帰の機運の高まりを捉え、**農山漁村への定住・二地域居住の拡大及び、地域農業の維持に貢献する人材確保**のため、兵庫楽農生活センターの楽農学校事業に新たに「**半農半X(※)コース**」を創設

※農業（≡自給自足）と他の仕事や好きなこと「X」を組み合わせるワークスタイル

○実施内容

半農半Xを目指す者に、基礎的な栽培技術・知識に加えて、スマート農業等を含む地域を支える農業技術を習得する研修を実施

○実施主体

（公社）ひょうご農林機構（補助）

○兵庫楽農生活センター楽農学校事業

区分	生きがいコース(H17～)	半農半Xコース(R7～)	就農コース(H17～)
目的	ライトな楽農生活実践者の拡大	援農等が可能な人材の確保	新たな担い手の確保
対象	気軽に「農」を楽しみたい方	自給的農家等を志向する方	本格就農を目指す方
内容	家庭菜園等で必要となる基礎知識の習得	一定規模の農地管理ができる技術・知識の習得	就農に関する総合知識の習得
定員	60人(30人×2期)	30人	25人
期間	半年/期（週2(土日)） ※年間で2期実施	1年（週2(土日等)） ※オンライン講座含む	1年（週5(平日)）
受講料	40,000円/期（半年）	10万円/年	18万円/年

【新】 ■スマート農業活用イノベーション事業

12,910千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
10,000	0	0	2,910

- 農業者の高齢化・担い手不足に対し、農作業の省力化等を目的とした**スマート農業技術の導入を促進**するため、**導入是非の判断力強化**と**導入する技術の幅広い活用を提案**するとともに、県内特産物を生産する**産地における合意形成等を支援**

○スマート農業エキスパート養成研修

導入コストが大きいスマート農業技術の導入を適切に経営判断できる農業者を育成

対象者：農業法人等

受講人数：400経営体

開催回数：20回（スマート農業技術等のテーマ別に開催）

その他：研修内容を編集した動画やテキストを作成



ドローンの研修会

○ひょうご型支援体制の構築

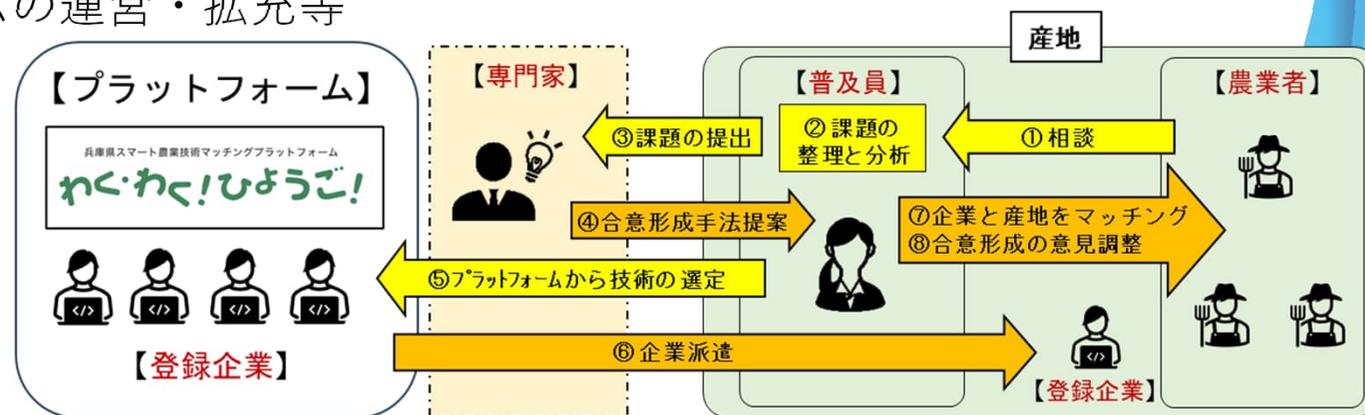
生産の維持拡大に課題のある産地を中心に、スマート農業技術導入への合意形成等を支援

・ウェブプラットフォームの運営・拡充等

・導入課題の解決支援

実施主体：事業者（委託）

課題解決数：13課題



【拡】 ■ゲノミック評価を活用した「ひょうごの酪農」経営安定化推進事業

5,591千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,031	0	0	3,560

- 飼料費等の高騰に加え、酷暑化に伴い乳牛の産乳性や繁殖性の低下が顕在化してきたことから、**酪農経営の収益性向上を図る**ため、**ゲノミック評価検査を支援**し、耐久性があり強健な牛群への改良を促進

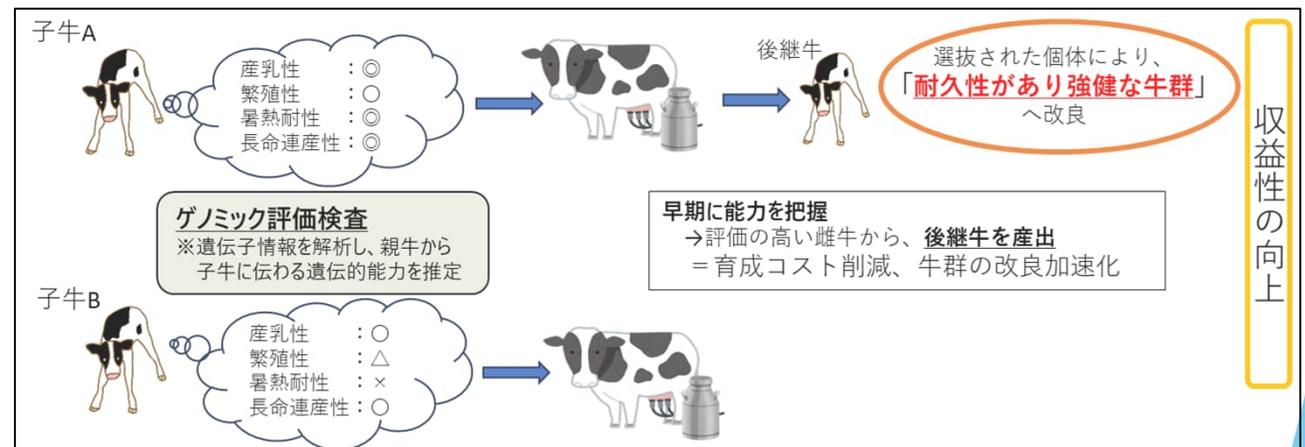
○ゲノミック評価検査への支援【新】

早期に能力を把握し、育成コストの削減および牛群転換を加速化するため、遺伝子解析により子牛の段階で乳用牛の能力を推定できる「ゲノミック評価検査」を支援

実施主体：酪農農業協同組合等（補助）

補助率：定額（上限3千円/頭）

補助頭数（見込）：約1,350頭



○牛群検定への支援

乳量などの実績から牛群能力を把握する「牛群検定」に必要な機材、巡回費等を支援

実施主体：酪農農業協同組合等（補助）

補助率：定額（上限1,529千円）

【拡】 ■ マダコの種苗生産・放流技術開発事業

3,923千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,961	0	0	1,962

- ▶ 本県ブランド魚種である**マダコの漁獲量が激減**していることを踏まえ、令和5年度から種苗生産技術の開発に着手し、一定の知見が得られたことから、**効果的な放流手法の開発**に着手
- 生産技術の向上

既存知見(初期飼料・育成技術)をもとに、マダコ種苗の量産技術を開発

実施主体：(公財)ひょうご豊かな海づくり協会(委託)



着底直後の稚ダコ

○放流手法の開発【新】

放流適地及び時期の知見収集のため、天然海域における**稚ダコの分布調査**および**試験放流**を実施

実施主体：水産技術センター

調査内容：浮遊稚ダコ分布調査(浮遊稚ダコが出現する5～12月に月1回実施)

着底稚ダコ分布調査(浮遊稚ダコが着底する8～12月に月1回実施)

項目	R5	R6	R7	R8	R9～
生産技術開発	初期飼料研究				
	育成技術開発				
試験放流			量産技術開発		
			稚ダコ分布調査		
本格生産放流			漁業者等と試験放流		
					本格生産放流

【新】 ■ 外食産業と連携した産地交流型食材PR事業

2,025千円
〔地域創生基金〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	2,025	0	0

- 大阪・関西万博を契機に、消費者等へ県産食材のさらなる認知度向上・需要拡大を図るため、外食産業と連携して**県産食材の料理を提供するフェアおよび生産者交流イベント**を開催

○実施内容

- ・ 県産食材の特長を生かしたメニューを考案・提供し、フェアを開催
- ・ フィールドパビリオンに認定されている生産者と消費者等の交流イベント(即売会など)

○実施主体 ひょうごの美味し風土拡大協議会（負担金）

○時 期 ゴールデンウィークや夏休みなどの多客期（予定）



フィールドパビリオンイメージ
(南あわじ市の日本農業遺産ツアー)

【新】 ■ 「HYOGOブランド」食材のグローバル化加速事業

2,118千円
 (新しい地方経済・
 生活環境創生交付金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,059	0	0	1,059

- 県産食材について、**海外を含めた新規市場の開拓**を進めるため、**食品輸出展示会への出展を促進**

○実施内容

日本最大級の食品輸出展示会「日本の食品輸出EXPO」への出展経費を補助

実施主体：ひょうごの美味し風土拡大協議会（負担金）

補助対象：県内生産者・食品加工業者

補助率：1/2以内（上限423.5千円）

補助件数：10社



ブース出展イメージ



展示会での商談イメージ

【新】 ■ひょうご酒米・日本酒テロワール 発信事業

17,235千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
8,617	0	0	8,618

- ▶ 令和6年12月に「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、県産酒米を使用した**日本酒のさらなる認知度向上・需要拡大**を図るため、**国内外へのプロモーション等を実施**

○海外需要開拓支援

テロワールに理解のある海外(欧州)バイヤーを中心にプロモーションを実施するとともに、県内酒蔵に招聘し、商談会を実施

また、国際品評会(Kura Master)にブース出展し、県産酒米のPR活動を実施

実施主体：ひょうごの酒米・海外戦略推進協議会（委託）

○国内需要創出支援

ターゲット・目的等に合わせた試飲会を開催

ターゲット	酒卸・料飲店等(プロ)	消費者
目的	日本酒の新たな可能性を発見	さらなる需要拡大
内容	県内酒蔵が、和食以外に合う日本酒の飲み方を提案	県内の複数種類の酒米を使用した日本酒を提供
場所(予定)	神戸阪神間	神戸阪神間
実施主体	酒蔵等(補助)	県酒米振興会(負担金)
補助単価	1,500千円	—
所要額	1,500千円	2,000千円

【新】 ■ 水稻温暖化対応種子産地支援事業

19,500千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
9,750	0	0	9,750

- 温暖化に対応した**本県オリジナル品種の迅速な普及**を図るため、品種転換時における**品種混合防止等の掛かり増し経費**や**新たな種子生産にあたり必要な機械等の導入を支援**

○ 温暖化対応品種転換支援 4,500千円

新品種種子を育成する水田での漏生イネ(※)対策経費を補助

※前年作付していた稲のこぼれた粃から発生する稲のこと

実施主体 県内種子組合等（補助）

対象経費 除草剤、石灰窒素、作業に伴う人件費

補助率 定額（補助単価 300千円/ha）

○ 新品種転換施設等支援 15,000千円

温暖化対応品種の新たな種子生産にあたり必要な機械等の導入経費を補助

実施主体 県内種子組合等（補助）

対象経費 種子生産に必要な種子専用コンバイン等

補助率 1/3以内（上限5,000千円）

補助件数 3件

7.循環型社会の推進

【拡】 ■水素社会普及促進事業

14,018千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
4,862	1,671	0	7,485

- 水素を日常生活や産業活動で利用する「水素社会」を早期に実現するため、産学官の連携のもと、県内における水素利活用の普及・拡大に向けた取組を加速

○実施内容

1. 【拡】水素社会実現に向けた普及啓発の推進：6,076千円

区分	R6事業概要	R7当初での拡充
コンクール	小学生を対象に「水素社会」をテーマとした絵画コンクールを実施	コンクール参加者等を対象に県内水素関連施設を見学するバスツアーを実施
普及啓発	小学生向け動画(R5制作)発信	若い世代に好まれるSNS用（YouTube等）短時間動画を制作

2. 【新】水素社会推進構想の改定：7,942千円

改定予定時期：R8.3月

区分	内容	所要額
水素需給調査の実施	エネルギー使用量の大きい事業所を対象に、現在の熱需要や設備更新計画等を踏まえた将来的な水素需要量を調査	7,148千円
水素社会推進構想の改定	有識者会議を設置し、需給調査の結果を踏まえた構想へと改定、会議開催3回	590千円

【拡】 ■水素ステーション整備費補助事業 燃料電池トラック導入促進補助事業

188,460千円
（持続可能な
兵庫づくり基金）

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	175,960	0	12,500

- ▶ 燃料電池自動車（FCV）の普及基盤となる水素ステーションについて、県目標である県内10基以上の整備に向け、従来の水素ステーション整備費補助事業等の取組に加えて、大規模ステーション整備補助及び水素消費量の大きい燃料電池トラックの導入補助を展開



FCトラック

○実施内容

区分	内容	対象経費	数量	補助上限額 (1基/1台あたり)
水素ステーション 整備費補助事業 (162,500千円)	【新】大規模ステーション (水素供給能力：500N m ³ /h 以上)	設計費、機器費 工事費 等	1 基	100,000千円
	中規模ステーション (水素供給能力：50N m ³ /h 以上、500N m ³ /h 未満)		1 基	50,000千円
	小規模（パッケージ型）ステーション (水素供給能力：50N m ³ /h 未満)		1 基	12,500千円
燃料電池トラック 導入促進補助事業 (25,960千円)	【新】燃料電池トラック	車両本体価格	2 台	12,500千円
	【新】燃料費補助 ※対象：県補助金の交付を受けて導入された車両	燃料費	—	960千円

【新】 ■ ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電の実証

3,649千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,824	0	0	1,825

- 次世代型太陽光発電としての導入が期待される**ペロブスカイト太陽電池を活用した小規模な営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）による実証**を実施

○ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）実証事業

薄く曲がる特性を持つペロブスカイト太陽電池を県内農業者の協力のもと、農地に支柱を立てて設置し、営農を継続しながら、発電した電力を有効活用する営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の実証を行う

<実証内容>

- ・ 農作物の収量、品質への影響
- ・ 発電出力、地温、日照量等の変化 等

<場所>

洲本市内

○フォーラムの開催

実証の成果・実施状況について発表を行い、再エネ導入に向けた機運を醸成



ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電設備のイメージ

出典：積水化学工業株式会社・株式会社TERRA

■地域脱炭素移行・再エネ推進事業

288,904千円

〔地域脱炭素移行・再エネ推進交付金〕
持続可能な兵庫づくり基金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
278,904	10,000	0	0

- 2030年度温室効果ガス排出削減、再生可能エネルギー導入目標及び2050年カーボンニュートラルの達成に向け、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、**再生可能エネルギーの導入を促進**

○自家消費型住宅用太陽光発電設備等導入補助事業 178,904千円

- ・実施主体 市町
- ・補助対象 個人（県内住宅）
- ・補助金額 太陽光発電: 7万円/kW（上限：5kW）
蓄電池 : 1/3(上限:14.1万円/kWhの1/3 (工事費込・税抜)、上限：5kWh)
- ・補助件数 300件

○自家消費型非住宅用太陽光発電設備導入補助事業 50,000千円

- ・補助対象 県内中小事業者（PPA、リースまたは自己設置）
- ・補助金額 PPA、リース: 5万円/kW（上限：100kW）
自己設置（ソーラーカーポートに限る）：1/3以内（上限：500万円）
- ・補助件数 10件

○木質バイオマスボイラー導入補助事業 60,000千円

- ・補助対象 県内事業者（熱供給・リース含む）
- ・補助金額 木質バイオマスボイラー及び付帯設備：2/3（上限：4,000万円）
- ・補助件数 3件

【新】 ■ 「ひょうご版2050年カーボンニュートラルロードマップ」作成事業

5,000千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	5,000

➤ 2050年カーボンニュートラルを実現するため、本県が取り得る中長期的な道筋をロードマップとして整理

○実施内容

- ・ 県内企業、団体、市町等へのヒアリング
- ・ **GHG（温室効果ガス）排出・吸収の枠組の検討・分析**
- ・ 2050年のGHG・吸収量の推計
- ・ ロードマップの取りまとめ

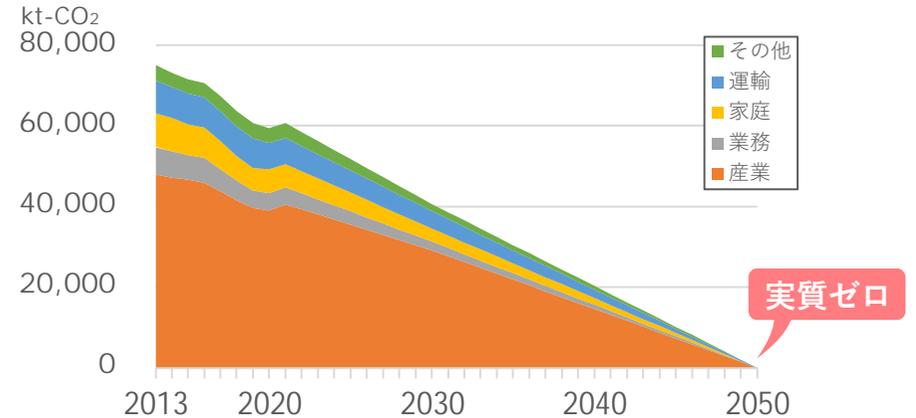
○策定スケジュール

- ・ 令和7年度・8年度の2か年で策定

○実施手法

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)に委託

ひょうご版2050年カーボンニュートラルロードマップのイメージ



ロードマップに盛り込む県施策(イメージ)

<p>生産性</p> <p>脱炭素経営の推進 ☑ 脱炭素経営スクール</p> <p>次世代モビリティ導入促進 ☑ 水素ステーション整備促進 ☑ 国重点地域(FCトラックなど水素多量消費地域)への応募</p> <p>素材利用</p> <p>サーキュラーエコノミー構築 ☑ ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開 ☑ サステナブルファッションなど先進的な資源循環システムの構築</p> <p>マーケット・マインド</p> <p>エネルギーの地産地消・地域活性化 ☑ 地域循環共生圏モデルの展開 (皇山バイオマス活用コンソーシアム)</p> <p>県民の行動変容 ☑ ひょうご1.5℃ライフスタイルの定着</p>	<p>エネルギー</p> <p>都市部での太陽光発電の導入拡大 ☑ 国交付金を活用した再エネ導入</p> <p>バイオマスのエネルギー利用 ☑ 木質バイオマスボイラー導入促進</p> <p>省エネ施策の推進 ☑ LEDへの早期転換 (照明、信号機等) ☑ 建築物の断熱化、ZEB化</p> <p>ルール・インフラ</p> <p>条例に基づく温室効果ガス削減 ☑ 事業者による排出量削減計画の策定・計画・措置結果の公表</p> <p>カーボンクレジットの活用 ☑ 藻場再生によるブルーカーボンクレジット創出 ☑ J-クレジット制度を活用した森林整備の促進</p>
---	--

アクションプランを県民・事業者・行政が共有し、2050年カーボンニュートラルに向けた行動変容に繋げる

8. 自然共生社会の推進

【拡】 ■ ツキノワグマ管理総合対策事業

36,249千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
26,972	0	0	9,277

- ツキノワグマの出没数が高い状態で推移しており、これまで出没がなかった地域での目撃など分布域拡大が懸念されていることから、市町と連携し、**出没防止対策や体制整備、危険個体の有害捕獲及び放獣個体の監視、人材育成等**のツキノワグマ管理の強化を実施
- 目撃拡大傾向にある神戸・阪神地域6市のクマへの知見を高めるため、県は**既存の『県南地域シカ分布拡大防止対策会議※』**の対象にクマを加え、県・市町連絡協議会として、**関係機関と連携したクマ対策を推進**

※ 構成員：神戸市、三田市、宝塚市、三木市、西宮市、芦屋市、国、県、森林動物研究センター

○ 実施内容

区分	内容
1 出没防止対策及び体制構築への支援：8,326千円	
【新】市町への出没防止対策および体制構築支援 (国1/2、県1/4、市町1/4)	市町へのツキノワグマの追い払い等の出没防止対策費補助（補助率3/4）
【新】市町への出没防止対策指導(国1/2、県1/2)	専門職員がいない市町への出没対応マニュアル作成等の体制整備指導
2 有害捕獲への支援：8,496千円（国10/10）	
【新】市町による有害捕獲の実施支援	ツキノワグマの捕獲用わなの購入費補助（定額）
有害捕獲の実施	市町が有害捕獲したツキノワグマの麻酔による不動化及び処分
3 錯誤捕獲個体の行動監視強化等の実施：17,427千円	
放獣個体の調査及び監視（国 定額5,000千円以内、定額超過分 国1/2、県1/2）	シカ・イノシシ用のわなに誤って捕獲されたツキノワグマの調査、放獣及び監視
近隣府県と連携した錯誤捕獲個体の行動監視の実施 (全額県負担)	共通の地域個体群に属する関係府県の連携による錯誤捕獲個体の行動監視の強化
4 【新】クマ管理人材への育成：2,000千円 (国 定額2,000千円以内)	出没対策に取り組む県・市町職員、捕獲技術者育成のための研修会の開催

III 活力がわきあがる兵庫

【新】 ■ 都市部における獣害対策の強化

6,669千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

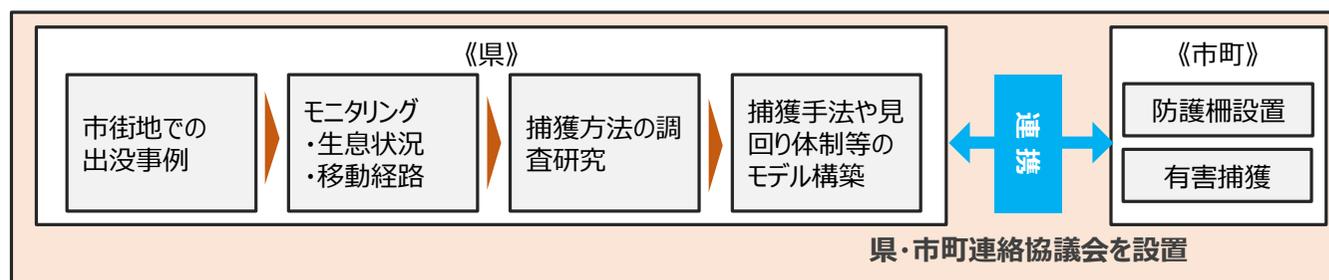
国庫	特定	起債	一般
3,334	0	0	3,335

- ▶ シカ、イノシシの市街地への生息区域の拡大により人身事故等が発生していることを踏まえ、従来の獣害対策を実施することができない市街地においても**実施可能なモニタリングや捕獲手法の開発**に取り組み、**野生動物の出没防止対策を実施できる体制**をモデル構築
- ▶ 構築したモデルを県・市町連絡協議会等で共有し、**地域と連携した取組体制を構築**

○ 実施内容

- ・ 市街地に出没するシカ、イノシシの行動調査のため、**AI画像解析を連動**した自動撮影カメラを設置するなど、効率的な野生動物の行動調査手法を開発
- ・ 市街地で問題行動を起こすシカ、イノシシを捕獲する場合、人への危険防止の観点から、従来の銃器による捕獲やわなによる捕獲活動の実施が困難であることから、**新たなわなによる捕獲手法の開発**や、**安全の確保が可能なわなの見回り体制**を構築

- 実施対象 シカ、イノシシの生息拡大により市街地への出没が懸念される県南部地域（神戸・阪神、東播磨、中播磨地域等）



III 活力がわきあがる兵庫

**【拡】 ICT技術の普及加速によるスマート
獣害対策モデル育成事業**

29,269千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
21,990	0	0	7,279

- 農林業被害が深刻な集落等にアドバイザーを派遣し、高齢化や人口減少が進む中においても、獣害対策を効果的かつ継続的に進めていくため、ICT技術とデータに基づき、効率的な捕獲や追払い、集落点検を行う「**スマート獣害対策モデル**」を育成

○実施内容

区分	内容
【新】アドバイザーによるスマート獣害対策指導	<p>○実施内容</p> <p>ICT機器等を活用した被害対策の実証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対策手法や野生動物の生態についての研修会 ・ 防護柵、ワナ等の管理、餌付けの方法の指導等 <p>○対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害が深刻な集落、集落営農組織、生産者部会等 ・ 10組織×3年 計30組織
【新】スキルアップ研修及び先進事例調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイザーのスキル平準化のための研修会を開催 ・ 先進地の事例調査を実施
集落へのフォローアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な被害対策を策定した集落への、市町によるフォローアップを支援



9.官民連携のまちづくり

【新】 ■ エリアマネジメントによる空き家再生①

エリアマネジメントによる官民連携まちづくりの推進

9,446千円

新しい地方経済・
生活環境創生交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
4,723	0	0	4,723

- 空き家等をリノベーション等によって再生することに加え地域課題解決・地域活性化を実現するエリアマネージャーを育成し、本県のエリアマネジメントの機運を醸成するとともに、空き家活用や地域活性化を促進

○実施内容

	区分	概要	スケジュール
1 年 間	機運醸成 人材の発掘	キックオフシンポジウム・交流会開催	R7～
	育成 専門性の取得	エリアマネージャー育成塾	
2 年 間	組織化 組織・体制の構築	エリアマネジメント団体認定	R8～ ※3年間の支援の後、各団体は自走
		エリアマネジメント団体立ち上げ支援	
	活動 事業実施	ガバメントクラウドファンディング	

R7実施内容

Ⅲ 活力がわきあがる兵庫

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
10,000	0	0	10,000

【新】 ■ エリアマネジメントによる空き家再生②
空き家流通促進支援事業

20,000千円
新しい地方経済・
生活環境創生交付金

➤ 空き家の流通・活用を図るため、**空き家の家財道具等の処分に要する経費を支援**

○実施主体 市町

○対象者

- ① エリアマネジメント団体
- ② 空家活用特区の市町連携団体
- ③ 不動産事業者等（市町が空き家の活用を促進する必要があると認める区域内で市町連携協定を結ぶものに限る）

○対象住宅

- ・ 本事業実施後、流通・活用する空き家
- ・ 空き家期間が3年以上のもの（一定期間流通していない空き家）

○対象経費

家財道具・仏壇等の処分に要する経費（事業者に依頼した経費に限る）

○県補助額 100千円（補助対象額400千円）

県 1/4
(100千円)

市町 1/4
(100千円)

団体 1/2
(200千円)

10. 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

【拡】 ■ 生活交通ネットワーク再編等実証実験

8,000千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	8,000

- 既存交通ネットワークの最適化を図るため、**市町が行う路線再編の実証実験を支援**
- 路線再編の実証実験中も既存の路線バスの運行を維持するため、バス対策補助の特例を設定し、**路線バスの運行経費を支援**

○ 路線再編の実証実験に対する支援

区分	現行	拡充後
実施主体	市町	市町
補助対象経費	ICTを活用したデマンド型乗合交通の実証実験経費	ICTを活用したデマンド型乗合交通の実証実験経費 路線再編のための実証実験経費
補助上限	1,000千円	1,000千円
件数	4市町	8市町

○ 路線バスの運行経費に対する支援

県単独補助の要件落ちとなる路線について(平均乗車密度2人未満)、路線再編に取り組むことを要件に最長3年間支援を継続する

1. 県政運営基盤の構築

【拡】 ■ 新庁舎整備・本庁舎再編

7,219,000千円

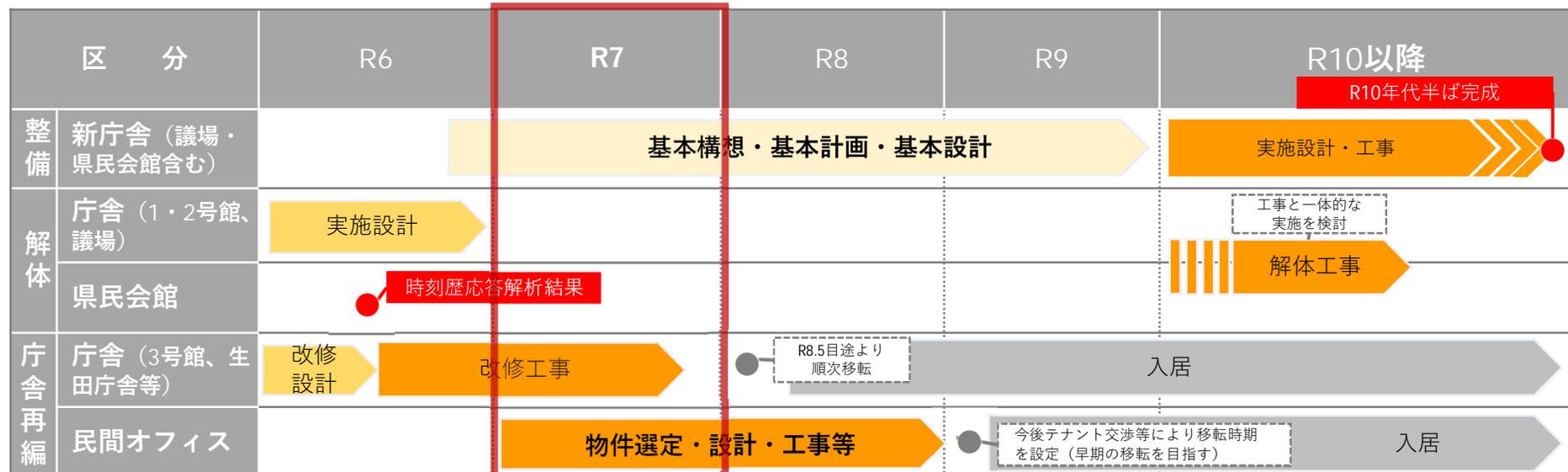
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	4,866,000	2,353,000

- 県庁1号館、2号館、別館及び西館に配置している部局を、3号館、生田庁舎、公館、職員会館及び民間オフィスに移転のうえ、移転後に同庁舎を解体し新庁舎を整備。R7年度は、**新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画の策定**や既存庁舎の老朽化対策、暫定移転のための**民間オフィスの選定**などを実施

- ・ 新庁舎整備にかかる**基本構想・基本計画の策定** [R8年度債務負担行為（1億円）]
- ・ 3号館等既存庁舎の改修工事等 [65億円]
- ・ 暫定移転のための**民間オフィスの選定・契約**などの実施 [7億円]

<本庁舎再編スケジュール>



【拡】 ■ さらに“アグレッシブ”なファンドレイジング

1,382,871千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	1,382,871	0	0

- 県ならではのより魅力的な返礼品の拡充や積極的な営業・マーケティングにより、想定寄附額を約32億円とアグレッシブに設定し、更なるファンドレイジングの高みへ

令和7年度に向けた目標額とコースの設定	寄附確保に向けた取組
<p>ふるさと納税・その他寄附 目標額：32億円</p> <p>寄附対象コース：17</p> <p>【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごボランティア被災地活動支援【28,000千円】 <p>ボランティアに係る活動経費を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HYOGO高校生海外武者修行【12,350千円】 <p>海外留学支援により高校生の尖った才能を育成</p>	<p>個人版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五国の逸品素材を調和・統合した県ならではのオリジナル返礼品、若者・Z世代が主役の産学官連携返礼品、地域消費や移住定住を喚起する現地体験型返礼品等、兵庫県ならではの魅力あふれるラインナップを開拓 ・楽天、Amazon、ふるなび等の有力ポータルサイトで露出を高める機動的な広告宣伝を実施 <p>企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業のCSR関心領域を踏まえた寄附対象事業の提案やマッチングサービスを活用した企業開拓を実施

【自主財源確保の強化（遺贈啓発促進事業）】

- 官民連携での遺言寄附のニーズ喚起・啓発のため、終活（遺贈啓発）シンポジウム（仮称）を開催
- 終活や遺贈等を紹介するパンフレットを作成し、県立病院・いなみ野学園等に配布



**Hyogo
Prefecture**